

現場説明事項

工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事（第2期工事）（ゼロ債務）

担当部署 総務部 営繕課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、水谷中学校特別教室棟の長寿命化のための機械設備工事を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工書の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。
- 3) 仮設については、学校・学校関係者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、学校と協議し設置し、会議を開催できるスペースを含むこと。
- 4) 工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。
- 5) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 6) 水谷中学校の学校環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、生徒の授業等に支障となる騒音、振動、異臭等が伴う工事は、原則、学校休業日に行うこと。
- 7) 現場施工期間は関連工事（建築工事、電気設備工事）を含め、令和7年6月1日から令和7年11月28日とする。また、下記①～⑥の事項に留意し、工事を進めること。
 - ①施工にあたっての調査・準備は学校、監督員と協議の上、施工期間前に可能とする。
 - ②内部階段・昇降口・体育館までの廊下は夏季休業期間(令和7年7月19日から令和7年8月24日)までに完了すること。
 - ③1・5階工事は、令和7年6月1日から令和7年8月24日までに関連工事を含めて完了すること。
 - ④2・3・4階工事は、夏休み開始(令和7年7月19日)に合わせて行うこと。
 - ⑤別途発注予定の電気設備工事で行う施設全停電作業は、令和7年8月10日から令和7年8月17日の8日間で行うものとする。
 - ⑥上記の各施工については、電気設備系統、空調設備・給排水管系統等をよく確認し学校運営に支障のないようにすること。また、施工期間内に現場使用前検査（各種試験結果確認含む）を受け、関連工事とともに引き渡しをすること。

- 8) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 9) ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、SDS（安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。
- 10) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CAD データから作成すること。
- 11) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。
- 12) 同施設において、「市立水谷中学校長寿命化建築工事（第 2 期工事）（ゼロ債務）」「市立水谷中学校長寿命化電気設備工事（第 2 期工事）（ゼロ債務）」を予定しているため、当該工事受注者と十分協議し、工事を進めること。

工 程 表

工事名 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)

工 種	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1 仮設工事	[Yellow bar spanning all months]							
2 石綿撤去工事(建築工事)	[Yellow bar in June]	[Yellow bar in July]	[Yellow bar in August]					
3 屋上防水(建築工事)	調査		[Yellow bar in August]	[Yellow bar in September]	[Yellow bar in October]			
4 外壁改修工事(建築工事)			[Yellow bar in August]	[Yellow bar in September]	[Yellow bar in October]			
5								
6 機械設備工事								
7 内部階段・昇降口・ 体育館までの廊下		[Yellow bar in July]	[Yellow bar in August]					
8 特別教室棟1・5階	[Yellow bar in June]	[Yellow bar in July]	[Yellow bar in August]					
9 特別教室棟2・3・4階		[Yellow bar in July]	[Yellow bar in August]	[Yellow bar in September]	[Yellow bar in October]	[Yellow bar in November]		
10								
11 検査								
12				1・5階使用前検		2・3・4階使用前検		完了検査
13								
14								

備考 ※現場施工期間は令和7年6月1日から令和7年11月28日までとする。
 ※騒音、振動、異臭等、その他生徒の授業等に支障があると思われる工事は、原則、学校休業日に行うこと。
 ※内部階段・昇降口・体育館までの廊下に関わる工事は夏休み期間内(令和7年7月19日から令和7年8月24日)とし、生徒の授業等に支障がないようにすること。
 ※1・5階工事は、令和7年6月1日から令和7年8月24日までに関連工事を含めて完了すること。
 ※2・3・4階の改修工事は夏休み開始(令和7年7月19日)に合わせて行うこと。
 ※上記工程表のとおり現場使用前検査(各種試験結果確認等含む)を受け引渡すこと。(関連工事共)

設 計 仕 様 書

工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)

工事場所 富士見市 大字水子 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称						市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)					
請負工事費											
工事概要						給水・排水・ガス配管等の更新 消火設備の更新 空調・換気設備の更新					
						上段		設計変更			
						下段		原設計			
総括表						備		考			
名	称	摘	要	数	量	単	位	金	額		
機	械	設	備	工	事	1	式				
	計			1	式						
共	通	仮	設	費	1	式					
純	工	事	費	1	式						
現	場	経	費	1	式						
工	事	原	価	1	式						
一	般	管	理	費	1	式					
工	事	価	格	1	式						
改		め		1	式						
消	費	税	相	当	額	1	式			10%	
請	負	工	事	費	1	式					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	現場事務所、倉庫、下小屋、 作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に 要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備 とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の 整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

(P.共通 - 2 -)

()

()

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事) (ゼロ債務)													
1	衛生器具設備工事			1.0		式							
2	給水設備工事			1.0		式							
3	排水設備工事			1.0		式							
4	給湯設備工事			1.0		式							
5	ガス設備工事			1.0		式							
6	消火設備工事			1.0		式							
7	空調設備			1.0		式							
8	換気設備			1.0		式							
9	撤去工事			1.0		式							
10	処分費			1.0		式							

(P. — M — 1)

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備工事					
	立水栓	13A-F9A	95.0	個		
	洗濯機用水栓	緊急止水弁、逆止弁付き	1.0	個		
	洗濯機パン	800サイズ トラップ付	1.0	個		
	据付費		1.0	式		改修機械別紙明細-2
	合計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2 給水設備工事						
給水・ 一般配管用ステンレス鋼管 改修	屋内一般					
	ハンジノク形管継手による接合 125SU	18.0	m			
給水・ 一般配管用ステンレス鋼管 改修	屋内一般					
	ハンジノク形管継手による接合 100SU	10.0	m			
給水・ 一般配管用ステンレス鋼管 改修	屋内一般 拡管式 60SU	6.0	m			
	屋内一般 拡管式 50SU	25.0	m			
給水・ 一般配管用ステンレス鋼管 改修	屋内一般 拡管式 40SU	22.0	m			
	屋内一般 拡管式 30SU	61.0	m			
給水・ 一般配管用ステンレス鋼管 改修	屋内一般 拡管式 25SU	51.0	m			
	屋内一般 拡管式 20SU	151.0	m			
給水・ 一般配管用ステンレス鋼管 改修	屋外架空 圧縮・プレス接合 60SU	16.0	m			
	屋外架空 圧縮・プレス接合 50SU	21.0	m			

(P. — M — 4)

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水・ 一般配管用ステンレス鋼管 改修	屋外架空 圧縮・プレス接合 40SU	3.0	m			
給水・ 一般配管用ステンレス鋼管 改修	屋外架空 圧縮・プレス接合 30SU	18.0	m			
給水・ 一般配管用ステンレス鋼管 改修	地中配管 拡管式 25SU	18.0	m			
仕切弁(管端防食コ)	10K GV 50A	1.0	個			
仕切弁(管端防食コ)	10K GV 40A	2.0	個			
仕切弁(管端防食コ)	10K GV 32A	9.0	個			
仕切弁(管端防食コ)	10K GV 25A	2.0	個			
伸縮管継手	単式 FJ 125A	2.0	個			
保温		1.0	式			改修機械別紙明細-4
配管接続		1.0	式			改修機械別紙明細-12

(P. — M — 5)

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管貫通補修		1.0	式			改修機械別紙明細-16
土工事	1階床研りに係る土工事一式	1.0	式			改修機械別紙明細-20
計		2				

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3 排水設備工事						
[雑排水]						
排水・耐火VP 改修	屋外架空 75A	59.0	m			
排水・耐火VP 改修	屋外架空 50A	2.0	m			
排水・耐火VP 改修	地中配管 75A	36.0	m			
排水・耐火VP 改修	地中配管 50A	5.0	m			
排水・耐火VP 改修	地中配管 40A	4.0	m			
排水・耐火VP 改修	屋内一般 100A	27.0	m			
排水・耐火VP 改修	屋内一般 75A	66.0	m			
排水・耐火VP 改修	屋内一般 65A	10.0	m			
排水・耐火VP 改修	屋内一般 50A	66.0	m			

(P. — M — 7)

()

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水・耐火VP 改修	屋内一般 40A	64.0	m			
[通気]						
通気・耐火VP 改修	屋外架空 75A	32.0	m			
通気・耐火VP 改修	屋外架空 50A	28.0	m			
通気・耐火VP 改修	屋内一般 50A	30.0	m			
床上掃除口(非防水形)	COA 80A	11.0	個			
床上掃除口(非防水形)	COA 65A	1.0	個			
床上掃除口(非防水形)	COA 50A	3.0	個			
床下掃除口	CO 100A	6.0	個			
流しトラップ	T14AA 50A	30.0	個			
流しトラップ	T14BB 50A	13.0	個			

(P. — M — 8)

()

富士見市 総務部 営繕課

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床排水トラップ [°] (防水形)	T5B 100A	3.0	個			
へントキャップ [°]	VA2 50A	2.0	個			
トラップ [°] 枠	450x450	3.0	個			
配管接続		1.0	式			改修機械別紙明細-14
配管貫通補修		1.0	式			改修機械別紙明細-18
土工事	1階床研りに係る土工事一式	1.0	式			改修機械別紙明細-21
計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	給湯設備工事					
	ガス給湯器	1.0	台			
	据付費	1.0	式			改修機械別紙明細-6
	計					

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	ガス設備工事					
5-1	都市ガス設備	1.0	式			
5-2	液化石油ガス設備	1.0	式			
計	(5-1)					

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5-1	都市ガス設備					
	都市ガス設備工事	新設GHP廻り	1.0	式		改修機械別紙明細-23
	計	(5-1)				

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5-2	液化石油ガス設備					
	ガスコンロ	1.0	台			
	プロパン・ 配管用炭素鋼鋼管(白)改修	24.0	m			屋内一般 ねじ接合 80A
	プロパン・ 配管用炭素鋼鋼管(白)改修	39.0	m			屋内一般 ねじ接合 50A
	プロパン・ 配管用炭素鋼鋼管(白)改修	26.0	m			屋内一般 ねじ接合 40A
	プロパン・ 配管用炭素鋼鋼管(白)改修	38.0	m			屋内一般 ねじ接合 32A
	プロパン・ 配管用炭素鋼鋼管(白)改修	19.0	m			屋内一般 ねじ接合 25A
	プロパン・ 配管用炭素鋼鋼管(白)改修	62.0	m			屋内一般 ねじ接合 20A
	仕切弁	1.0	個			青銅 5Kねじ 40A
	仕切弁	1.0	個			青銅 5Kねじ 32A
	伸縮管継手	2.0	個			鋼管用 単式 80A

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガスロック(1口)	サービ`スロック 50A	1.0	個			
ガスロック(1口)	サービ`スロック 20A	2.0	個			
ガスロック(2口)	サービ`スロック 20A	37.0	個			
配管接続		1.0	式			改修機械別紙明細-11
配管貫通補修		1.0	式			改修機械別紙明細-15
計	(5-2)					

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6 消火設備工事						
屋内消火栓 易操作1号	HB-1B 標準	2.0	台			
屋内消火栓 易操作1号	HB-1B 放水口付	3.0	台			
消火・配管用炭素鋼鋼管(白)改修	屋外架空 ねじ 100A	15.0	m			
消火・配管用炭素鋼鋼管(白)改修	屋外架空 ねじ 50A	5.0	m			
消火・配管用炭素鋼鋼管(白)改修	地中配管 ねじ 100A	42.0	m			
消火・配管用炭素鋼鋼管(白)改修	屋内一般 ねじ 65A	13.0	m			
消火・配管用炭素鋼鋼管(白)改修	屋内一般 ねじ 50A	9.0	m			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮管継手	FJ 100A	2.0	個			
仕切弁	青銅 10K GV 50A	1.0	個			
保温		1.0	式			改修機械別紙明細-8
配管接続		1.0	式			改修機械別紙明細-13
配管貫通補修		1.0	式			改修機械別紙明細-17
計	(6-1)					

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
7	空調設備工事					
7-1	機器設備	1.0	式			
7-2	配管設備	1.0	式			
計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7-1 機器設備						
ガスヒートポンプエアコン GHP-4 (屋外機 床置)	冷房85.0kW 暖房95.0kW	1.0	台			
GHP-4-1 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	3.0	台			
GHP-4-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	3.0	台			
GHP-4-3 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	3.0	台			
GHP-4-4 (室内機 天吊)	冷房7.1kW 暖房8.0kW	2.0	台			
ガスヒートポンプエアコン GHP-6 (屋外機 床置)	冷房71.0kW 暖房80.0kW	1.0	台			
GHP-6-1 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
GHP-6-2 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	1.0	台			
GHP-6-3 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	1.0	台			
GHP-6-4 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GHP-6-5 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	3.0	台			
GHP-6-6 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	3.0	台			
GHP-6-7 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
ワイヤードリモコン	GHP用	11.0	個			
EHP-1 セット ツイン形	冷房20.0kW 暖房22.4kW	1.0	組			
EHP-2 セット ヘア形	冷房3.6kW 暖房4.0kW	1.0	組			
EHP-3 セット ヘア形	冷房7.1kW 暖房8.0kW	1.0	組			
据付費		1.0	式			改修機械別紙明細-1
機器搬入費	揚重機含む	1.0	式			
仮設工事		1.0	式			改修機械別紙明細-25

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7-2	配管設備					
	[冷媒]					
	冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 12.70 φ	3.0	m		
	冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 15.88 φ	162.0	m		
	冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 22.22 φ	50.0	m		
	冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 25.40 φ	33.0	m		
	冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 28.58 φ	23.0	m		
	冷媒用断熱材被覆銅管改修	液管 (厚8mm) 6.35 φ	3.0	m		
	冷媒用断熱材被覆銅管改修	液管 (厚8mm) 9.52 φ	219.0	m		
	冷媒用断熱材被覆銅管改修	液管 (厚10mm) 12.70 φ	27.0	m		
	冷媒用断熱材被覆銅管改修	液管 (厚10mm) 15.88 φ	22.0	m		

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ラッキング・保温ケース		1.0	式			改修機械別紙明細-22
研り	機械研り 200mm 75A 100φ	73.0	カ所			
[ドレン]						
配管用炭素鋼鋼管(白)	A40 屋外架空	56.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)	A32 屋外架空	4.0	m			
保温機能付空調用ドレン管	VP32 屋内一般	95.0	m			
保温機能付空調用ドレン管	VP25 屋内一般	65.0	m			
ドレンチャッキ	40φ	3.0	個			
[制御線]						
制御線	EM-CEE1.25-2C (冷媒共巻き)	159.0	m			
内外連絡線	EM-CEE2.0-3C (冷媒共巻き)	3.0	m			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
内外連絡線	EM-CEE2.0-2C	154.0	m			
VHS 再取付	900x200	2.0	個			
計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	換気設備					
8-1	機器設備	1.0	式			
8-2	ダクト設備	1.0	式			
8-3	総合調整	1.0	式			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8-1 機器設備						
EF-1a 有圧扇	250 φ x300m3/h					
	電動式シャッター、SUS製ウェサードカバー共	2.0	台			
EF-1b 有圧扇	250 φ x350m3/h					
	電動式シャッター、SUS製ウェサードカバー共	17.0	台			
EF-1c 有圧扇	250 φ x400m3/h					
	電動式シャッター、SUS製ウェサードカバー共	2.0	台			
EF-1d 有圧扇	250 φ x400m3/h					
	電動式シャッター、SUS製ウェサードカバー共	2.0	台			
EF-1e 有圧扇	250 φ x450m3/h					
	電動式シャッター、SUS製ウェサードカバー共	3.0	台			
EF-1f 有圧扇	250 φ x470m3/h					
	電動式シャッター、SUS製ウェサードカバー共	2.0	台			
EF-1g 有圧扇	250 φ x525m3/h					
	電動式シャッター、SUS製ウェサードカバー共	1.0	台			
EF-1h 有圧扇	250 φ x550m3/h					
	電動式シャッター、SUS製ウェサードカバー共	5.0	台			
FE-3a 有圧扇	250 φ x350m3/h					
	電動式シャッター、SUS製ウェサードカバー共	3.0	台			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EF-12 排風機	250φ x100m3/h	13.0	台			
	電気シャッター SUS製ウェサ [®] -カハ [®] -共					
EF-13 排風機	250φ x120m3/h	1.0	台			
	電気シャッター SUS製ウェサ [®] -カハ [®] -共					
EF-14 排風機	250φ x200m3/h	2.0	台			
	電気シャッター SUS製ウェサ [®] -カハ [®] -共					
EF-15 排風機	250φ x300m3/h	2.0	台			
	電気シャッター SUS製ウェサ [®] -カハ [®] -共					
EF-16 排風機	250φ x350m3/h	2.0	台			
	電気シャッター SUS製ウェサ [®] -カハ [®] -共					
EF-17 排風機	150φ x250m3/h	6.0	台			
	電気シャッター SUS製ウェサ [®] -カハ [®] -共					
EF-18 天井扇	150φ x250m3/h	1.0	台			
	SUS製深型フト [®] キ [®] ャリ付共					
据付費		1.0	式			改修機械別紙明細-3
計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
8-2	ダクト設備					
	スパイラルダクト	200φ	6.0	m		
	スパイラルダクト 保温(32K)	200φ 天井内 グラスウール	6.0	m		
	VHS	450x200	3.0	個		
	VHS	450x150	3.0	個		
	HS	300x300	3.0	個		
	HS	250x250	3.0	個		
	OAカバリ	300x300	1.0	個		
	サイレントダクト	150φ	6.0	個		
	計					

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8-3	総合調整					
	総合調整	1.0	式			改修機械別紙明細-10
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
9	撤去工事												
9-1	衛生器具設備			1.0		式							
9-2	給水設備			1.0		式							
9-3	排水設備			1.0		式							
9-4	給湯設備			1.0		式							
9-5	ガス設備			1.0		式							
9-6	消火設備			1.0		式							
9-7	空調設備			1.0		式							
9-8	換気設備			1.0		式							
				1.0		式							
	計	(9-1)											

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9-1 衛生器具設備						
水栓類 撤去	立水栓 万能ホーム水栓	68.0	個			
水栓類 撤去	横形泡沫自在水栓 T131AS18	29.0	個			
水栓類 撤去	泡沫自在水栓 T130AR13	1.0	個			
器具類 撤去	洗濯機パン 800サイズ	1.0	個			
機器類 撤去	ガステーブル 2口 LAコンセントコック	1.0	個			
計	(9-1)					

積算用紙

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9-2	給水設備						
	ライニング鋼管類 撤去	屋内一般 125A	16.0	m			
	ライニング鋼管類 撤去	屋内一般 100A	10.0	m			
	ライニング鋼管類 撤去	屋内一般 65A	5.0	m			
	ライニング鋼管類 撤去	屋内一般 50A	27.0	m			
	ライニング鋼管類 撤去	屋内一般 40A	8.0	m			
	ライニング鋼管類 撤去	屋内一般 32A	46.0	m			
	ライニング鋼管類 撤去	屋内一般 25A	57.0	m			
	ライニング鋼管類 撤去	屋内一般 20A	87.0	m			
	保温撤去	配管類	1.0	式			撤去機械別紙明細-1
	仕切弁(管端防食コ)	50A 再使用しない	1.0	個			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁(管端防食コ)	40A 再使用しない	1.0	個			
仕切弁(管端防食コ)	32A 再使用しない	1.0	個			
仕切弁(管端防食コ)	25A 再使用しない	3.0	個			
伸縮管継手 単式	125A 再使用しない	2.0	個			
保温撤去	弁類	1.0	式			撤去機械別紙明細-6
配管切断		1.0	式			撤去機械別紙明細-9
コンクリート撤去	1階床研り 人力 集積共	1.0	式			撤去機械別紙明細-11
計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
9-3 排水設備						
[雑排水]						
排水用鑄鉄管 撤去	土中 100A	9.0	m			
排水用鑄鉄管 撤去	土中 75A	29.0	m			
排水用鑄鉄管 撤去	土中 50A	15.0	m			
排水用鑄鉄管 撤去	屋内一般 100A	28.0	m			
排水用鑄鉄管 撤去	屋内一般 75A	10.0	m			
排水用鑄鉄管 撤去	屋内一般 65A	11.0	m			
排水用鑄鉄管 撤去	屋内一般 50A	62.0	m			
排水用鑄鉄管 撤去	屋内一般 40A	18.0	m			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[通気]						
排水用鋳鉄管 撤去	土中 50A	7.0	m			
排水用鋳鉄管 撤去	屋内一般 50A	33.0	m			
床上掃除口(非防水形)撤去	COA 100A	1.0	個			
床上掃除口(非防水形)撤去	COA 80A	4.0	個			
床上掃除口(非防水形)撤去	COA 65A	1.0	個			
床上掃除口(非防水形)撤去	COA 50A	4.0	個			
床下掃除口 撤去	CO 100A	6.0	個			
流しトラップ 撤去	T14AA 50A	30.0	個			
流しトラップ 撤去	T14BB 50A	12.0	個			
床排水トラップ(防水形)撤去	T5B 100A	2.0	個			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水金物 撤去	D 100A	1.0	個			
通気金物 撤去	50A	1.0	個			
配管切断		1.0	式			撤去機械別紙明細-4
コンクリート撤去	1階床研り 人力 集積共	1.0	式			撤去機械別紙明細-12
計	(9-3)					

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9-4	給湯設備					
	瞬間湯沸器 撤去	5号 LPガス用	1.0	台		
	計					

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9-5	ガス設備					
a	都市ガス設備工事	1.0	式			
b	液化石油ガス設備	1.0	式			
計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9-5						
a	都市ガス設備工事					
	都市ガス設備工事	GHP廻り撤去	1.0	式		撤去機械別紙明細-15
	計					

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9-5						
b	液化石油ガス設備					
	鋼管 撤去	屋内一般 75A	24.0	m		
	鋼管 撤去	屋内一般 50A	37.0	m		
	鋼管 撤去	屋内一般 32A	6.0	m		
	鋼管 撤去	屋内一般 25A	11.0	m		
	鋼管 撤去	屋内一般 20A	31.0	m		
	弁類 撤去	青銅ボール弁 50A	1.0	個		
	弁類 撤去	青銅ボール弁 20A	1.0	個		
	伸縮継手撤去	単式 FJ 80A	2.0	個		
	ガスロック(1口)撤去	50A	1.0	個		
	ガスロック(1口)撤去	20A	10.0	個		

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガスロック(2口)撤去	20A	28.0	個			
弁類 撤去	仕切弁 40A	1.0	個			
弁類 撤去	仕切弁 32A	1.0	個			
配管切断		1.0	式			撤去機械別紙明細-10
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9-6 消火設備	屋内消火栓設備					
	屋内消火栓 撤去	1号消火栓 標準 HB-2	2.0	台		
	屋内消火栓 撤去	1号消火栓 放水口付 HB-2	3.0	台		
	鋼管 撤去	土中 100A	2.0	m		
	鋼管 撤去	屋内一般 100A	28.0	m		
	鋼管 撤去	屋内一般 65A	3.0	m		
	伸縮継手撤去	単式 100A 再使用しない	2.0	個		
	保温撤去		1.0	式		撤去機械別紙明細-2
	配管切断		1.0	式		撤去機械別紙明細-8
	計					

(P. — M — 41)

()

富士見市 総務部 営繕課

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
9-7	空調設備					
a	機器設備	1.0	式			
b	配管設備	1.0	式			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9-7						
a	機器設備					
	GHP-4 (屋外機 床置) 撤去	冷房56.0kW	1.0	台		
	GHP-4-1 (室内機 天吊) 撤去	冷房3.6kW	3.0	台		
	GHP-4-2 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW	3.0	台		
	GHP-4-3 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW	3.0	台		
	GHP-4-4 (室内機 天吊) 撤去	冷房7.1kW	2.0	台		
	AC-1 (室外機 天吊) 撤去	冷房10.4kW	2.0	台		
	AC-1-1 (室内機 天吊) 撤去	冷房10.4kW	2.0	台		
	AC-2 (室外機 天吊) 撤去	冷房3.6kW	1.0	台		
	AC-2-1 (室内機 天吊) 撤去	冷房3.6kW	1.0	台		
	FF-1 石油暖房機 撤去	暖房10.0kW	1.0	台		

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器搬出費		1.0	式			
FF給排気筒 撤去	100φ	1.0	個			
VHS 取外し	900x200	2.0	個			
貫通口補修	FF排気筒撤去 モルタル	1.0	式			撤去機械別紙明細-16
冷媒ガスポンプダウン		1.0	式			撤去機械別紙明細-13
計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9-7						
b	配管設備					
	冷媒用銅管 撤去	液管 6.35 φ 1/4B	43.0	m		
	冷媒用銅管 撤去	液管 9.52 φ 3/8B	56.0	m		
	冷媒用銅管 撤去	液管 15.88 φ 5/8B	13.0	m		
	冷媒用銅管 撤去	ガス管 12.70 φ 1/2B	43.0	m		
	冷媒用銅管 撤去	ガス管 15.88 φ 5/8B	28.0	m		
	冷媒用銅管 撤去	ガス管 22.22 φ 7/8B	28.0	m		
	冷媒用銅管 撤去	ガス管 28.58 φ 1 1/8B	13.0	m		
	保温撤去		1.0	式		撤去機械別紙明細-3
	硬質塩化ビニル管 撤去	屋外架空 40A	59.0	m		
	硬質塩化ビニル管 撤去	屋外架空 32A	2.0	m		

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 撤去	屋外架空 25A	6.0	m			
硬質塩化ビニル管 撤去	屋内一般 32A	33.0	m			
硬質塩化ビニル管 撤去	屋内一般 25A	9.0	m			
硬質塩化ビニル管 撤去	屋内一般 20A	32.0	m			
配線 撤去	管内 EM-CEE1.25m2-2.0C	100.0	m			
配線 撤去	管内 EM-CEE2.0m2-2.0C	45.0	m			
計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9-8	換気設備					
	機器設備					
a	機器設備	1.0	式			
b	ダクト設備	1.0	式			
計	(9-10)					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
9-8	a	機器設備											
		EF-1	有圧扇	300φ x1,	200m ³ /h	ウェサ [°] -カハ [°] -共		38.0	台				
		EF-3	有圧扇	630m ³ /h		ハイフ [°] ト [°] 共		2.0	台				
		EF-5	排風機	630m ³ /h		ハイフ [°] ト [°] 共		1.0	台				
		EF-7	排風機	540m ³ /h		ハイフ [°] ト [°] 共		1.0	台				
		SF-3	送風機	630m ³ /h		ハイフ [°] ト [°] 共		1.0	台				
		計		(9-10)									

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9-8						
b	ダクト設備					
	スパイラルダクト	18.0	m			
	150mm 再利用しない					
	保温撤去	1.0	式			撤去機械別紙明細-5
	計					

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	処分費					
	運搬費	1.0	式			撤去機械別紙明細-7-1
	処分費	1.0	式			撤去機械別紙明細-7-2
	冷媒ガス破壊処理	1.0	式			撤去機械別紙明細-14
	計					

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-1	空調機器設備 据付費					
ガスヒートポンプエアコン GHP-4 (屋外機 床置)	冷房85.0kW 暖房95.0kW	1.0	台			
GHP-4-1 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.6kW	3.0	台			
GHP-4-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房5.6kW	3.0	台			
GHP-4-3 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	3.0	台			
GHP-4-4 (室内機 天吊)	冷房7.1kW 暖房8.0kW	2.0	台			
ガスヒートポンプエアコン GHP-6 (屋外機 床置)	冷房71.0kW 暖房80.0kW	1.0	台			
GHP-6-1 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
GHP-6-2 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	1.0	台			
GHP-6-3 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	1.0	台			
GHP-6-4 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GHP-6-5 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	3.0	台			
GHP-6-6 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	3.0	台			
GHP-6-7 (室内機 天吊)	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
ワイヤードリモコン	GHP用	11.0	個			
EHP-1 セット ツイン形	冷房20.0kW 暖房22.4kW	1.0	組			
EHP-2 セット ペア形	冷房3.6kW 暖房4.0kW	1.0	組			
EHP-3 セット ペア形	冷房7.1kW 暖房8.0kW	1.0	組			
ワイヤードリモコン	EHP用	3.0	個			
計						
改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-3	据付費 換気扇類					
EF-1a 有圧扇	250 φ x300m3/h	2.0	台			
EF-1b 有圧扇	250 φ x350m3/h	17.0	台			
EF-1c 有圧扇	250 φ x400m3/h	2.0	台			
EF-1d 有圧扇	250 φ x400m3/h	2.0	台			
EF-1e 有圧扇	250 φ x450m3/h	3.0	台			
EF-1f 有圧扇	250 φ x470m3/h	2.0	台			
EF-1g 有圧扇	250 φ x525m3/h	1.0	台			
EF-1h 有圧扇	250 φ x550m3/h	5.0	台			
EF-3a 有圧扇	150 φ x350m3/h	3.0	台			
EF-12 排風機	250 φ x100m3/h	13.0	台			

(P. — M別改 — 4)

()

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EF-13 排風機	250 φ x120m3/h	1.0	台			
EF-14 排風機	250 φ x200m3/h	2.0	台			
EF-15 排風機	250 φ x300m3/h	2.0	台			
EF-16 排風機	250 φ x350m3/h	2.0	台			
EF-17 排風機	150 φ x250m3/h	6.0	台			
EF-18 天井扇	150 φ x150m3/h	1.0	台			
据付費 ウェザーカバー	30cm用	37.0	個			
据付費 ウェザーカバー	25cm用	26.0	個			
計						
改め						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-4	給水設備 配管 保温					
給水管(60SU) 保温	屋内露出 合成樹脂製カバー1 グラスウール	16.0	m			
給水管(50SU) 保温	屋内露出 合成樹脂製カバー1 グラスウール	21.0	m			
給水管(40SU) 保温	屋内露出 合成樹脂製カバー1 グラスウール	3.0	m			
給水管(30SU) 保温	屋内露出 合成樹脂製カバー1 グラスウール	18.0	m			
給水管(25SU) 保温	屋内露出 合成樹脂製カバー1 グラスウール	8.0	m			
給水管(20SU) 保温	屋内露出 合成樹脂製カバー1 グラスウール	29.0	m			
給水管(125SU) 保温	屋内一般 天井内 グラスウール	18.0	m			
給水管(100SU) 保温	屋内一般 天井内 グラスウール	10.0	m			
給水管(60SU) 保温	屋内一般 天井内 グラスウール	6.0	m			
給水管(50SU) 保温	屋内一般 天井内 グラスウール	25.0	m			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水管(40SU) 保温	屋内一般 天井内 グラスウール	22.0	m			
給水管(30SU) 保温	屋内一般 天井内 グラスウール	61.0	m			
給水管(25SU) 保温	屋内一般 天井内 グラスウール	43.0	m			
給水管(20SU) 保温	屋内一般 天井内 グラスウール	122.0	m			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-6	据付費 給湯設備					
ガス給湯器	屋内壁掛形 5号 開放形	1.0	台			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-8						
消火 保温 100A	屋外・カラー亜鉛鉄板 グラスウール	15.0	m			
消火 保温 50A	屋外・カラー亜鉛鉄板 グラスウール	5.0	m			
消火 保温 65A	天井内 アルミガラスクロス グラスウール	13.0	m			
消火 保温 50A	天井内 アルミガラスクロス グラスウール	9.0	m			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-11	ガス設備 液化石油ガス					
配管接続	鋼管 80A	1.0	カ所			
配管接続	鋼管 50A	2.0	カ所			
配管接続	鋼管 25A	1.0	カ所			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-12	給水設備					
配管接続	60su	2.0	カ所			
配管接続	50su	2.0	カ所			
配管接続	30su	2.0	カ所			
配管接続	25su	1.0	カ所			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-14						
配管接続	樹脂 100A	2.0	カ所			
配管接続	樹脂 75A	3.0	カ所			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-15	ガス設備 液化石油ガス					
配管貫通補修	機械研り 200mm 20A 32φ	26.0	カ所			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-16	給水設備					
配管貫通補修	機械研り 200mm 65A 100φ	2.0	カ所			
配管貫通補修	機械研り 200mm 40A 63φ	2.0	カ所			
配管貫通補修	機械研り 200mm 32A 50φ	8.0	カ所			
配管貫通補修	機械研り 200mm 25A 38φ	5.0	カ所			
配管貫通補修	機械研り 200mm 20A 32φ	26.0	カ所			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-17	消火設備					
配管貫通補修	機械研り 200mm 100A 125φ	1.0	カ所			
配管貫通補修	機械研り 200mm 65A 100φ	5.0	カ所			
配管貫通補修	機械研り 200mm 50A 75φ	1.0	カ所			
計						
改め						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-18	排水設備					
[雑排水]						
配管貫通補修	機械研り 200mm 100A 125φ	2.0	カ所			
配管貫通補修	機械研り 200mm 75A 100φ	1.0	カ所			
配管貫通補修	機械研り 200mm 50A 75φ	9.0	カ所			
[通気]						
配管貫通補修	機械研り 200mm 50A 75φ	9.0	カ所			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-20	土工事 給水設備					
根切り	人力	4.8	m3			
山砂		0.8	m3			
埋戻し	人力	4.0	m3			
残土処理	構内敷ならし	0.8	m3			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-21	土工事 排水設備					
根切り	人力	20.3	m3			
山砂		2.4	m3			
埋戻し	人力	18.0	m3			
残土処理	構内敷ならし	2.4	m3			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-23	ガス設備					
カラー鋼管	20A	5.0	m			
カラー鋼管	50A	5.0	m			
P E 管	30A	8.0	m			
ガス管用器具栓	20A	2.0	個			
分岐バルブ	50A	1.0	個			
P C 絶縁ソケット	32A	2.0	個			
P C 絶縁ソケット	50A	1.0	個			
トラジション継手エルボ	30A	2.0	個			
トラジション継手エルボ	50A	1.0	個			
強化ガスホース接続 (S 型)	20A 1000mm	2.0	ヶ所			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄管接続 (フランジ)	32A	1.0	ヶ所			
鉄管接続 (フランジ)	50A	1.0	ヶ所			
配管固定 (ステンレス)	20A~80A	6.0	ヶ所			
アングル固定鋼材 (ステンレス)	40L	2.0	ヶ所			
表示杭		1.0	式			
骨材 (仮復旧)	山砂	8.0	m			
骨材 (仮復旧)	砕石	8.0	m			
骨材 (仮復旧)	残土処理	8.0	m			
試験調整費		1.0	式			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-25	空調設備 仮設工事					
冷媒ガス再充填		1.0	式			
試運転調整		1.0	式			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去機械別紙明細-1						
	給水管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
		屋内一般 125A	16.0	m			
	給水管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
		屋内一般 100A	10.0	m			
	給水管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
		屋内一般 65A	5.0	m			
	給水管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
		屋内一般 50A	27.0	m			
	給水管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
		屋内一般 40A	8.0	m			
	給水管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
		屋内一般 32A	46.0	m			
	給水管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
		屋内一般 25A	57.0	m			
	給水管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
		屋内一般 20A	87.0	m			
	計						
	改め						

(P. — M別撤 — 1)

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-2						
消火管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
	100A	28.0	m			
消火管 保温撤去	天井内 グラスウール アルミガラスクロス					
	65A	3.0	m			
計						
改め						

(P. — M別撤 — 2)

(.....)

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去機械別紙明細-3						
冷媒管 保温撤去	天井内					
	6.35φ 1/4B 15A	41.0	m			
冷媒管 保温撤去	天井内					
	9.52φ 3/8B 15A	50.0	m			
冷媒管 保温撤去	天井内					
	12.70φ 1/2B 15A	41.0	m			
冷媒管 保温撤去	天井内					
	15.88φ 5/8B 20A	27.0	m			
冷媒管 保温撤去	天井内					
	22.22φ 7/8B 25A	23.0	m			
冷媒管 保温撤去	屋外露出					
	6.35φ 1/4B 15A	2.0	m			
冷媒管 保温撤去	屋外露出					
	9.52φ 3/8B 15A	6.0	m			
冷媒管 保温撤去	屋外露出					
	12.70φ 1/2B 15A	2.0	m			
冷媒管 保温撤去	屋外露出					
	15.88φ 5/8B 20A	1.0	m			
冷媒管 保温撤去	屋外露出					
	22.22φ 7/8B 25A	5.0	m			

(P. — M別撤 — 3)

()

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去機械別紙明細-4	排水設備					
[雑排水]						
配管切断	樹脂 100A	3.0	カ所			
配管切断	樹脂 75A	4.0	カ所			
配管切断	樹脂 50A	9.0	カ所			
配管切断	樹脂 40A	36.0	カ所			
[通気]						
配管切断	樹脂 50A	10.0	カ所			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-6	保温撤去 弁類 給水設備					
伸縮管継手 単式	125A 再使用しない	2.0	個			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去機械別紙明細-7-1					
	運搬費					
	運搬	4tコンテナ車, 6~8m3	6.0	台		
	計					
	改め					

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去機械別紙明細-7-2					
	処分費					
	コンクリート塊					
	無筋	1.0	m3			
	コンクリート塊					
	有筋	17.0	m3			
	混合廃棄物Ⅰ					
	機器類・保温類	22.3	m3			
	混合廃棄物Ⅲ					
	その他	1.3	m3			
	廃プラスチック					
	塩ビ管・継手	0.4	m3			
	廃プラスチック					
	その他	0.1	m3			
	金属くず					
	鉄くず	4.4	m3			
	金属くず					
	銅くず	0.2	m3			
	計					
	改め					

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-8	消火設備					
配管切断	鋼管 100A	6.0	カ所			
配管切断	鋼管 50A	3.0	カ所			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去機械別紙明細-9	給水設備					
配管切断	鋼管 125A	1.0	カ所			
配管切断	鋼管 100A	1.0	カ所			
配管切断	鋼管 50A	3.0	カ所			
配管切断	鋼管 40A	1.0	カ所			
配管切断	鋼管 32A	11.0	カ所			
配管切断	鋼管 25A	7.0	カ所			
配管切断	鋼管 20A	28.0	カ所			
計						
改め						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-10	ガス設備					
配管切断	鋼管 80A	2.0	カ所			
配管切断	鋼管 50A	3.0	カ所			
配管切断	鋼管 40A	1.0	カ所			
配管切断	鋼管 32A	1.0	カ所			
配管切断	鋼管 25A	1.0	カ所			
配管切断	鋼管 20A	26.0	カ所			
計						
改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-13	空調設備					
GHP-4-1 (室内機 天吊) 撤去	冷房3.6kW	3.0	台			
GHP-4-2 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW	3.0	台			
GHP-4-3 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW	3.0	台			
GHP-4-4 (室内機 天吊) 撤去	冷房7.1kW	2.0	台			
AC-1-1 (室内機 天吊) 撤去	冷房10.4kW	2.0	台			
AC-2-1 (室内機 天吊) 撤去	冷房3.6kW	1.0	台			
仮設対応 GHP-4-1 (室内機 天吊) 撤去	冷房3.6kW	3.0	台			
仮設対応 GHP-4-2 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW	3.0	台			
計						
改め						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-14	空調設備					
冷媒ガス処理	GHP-4 冷房56.0kW	1.0	台			
冷媒ガス処理	AC-1 冷房10.4kW	2.0	台			
家電リサイクル処理	AC-2 冷房3.6kW	1.0	台			
計						
改め						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-15	ガス設備					
ガス管撤去工事（露出管）	50A以下	3.0	m			
ガス管撤去工事（埋設管）	50A以下	3.0	m			
ガス栓・バルブ類撤去工事	25A以下	1.0	個			
廃止管パーシ		1.0	回			
計						
改め						

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1	工事名称	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事（第2期工事）（ゼロ債務）
2	工事場所	埼玉県富士市大字水子地内
3	工期	契約日から令和8年1月30日
	現場施工期間	令和7年6月1日から令和7年11月28日
4	建物概要	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
① 特別教室棟	コンクリート	5階			
②					
③					
④					
⑤					

5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）

建物別及び屋外工事種目	工事種別					屋外
	①	②	③	④	⑤	
● 空気調和設備	一式					
● 換気設備	一式					
○ 排煙設備						
○ 自動制御設備						
● 衛生器具設備	一式					
● 給水設備	一式					一式
● 排水設備	一式					一式
● 給湯設備	一式					
● 消火設備	一式					一式
○ 厨房機器設備						
● ガス設備	一式					一式
● 撤去工事	一式					一式

6	指定部分	※無	・有	対象部分：	工期：令和 年 月 日
7	主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）				
1	専任期間の始期	請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間 ・令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。			
2	専任期間の終期	工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。			
3	専任期間の中断	自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。			
8	工事範囲	図示のとおり			
9	機械設備工事概要	1) 空調設備：指定空調機を設置する一切の工事 2) 換気設備：指定換気扇を設置する一切の工事 3) 給水設備：用途変更により必要ヶ所に給水配管する一切の工事 4) 排水設備：用途変更により必要ヶ所に排水配管する一切の工事 5) 給湯設備：設備増設により給湯機器に伴う機器設置及び給湯配管する一切の工事 6) ガス設備：作業台増設によりガス機器及びガス配管の改修工事の一切 7) 撤去設備：各機器の改修及び各配管の改修工事に伴う撤去工事の一切			
10	電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。				
11	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事			

II 工事仕様

1	共通仕様	(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。 (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を採用する。 (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2	特記仕様	(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と●印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項																																																											
①	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7%以上含有の有無を確認し、7%以上を含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 ・置く ・置かない																																																											
②	電気保安技術者																																																												
③	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 ・配管施工（配管工事） ・建築板金施工（風道制作及び取付け） ・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空調機器施工（冷凍空調機器の据付け） 検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。																																																											
4	技能士の適用																																																												
⑤	機材の検査及び試験、施工の検査及び試験																																																												
6	監督員事務所	本工事で ・設ける（規模 ） ※設けない																																																											
7	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。尚、届出に係る費用は受注者の負担とする。																																																											
8	工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。																																																											
9	工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない																																																											
⑩	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。																																																											
⑪	建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。																																																											
⑫	埋め戻し土・盛土	※根切土中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類																																																											
⑬	再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、 ○使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、 1購入あたり1棟体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																																																											
⑭	発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は ※本工事 ・別途） (1) 引渡しを要するもの（ ） (2) 買取処分をするもの（ ） (3) 再生資源化を図るもの（ ・硬質塩化ビニル管 ・ ） (4) 特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。																																																											
⑮	容量等の表示	(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。																																																											
⑯	配管	(1) 地中埋設配管（排水管を除く） 1) 地中埋設機（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・不要 2) 地中埋設機（キャッツアイ） ※要（舗装部の分岐、曲部） ・不要 3) 埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・不要 設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度K _h 及び設計用鉛直震度K _v （K _h /2）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。																																																											
⑰	あと施工アンカー	設計用水平震度 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">・特定の施設</th><th colspan="2">・一般の施設</th></tr><tr><th></th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td>上層階</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>屋上及び塔屋</td><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td></tr><tr><td></td><td>(2.0)</td><td><1.5></td><td><1.5></td><td>1.0</td></tr><tr><td>中間階</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td></tr><tr><td></td><td>(1.5)</td><td><1.0></td><td><1.0></td><td><0.6></td></tr><tr><td>1階及び地下階</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td></td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td></tr><tr><td></td><td>(1.5)</td><td><1.0></td><td><1.0></td><td><0.6></td></tr></tbody></table> (注) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は水櫃類に適用する。 ※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階） 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し） 重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防火設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーポルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。	設置場所	耐震安全性の分類				・特定の施設		・一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	2.0	1.5	1.5	1.0	屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)		(2.0)	<1.5>	<1.5>	1.0	中間階	1.5	1.0	1.0	0.6		(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)		(1.5)	<1.0>	<1.0>	<0.6>	1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4		(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)		(1.5)	<1.0>	<1.0>	<0.6>
設置場所	耐震安全性の分類																																																												
	・特定の施設		・一般の施設																																																										
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																									
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0																																																									
屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)																																																									
	(2.0)	<1.5>	<1.5>	1.0																																																									
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6																																																									
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)																																																									
	(1.5)	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																																									
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4																																																									
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																									
	(1.5)	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																																									
⑱	防露保温工事	標準仕様書2編によるほか下記による。 空気調和設備工事の保温の種別 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">ドレン管</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(ハ)・Ⅷ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(ハ)・Ⅷ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>c2・(ロ)・Ⅷ</td></tr><tr><td rowspan="3">浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>e3・(ハ)・Ⅷ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>—</td></tr><tr><td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td><td>d・(ロ)・Ⅷ</td></tr><tr><td rowspan="3">屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(イ)・Ⅱ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・Ⅱ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>C2・(ロ)・Ⅱ</td></tr><tr><td rowspan="3">冷水・冷温水管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(ハ)・Ⅲ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(ハ)・Ⅲ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>C1・(イ)・Ⅲ</td></tr><tr><td rowspan="3">屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>C2・(ロ)・Ⅰ</td></tr><tr><td rowspan="3">温水管（膨張管を含む。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>C2・(ロ)・Ⅰ</td></tr><tr><td rowspan="3">屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>C2・(ロ)・Ⅰ</td></tr></tbody></table> (注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆鋼管を使用し、外装は下記による。 屋内露出部 ※保温化粧カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製） 屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング ・保温化粧カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製） 2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 3. 機器類の保温材の種類は、（※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材）とする。	区分	施工箇所	保温種別	ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅷ	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅷ	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅷ	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	e3・(ハ)・Ⅷ	天井内、P S内及び空隙壁中	—	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	d・(ロ)・Ⅷ	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅱ	冷水・冷温水管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ	天井内、P S内及び空隙壁中	C1・(イ)・Ⅲ	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ	温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ							
区分	施工箇所	保温種別																																																											
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅷ																																																											
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅷ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅷ																																																											
浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	e3・(ハ)・Ⅷ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	—																																																											
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	d・(ロ)・Ⅷ																																																											
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ																																																											
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅱ																																																											
冷水・冷温水管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ																																																											
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	C1・(イ)・Ⅲ																																																											
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ																																																											
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ																																																											
温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ																																																											
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ																																																											
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ																																																											
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ																																																											
ダクトの保温の種別 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">長方形ダクト</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>J1・(イ)・X I</td></tr><tr><td>屋内露出（機械室、書庫、倉庫）</td><td>I・(イ)・X I</td></tr><tr><td>屋内隠ぺい、D S内</td><td>I・(ロ)・X I</td></tr><tr><td rowspan="3">円形ダクト</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>O1・(イ)・X I</td></tr><tr><td>屋内露出（機械室、書庫、倉庫）</td><td>N・(イ)・X I</td></tr><tr><td>屋内隠ぺい、D S内</td><td>N・(ロ)・X I</td></tr><tr><td rowspan="3">屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>O1・(イ)・X I</td></tr><tr><td>屋内露出（機械室、書庫、倉庫）</td><td>N・(イ)・X I</td></tr><tr><td>屋内隠ぺい、D S内</td><td>N・(ロ)・X I</td></tr><tr><td rowspan="3">消音内貼り</td><td>消音チャンパー</td><td>M・(ロ)・Ⅸ</td></tr><tr><td>消音チャンパー</td><td>L・(ロ)・Ⅸ</td></tr></tbody></table> 給排水衛生設備工事の保温の種別 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">給水管</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(ロ)・Ⅷ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(ロ)・Ⅷ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>c2・(ロ)・Ⅷ</td></tr><tr><td rowspan="3">排水及び通気管</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>—</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>(ロ)・Ⅷ</td></tr><tr><td>天井内、P S及び空隙壁中</td><td>c2・(ロ)・Ⅷ</td></tr><tr><td rowspan="3">給湯管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>c2・(ロ)・Ⅰ</td></tr><tr><td rowspan="3">屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空隙壁中</td><td>c2・(ロ)・Ⅰ</td></tr></tbody></table> (注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。 2. 排水管の管種が耐火二層管、耐火V Pの場合は、保温を要しない。 3. 施工種別の材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 4. 機器類の保温材の種類は、（※グラスウール ・ロックウール）とする。 5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e1・(ロ) ・Ⅷとする。 6. 便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。 7. 空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によりず保温を要しない。 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。 ⑲ 防凍保温 ※屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚40mmの防凍保温を行うこと。 ・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。 下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ※機械室、書庫、倉庫 下記の金属電線管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出（見えかきり部 ・ ） 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。	区分	施工箇所	保温種別	長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・X I	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(イ)・X I	屋内隠ぺい、D S内	I・(ロ)・X I	円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・X I	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・X I	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・X I	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・X I	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I	消音内貼り	消音チャンパー	M・(ロ)・Ⅸ	消音チャンパー	L・(ロ)・Ⅸ	区分	施工箇所	保温種別	給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ロ)・Ⅷ	機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・Ⅷ	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅷ	排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	—	機械室、書庫、倉庫	(ロ)・Ⅷ	天井内、P S及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅷ	給湯管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ	
区分	施工箇所	保温種別																																																											
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・X I																																																											
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(イ)・X I																																																											
	屋内隠ぺい、D S内	I・(ロ)・X I																																																											
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・X I																																																											
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・X I																																																											
	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I																																																											
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・X I																																																											
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・X I																																																											
	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I																																																											
消音内貼り	消音チャンパー	M・(ロ)・Ⅸ																																																											
	消音チャンパー	L・(ロ)・Ⅸ																																																											
	区分	施工箇所	保温種別																																																										
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ロ)・Ⅷ																																																											
	機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・Ⅷ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅷ																																																											
排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	—																																																											
	機械室、書庫、倉庫	(ロ)・Ⅷ																																																											
	天井内、P S及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅷ																																																											
給湯管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ																																																											
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ																																																											
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ																																																											
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ																																																											
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ																																																											
⑳	塗装																																																												
㉑	電線																																																												

区分	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅷ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅷ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅷ
浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	e3・(ハ)・Ⅷ
	天井内、P S内及び空隙壁中	—
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	d・(ロ)・Ⅷ
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅱ
冷水・冷温水管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C1・(イ)・Ⅲ
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ

- 冷媒管は、断熱材被覆鋼管を使用し、外装は下記による。
屋内露出部 ※保温化粧カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製）
屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング
・保温化粧カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製）
- 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
- 機器類の保温材の種類は、（※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材）とする。

区分	施工箇所	保温種別
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・X I
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(イ)・X I
	屋内隠ぺい、D S内	I・(ロ)・X I
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・X I
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・X I
	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・X I
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・X I
	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I
消音内貼り	消音チャンパー	M・(ロ)・Ⅸ
	消音チャンパー	L・(ロ)・Ⅸ


給排水衛生設備工事の保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ロ)・Ⅷ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・Ⅷ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅷ
排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	(ロ)・Ⅷ
	天井内、P S及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅷ
給湯管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ

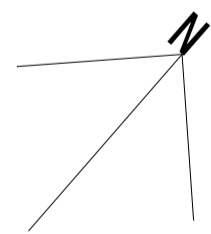
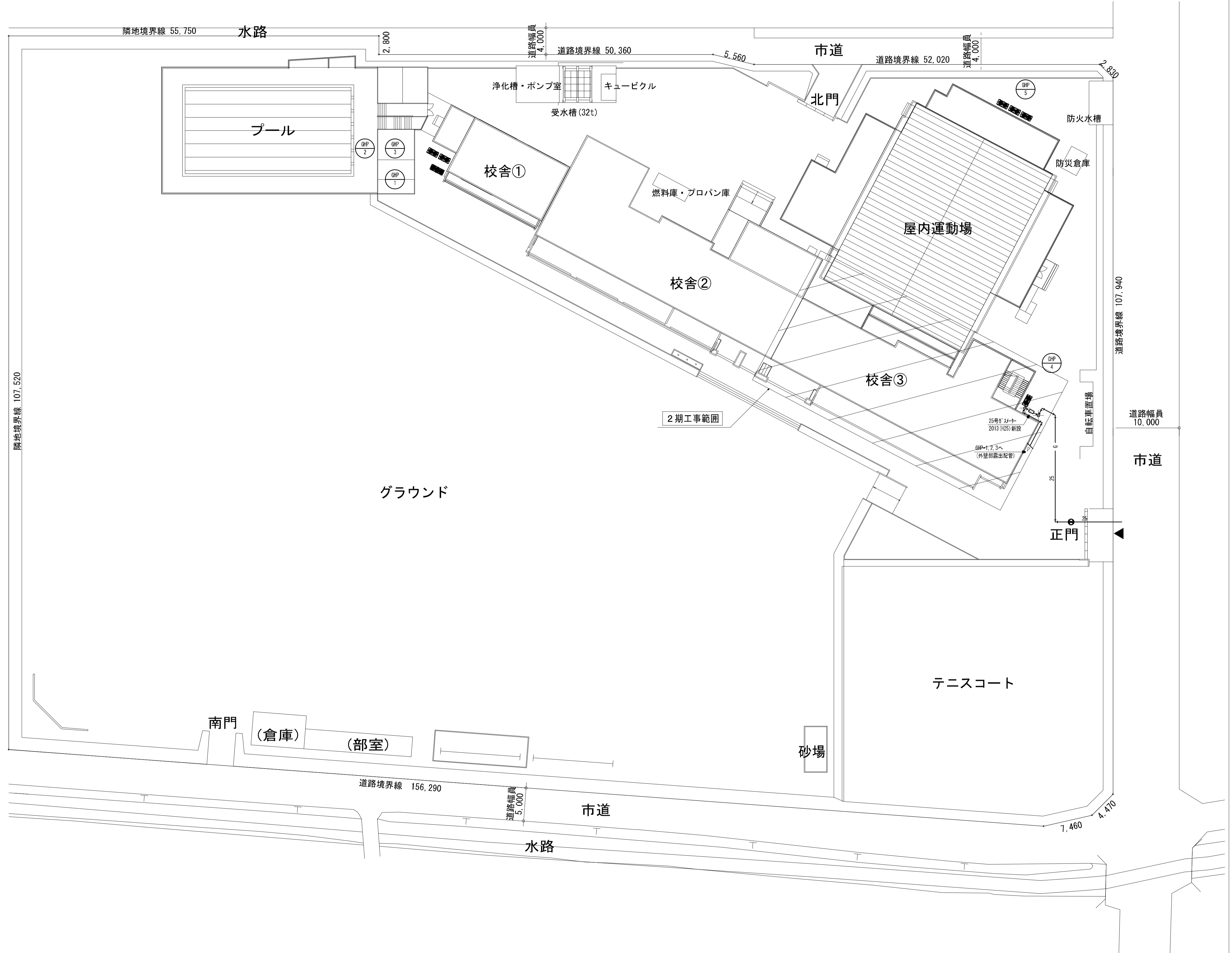
- 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。
 - 排水管の管種が耐火二層管、耐火V Pの場合は、保温を要しない。
 - 施工種別の材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
 - 機器類の保温材の種類は、（※グラスウール ・ロックウール）とする。
 - 消火管屋外露出部保温仕様は、e1・(ロ) ・Ⅷとする。
 - 便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。
 - 空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によりず保温を要しない。
 - ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。
- ⑲ 防凍保温
※屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚40mmの防凍保温を行うこと。
・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。
・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。
下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。
※機械室、書庫、倉庫
下記の金属電線管は塗装を行う。
※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出（見えかきり部 ・ ）
特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

㉒	はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の実施及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
㉓	管の埋設深さ	(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 構内車両道路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで300mmとする。
㉔	既設管分岐・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
㉕	絶縁継手の設置・種別	※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※S O A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ
26	天井仕上げ区分	() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
㉗	他工事との取合区分	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。
㉘	施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
㉙	保険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。
㉚	配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
㉛	墜落制止用器具（フルハーネス型）	※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付発発0622第2号）による ・使用を要しない
32	誘導電動機	三相誘導電動機はJ I S C 4 2 1 3（I E 3）トップランナーモーターとする。
㉜	完成図書の子納品	完成図書の電子納品運用ガイドライン ※適用する ・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。 また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A 3二つ折り製本4部とする。
㉝	その他	工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又は、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
①	共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。
②	改修部分の足場	本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・枠組足場 (2) 外部足場 ※ A種（枠組足場） ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
③	既存部分養生・既存家具等養生	(1) 関係受注業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は(2)による。） (2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※ビニールシート ・合板 ・
④	備品等の移動	・別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事
⑤	仮設間仕切り	(1) 関係請負業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は(2)による。） (2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※A種 単管下地全面シート張り ・
⑥	撤去後機材の扱い	(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 (2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。 (1) インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品 (2) 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品
⑦	支持金物の再使用	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
⑧	あと施工アンカーの種別	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
⑨	フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・未再生引き渡し 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理すること。
⑩	総合調整	・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整
⑪	既設基礎類の解体はつり	建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。
⑫	アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。
⑬	その他	(1) 図面上の縮尺は、J I S A1版とした縮尺とする。 (2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。

	KUJI ARCHITECTS STUDIO
	株式会社 久慈設計 埼玉事務所

	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機駆動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R 4 1 0 A、R 3 2 又は R 4 0 7 C) (注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県円調調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>12 擬音装置</p> <p>・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>2 洗面器等の排水管</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手</p> <p>3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用</p> <p>別紙樹表による。</p>																																																																																											
<p>● 空気調和設備</p> <p>① 設計温湿度</p> <table border="1" data-bbox="308 294 795 399"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> <td>26℃</td> <td>9%</td> <td>26℃</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p> <p>② 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない</p> <p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) はい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>⑪ 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (3) フライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 V P ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (IADACH™) (相当品) ・耐火二層管 V P (F D P S - 1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・</p> <p>12 弁 類</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手は図示による。</p> <p>13 温 度 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空調調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空調調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各還り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空調調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各還り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空調調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p> <p>16 油面制御装置</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔</p> <p>※直交流型 ・向流型 ※レジオネラ菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>		外 気				屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	26℃	9%	26℃	9%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%	20℃	9%	<p>● 換気設備</p> <p>① 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>② 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>④ チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多温箇所排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火V P) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠へい部ダクト 仕様はN ・ (ロ) ・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) の用隠蔽へい部ダクト (仕様はh ・ (イ) ・区とし範囲は図示による)</p> <p>⑧ 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない</p>	<p>○ 排煙設備</p> <p>1 ダクト</p> <p>※亜鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>※天井取付 (・スリット形 ・スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>● 自動制御</p> <p>① 中央監視制御装置</p> <p>・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能</p> <p>図示による</p> <p>③ 電気装用機材</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠へい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>	<p>○ 衛生器具設備</p> <p>1 小便器用節水装置</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体系・分離形) とする。</p> <p>2 パリアフリー対応</p> <p>・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ①洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サームスタート式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ②鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 ・照明無 ・照明付)</p> <p>3 衛生器具付属水栓</p> <p>(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマとする。</p> <p>4 自動水栓類の電源</p> <p>※AC100V ・乾電池等 ・自己発電</p> <p>5 暖房便座</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用液は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水I型 ・節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式 ・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>7 大便器耐火カバー</p> <p>※設ける (ピット内は除く) ・設けない</p> <p>8 掃除用</p> <p>※共栓なしとする ・共栓付とする。</p> <p>9 排水器具用L継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>10 標 記 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用水に雨水等を利用している場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>11 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給栓等がない場合は、監督官と協議のうえ洗面器、手洗いに設ける。</p>	<p>● 給水設備</p> <p>① 配管材料</p> <table border="1" data-bbox="795 399 1448 756"> <tr> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">管 種 別</th> </tr> <tr> <th>管 種 別</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・ポリブテン管</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨扉、浴室等の湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 使用天井内、P S内 (注5) ※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上) 使用天井内 ※ポリブテン管 (1.0mm保温付) 使用空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>居室住宅 住戸内 使用天井内、P S内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上) 使用天井内 ※ポリブテン管 (1.0mm保温付) 使用空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上) 使用天井内 ※ポリブテン管 (1.0mm保温付) 使用空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ※7A7I) ・拡張) 便所・廊下流し廻り露出配管 (※拡張) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、接続がないうことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径2.5Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>③ 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさを呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。</p> <p>※観メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買い取り ・)</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図MC形</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓</p> <p>⑧ 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記の通り施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ◎標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>⑨ 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	施 工 箇 所	管 種 別		管 種 別	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PPD ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	ウエット厨扉、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (水道直結部分)	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD	地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 使用天井内、P S内 (注5) ※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上) 使用天井内 ※ポリブテン管 (1.0mm保温付) 使用空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	居室住宅 住戸内 使用天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上) 使用天井内 ※ポリブテン管 (1.0mm保温付) 使用空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD	保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (一般部分)	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上) 使用天井内 ※ポリブテン管 (1.0mm保温付) 使用空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	<p>● 排水設備</p> <p>① 配管材料</p> <table border="1" data-bbox="795 1864 1448 2016"> <tr> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">管 種 別</th> </tr> <tr> <th>管 種 別</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ※SGP (白) ・ ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・SGP (白)</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水 耐火性能を要求される箇所</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ・排水用/分岐球 形塗装鋼管</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>耐火性能を要求される箇所 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ①耐火V P</td> <td>耐火性能を要求される箇所 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ①耐火V P</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K 6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編 2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 4.5度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別		管 種 別	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ※SGP (白) ・ ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・SGP (白)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	厨房等の温排水 耐火性能を要求される箇所	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ・排水用/分岐球 形塗装鋼管	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	その他の部分	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	地中埋設部	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	共通	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・SGP (白)	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ①耐火V P	耐火性能を要求される箇所 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ①耐火V P
		外 気				屋 内																																																																																									
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																																							
夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	26℃	9%	26℃	9%																																																																																							
冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%	20℃	9%																																																																																							
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																														
	管 種 別	管 種 別																																																																																													
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PPD ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																													
ウエット厨扉、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																																													
保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (水道直結部分)	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD																																																																																													
地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 使用天井内、P S内 (注5) ※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上) 使用天井内 ※ポリブテン管 (1.0mm保温付) 使用空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																													
居室住宅 住戸内 使用天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上) 使用天井内 ※ポリブテン管 (1.0mm保温付) 使用空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																													
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																													
湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD																																																																																													
保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (一般部分)	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ①SGP-PPD	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上) 使用天井内 ※ポリブテン管 (1.0mm保温付) 使用空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																													
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																														
	管 種 別	管 種 別																																																																																													
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ※SGP (白) ・ ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・SGP (白)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P																																																																																													
厨房等の温排水 耐火性能を要求される箇所	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P																																																																																													
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ・排水用/分岐球 形塗装鋼管	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P																																																																																													
その他の部分	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P																																																																																													
地中埋設部	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ①耐火V P																																																																																													
共通	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・SGP (白)																																																																																													
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ①耐火V P	耐火性能を要求される箇所 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ①耐火V P																																																																																													
	<p>一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (1) 第11789号 一級建築士登録 第124323号 相崎 直久</p>	<p>承認</p> <p>審査</p> <p>検 図</p> <p>製 図</p> <p>特 記</p>	<p>改訂番号</p> <p>改訂月日</p> <p>改訂内容</p>	<p>業務番号</p> <p>工事名称</p> <p>市立水谷中学校長寿命化機械設備工事 (第2期工事) (ゼロ債務)</p> <p>図面内容</p> <p>機械設備工事特記仕様書 (2)</p> <p>図面</p> <p>規格</p> <p>A1=N/S A3=N/S</p> <p>標準</p> <p>機械設備</p> <p>M-03</p>																																																																																											

■ 凡例	
GIP-1	1階～3階 西側系統
GIP-2	4階 西側系統
GIP-3	5階 西側系統
GIP-4	3階、5階 東側系統
GM	25号機 25号機 GIP-1, 2, 3, 4用



承認	審査	検図	製図	特記
一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号				
一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久				

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
	図面内容
	【改修】配置図

縮尺	図面区分	図面番号	機械設備
A1=1/100	図面		
A3=1/200	図面		
			M-05

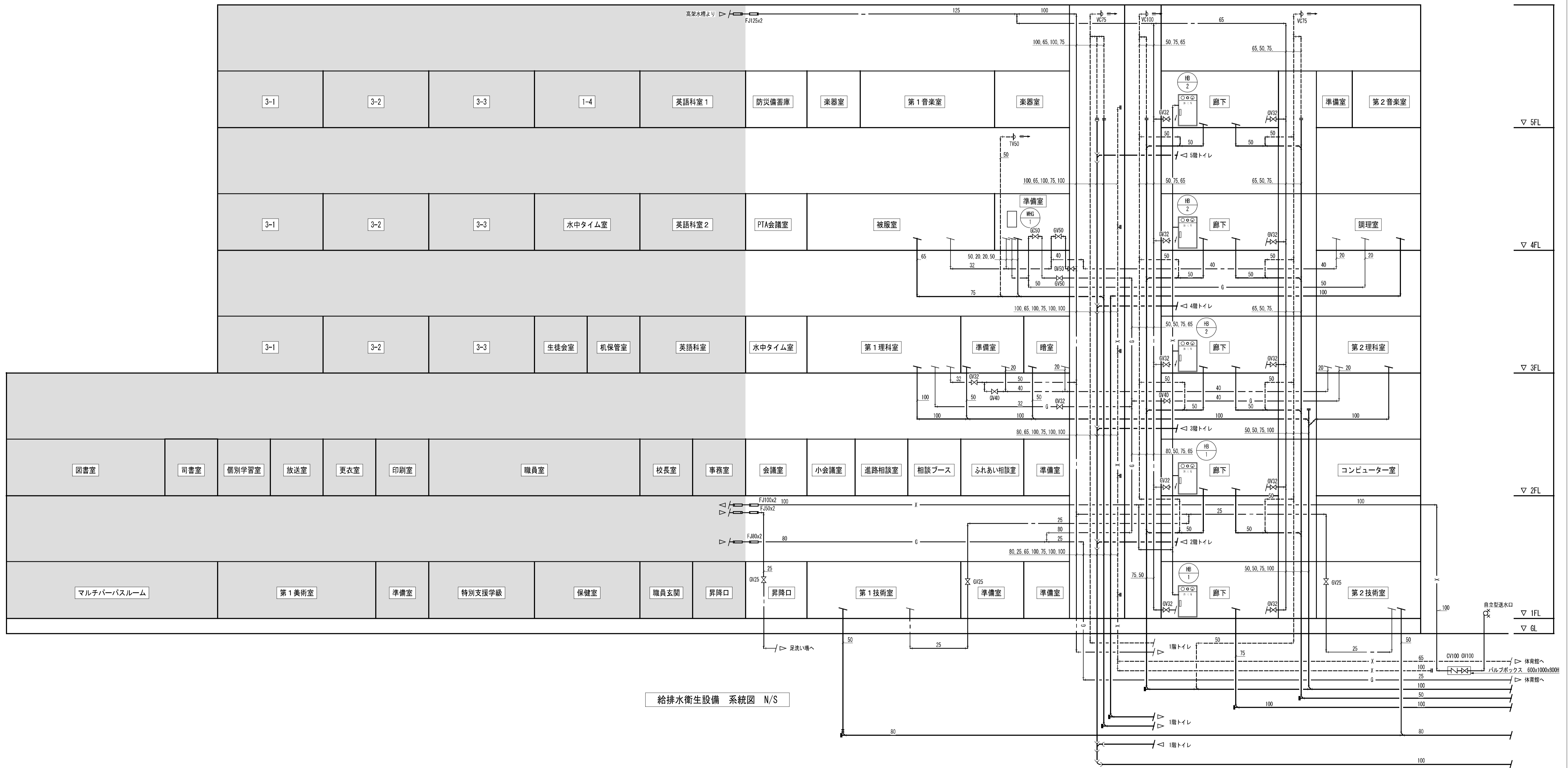
給排水衛生設備（改修）機器表

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考
				相(φ)	電圧(V)	消費電力(kw)	階	室名	
WHG-1	瞬間湯沸器 (新設)	型式 瞬間湯沸器(LPガス用)	1台				4階	被服準備室	
		号数 5号							
		ガス消費量 10.5 kw (0.75 kg/h)							
		ガス種 LPガス							
		出湯能力 5.0 L/min(25℃上昇)・3.1 L/min(40℃上昇)							
		付属品 標準一式							
GS-1	ガステーブル (新設)	型式 二口業務用ガステーブル	1台				4階	被服準備室	
		ガス接続 9.5φガス用ゴム管							
		ガス種 LPガス							
		付属品 標準一式							

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考
				相(φ)	電圧(V)	消費電力(kw)	階	室名	
HB-1	消火栓 (新設)	屋内消火栓 埋込型 総合盤組込型	2台						
		呼称 40A	(1台)				1階	廊下	
		外形寸法 0.2 x 0.9 x 1.3h	(1台)				2階	廊下	
		付属品 消防用ネジ、ノズル、その他付属品一式							
HB-2	消火栓 (新設)	屋内消火栓 埋込型 総合盤組込型	3台						
		呼称 40A	(1台)				3階	廊下	
		外形寸法 0.2 x 0.9 x 1.3h	(1台)				4階	廊下	
		付属品 消防用ネジ、ノズル、送水口付、その他付属品一式	(1台)				5階	廊下	
H-1	消火器 (新設)	蓄圧式ABC消火器 10型	14台						
		薬材量 3.0 kg	(2台)				1階	廊下	
		放射距離 4~7 m	(2台)				2階	廊下	
		付属品 標準一式	(2台)				3階	廊下	
			(1台)				3階	第1理科室	
			(1台)				3階	第2理科室	
			(2台)				4階	廊下	
			(1台)				4階	被服準備室	
			(1台)				4階	調理室	
			(2台)				5階	廊下	

給排水衛生設備（改修）器具表

器具名称	参考型番		仕様 / 付属品	電気仕様 (参考)			1階				2階				3階				4階				5階				R階				合計	備考	
	TOTO	LIXIL		φ	V	W	廊下	第1理科室	準備室	第2理科室	用具庫	廊下	第1理科室	準備室	第2理科室	廊下	被服室	準備室	調理室	廊下	第1理科室	第2理科室	調理室	廊下	第1理科室	第2理科室	調理室	廊下	第1理科室	第2理科室			調理室
立水栓 (新設)	T136AUN13CR	SF-B404X				12	4			3	12				12	5	3	5		12	7	1	7									95	
洗濯機パン (新設)	PWP800N2W	PF-8064AC	横型 樹脂製、トラップ共																			1									1		
洗濯用水栓 (新設)	TW11R	LF-WJ50KQA	洗濯機用機水栓																			1									1		
流しトラップ (新設)			T14AA-50			6					6				6							6										30	
流しトラップ (新設)			T14BB-50			1			1						2	1	2					3	1	2							13		
床上掃除口 (新設)			COA50			1			1								1														3		
床上掃除口 (新設)			COA65														1														1		
床上掃除口 (新設)			COA80			3				1					2	2						1	2								11		
床下掃除口 (新設)			COC100												4							2									6		
床排水トラップ (新設)			T5B-100												1	1							1								3		



給排水衛生設備 系統図 N/S

凡例	
—	給水管
—	排水管
—	汚水管
—	通気管
—	ガス管
—	消火管

■ 注記
 工事対象外
 撤去範囲は平面図記載とする。

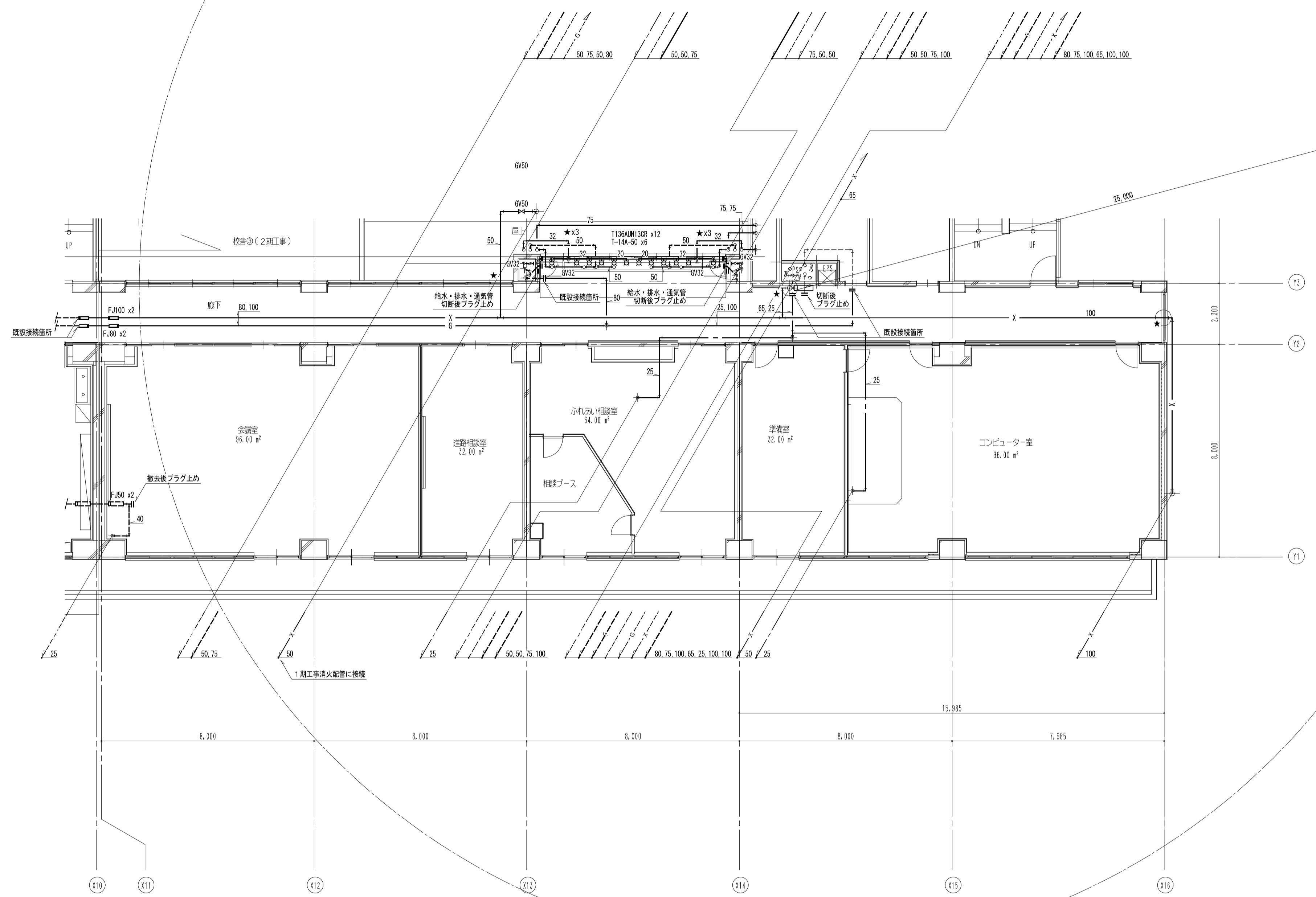
一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号	承認	審査	検図	製図	特記
一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久					

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面内容	【改修】給排水衛生設備 系統図

縮尺	図名	図番	機械設備
A1=N/S A3=N/S			M-07

凡例	
——	給水管
——	排水管
——	通気管
—G—	ガス管
—X—	屋内消火栓管



2階平面図 S=1:100

注記)
 ・ 梁貫通箇所は既設スリーブを使用する事。
 ・ 〇〇は既設配管を示す。
 ・ □は既設スリーブを示す。
 ・ ☆はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号	承認	審査	検図	製図	特記
一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久					

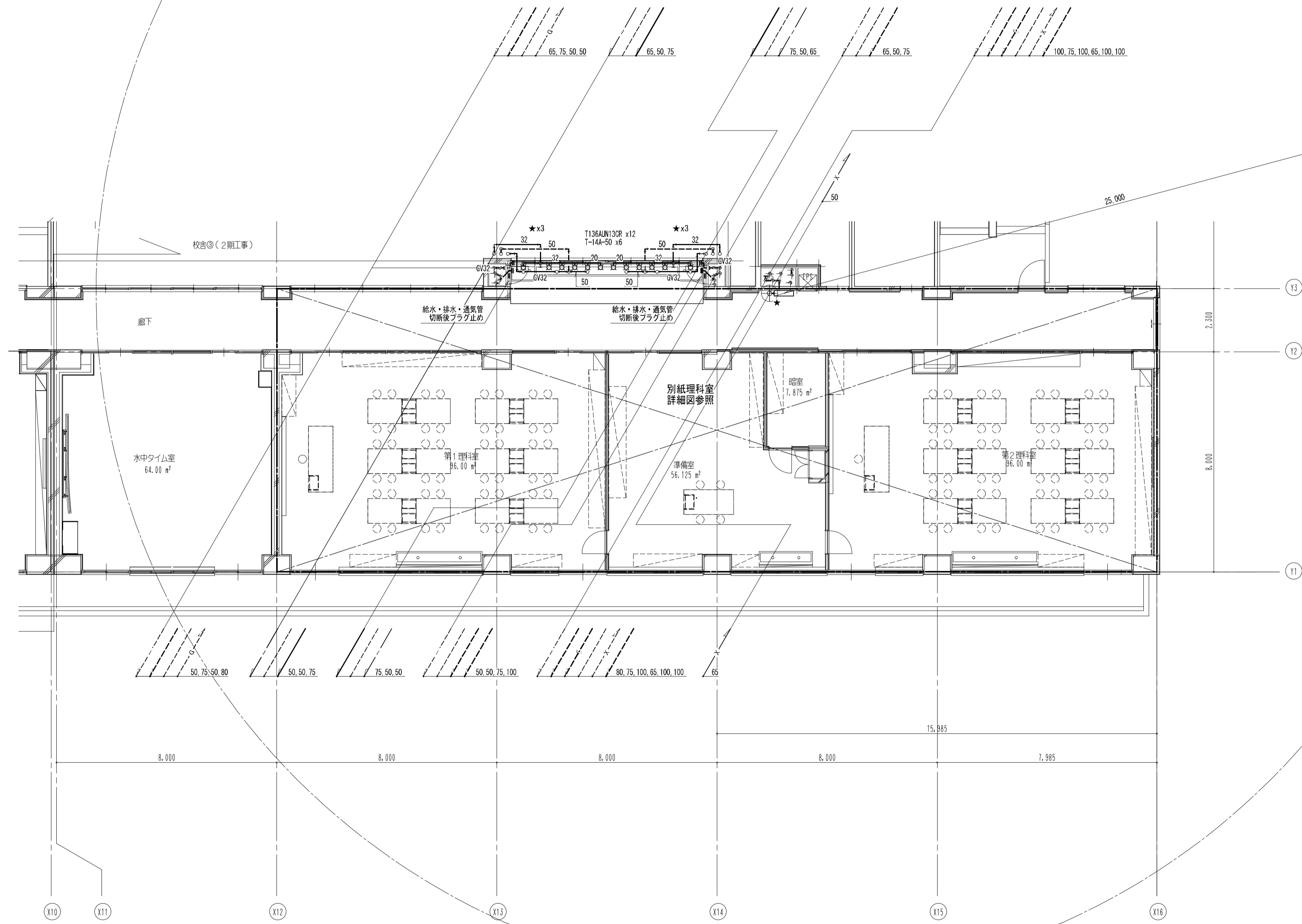
改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面内容	【改修】給排水衛生設備 2階平面図

縮尺	図面	機械設備
A1=1/100	図面	
A3=1/200	図面	M-09

凡例

——	給水管
——	排水管
——	通気管
—G—	ガス管
—X—	屋内消火栓管



3階平面図 S=1:100

- 注記)
- ・ 梁貫通箇所は既設スリーブを使用する事。
 - ・ 〇は既設配管を示す。
 - ・ □は既設スリーブを示す。
 - ・ ★はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号	承認	審査	検図	製図	特記
一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久					

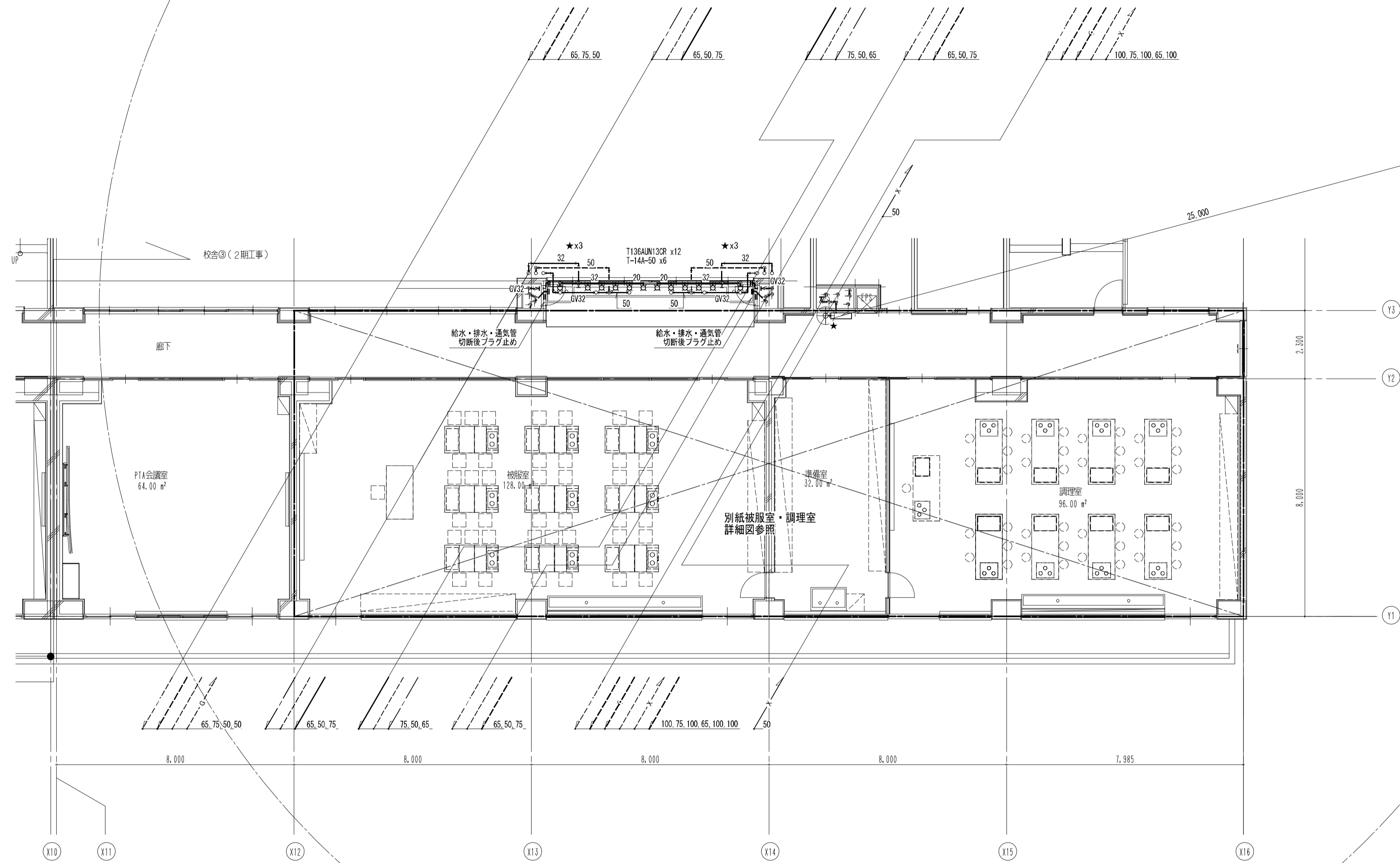
改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面内容	【改修】給排水衛生設備 3階平面図

縮尺	図面	機械設備
A1=1/100	図面	
A3=1/200	図面	M-10

凡例

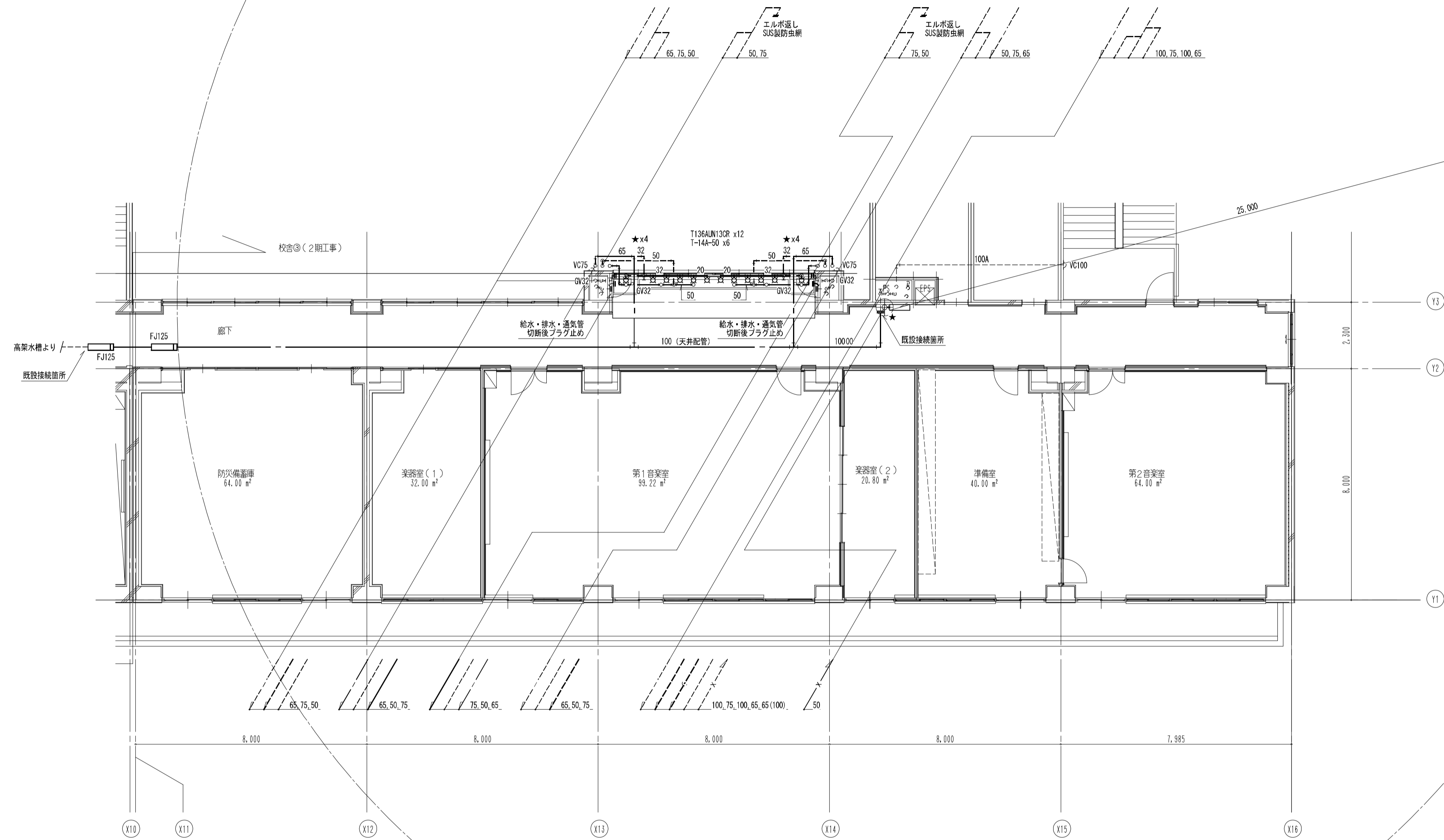
——	給水管
——	排水管
——	通気管
—G—	ガス管
—X—	屋内消火栓管



注記)
 ・ 梁貫通箇所は既設スリーブを使用する事。
 ・ 〇〇〇は既設配管を示す。
 ・ □は既設スリーブを示す。
 ・ ★はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。

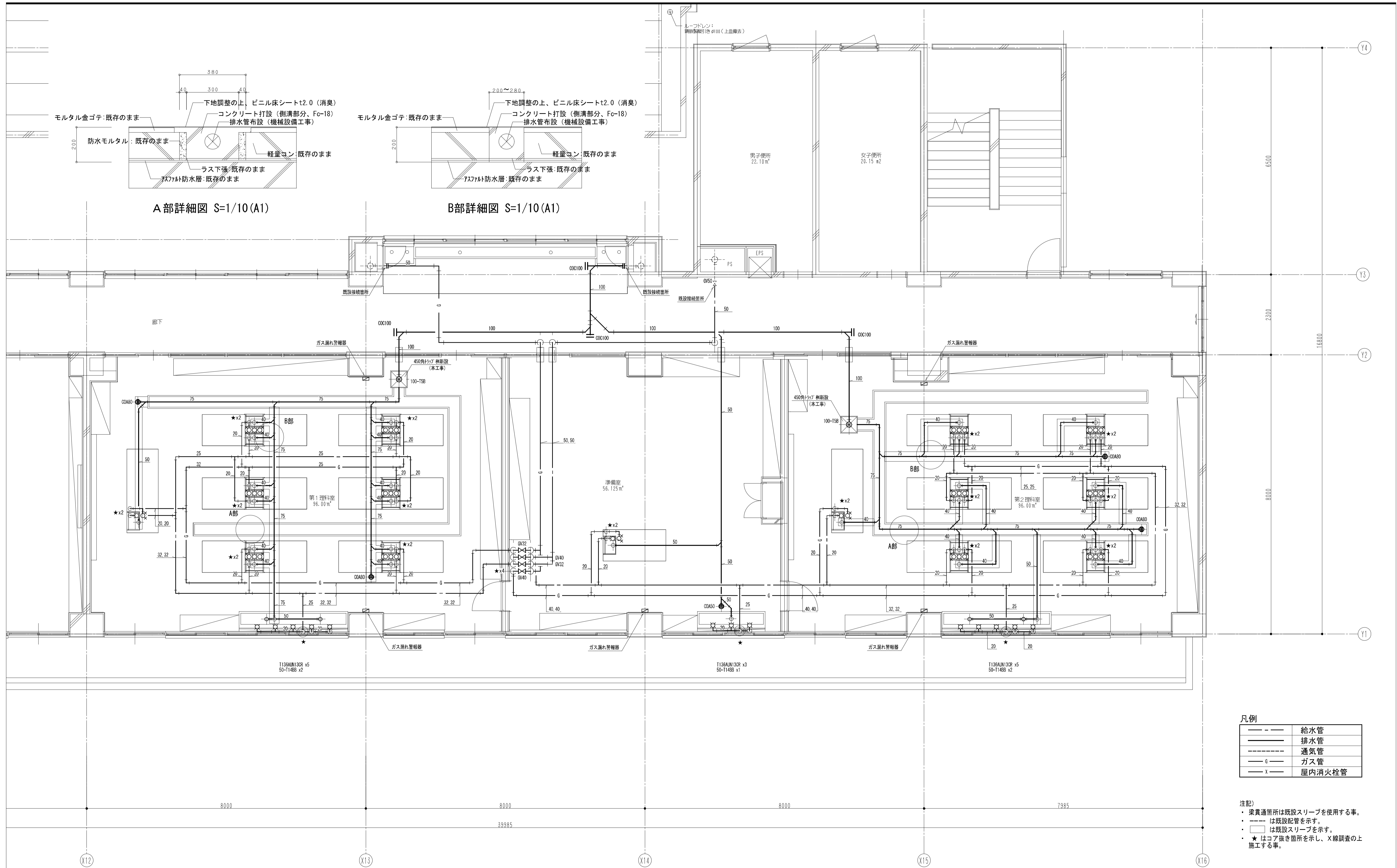
凡例

——	給水管
——	排水管
——	通気管
—G—	ガス管
—X—	屋内消火栓管



5階平面図 S=1:100

- 注記)
- ・ 梁貫通箇所は既設スリーブを使用する事。
 - ・ 〇〇〇は既設配管を示す。
 - ・ □□□は既設スリーブを示す。
 - ・ ★はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。

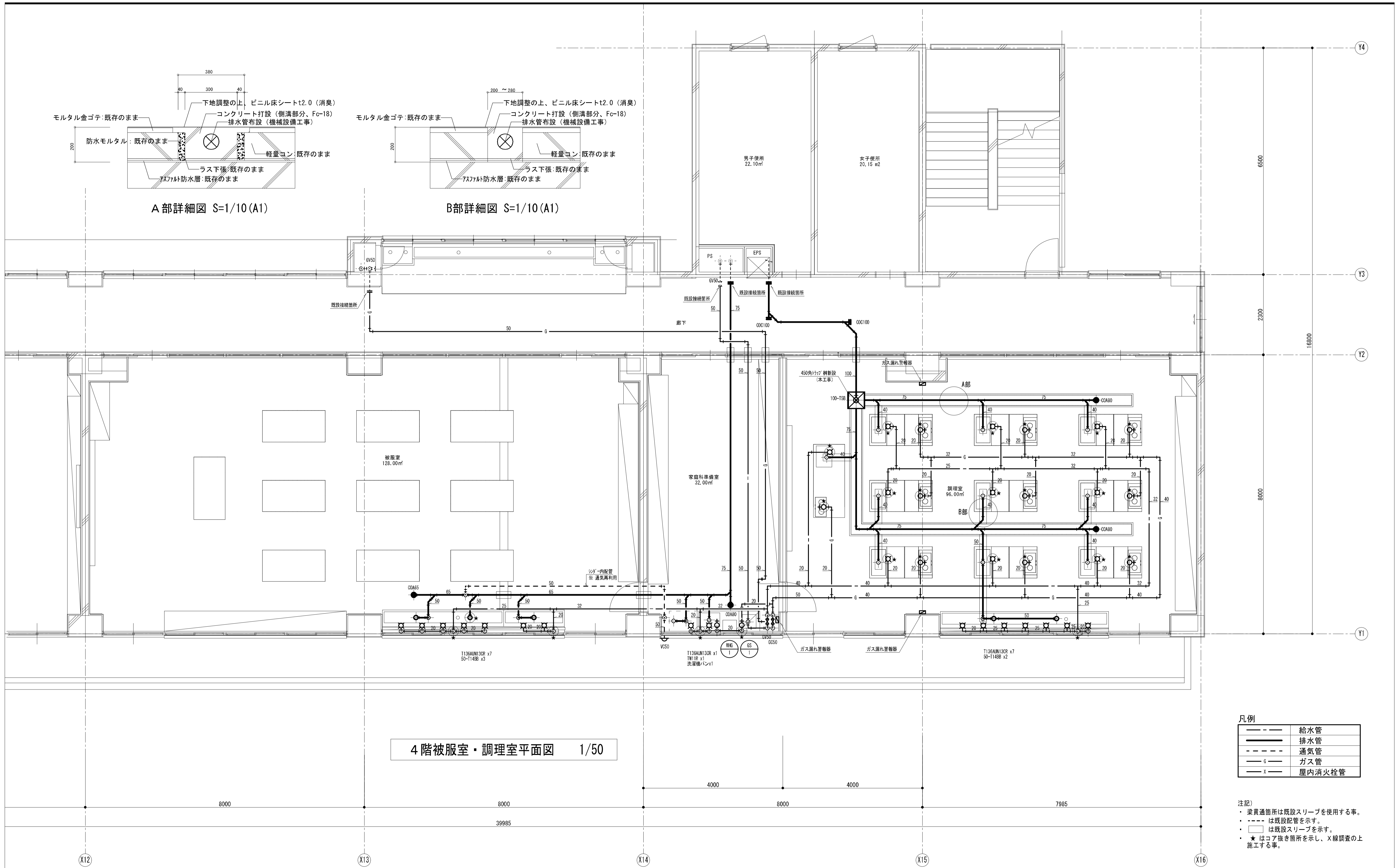


凡例

— — — — —	給水管
— — — — —	排水管
— — — — —	通気管
— G — — —	ガス管
— X — — —	屋内消火栓管

注記)
 ・ 梁貫通箇所は既設スリーブを使用する事。
 ・ — — — — は既設配管を示す。
 ・ □ は既設スリーブを示す。
 ・ ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。

	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号 一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久	承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	工事名称	縮尺	図面内容	図面番号	機械設備
											22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)	A1=1/50 A3=1/100	【改修】給排水衛生設備 第1・第2理科室詳細図	M-13



4階被服室・調理室平面図 1/50

凡例

—	給水管
—	排水管
—	通気管
—	ガス管
—	屋内消火栓管

注記)
 ・ 梁貫通箇所は既設スリーブを使用する事。
 ・ - - - は既設配管を示す。
 ・ □ は既設スリーブを示す。
 ・ ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。

空調換気設備（改修）機器表（1）

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考 (参考)
				相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)	階	室名	
GHP-4	ガスヒートポンプマルチ (室外機) (新設)	型式 ガスヒートポンプマルチエアコン (消臭触媒仕様)	1台	3	200	1.80	-	地上	℥マ-:YNZP850L1DB
		冷房能力 85.0 kW x 1台	COMP						
		暖房能力 95.0 kW x 1台							
		ガス種 13A							
		冷房ガス消費量 78.0 kW							
		暖房ガス消費量 69.2 kW							
		外形寸法 2026 (W) x 880 (D) x 2228 (H) 重量 810 kg							
付属品 遠隔監視アダプター、取付用ブラケット、Y分岐管、他一式共									
GHP-4-1	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	3台	1	200	0.028	1F	第1技術室	℥マ-:YZHP45NA
		冷房能力 4.5 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 5.0 kW							
GHP-4-2	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	3台	1	200	0.031	1F	第2技術室	℥マ-:YZHP56NA
		冷房能力 5.6 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 6.3 kW							
GHP-4-3	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	3台	1	200	0.028	5F	第1音楽室	℥マ-:YZHP45NA
		冷房能力 4.5 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 5.0 kW							
GHP-4-4	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	2台	1	200	0.042	5F	第2音楽室	℥マ-:YZHP71NA
		冷房能力 7.1 kW	FAN			(0.04)			
		暖房能力 8.0 kW							
GHP-6	ガスヒートポンプマルチ (室外機) (新設)	型式 ガスヒートポンプマルチエアコン (消臭触媒仕様)	1台	3	200	1.51	-	地上	℥マ-:YNZP710L1DB
		冷房能力 71.0 kW	COMP			(0.030)			
		暖房能力 80.0 kW							
		ガス種 13A							
		冷房ガス消費量 63.3 kW							
		暖房ガス消費量 59.3 kW							
		外形寸法 1650 (W) x 880 (D) x 2228 (H) 重量 730 kg							
付属品 遠隔監視アダプター、取付用ブラケット、Y分岐管、他一式共									
GHP-6-1	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	2台	1	200	0.028	2F	会議室	℥マ-:YZHP45NA
		冷房能力 4.5 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 5.0 kW							
GHP-6-2	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	1台	1	200	0.028	2F	小会議室	℥マ-:YZHP45NA
		冷房能力 4.5 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 5.0 kW							
GHP-6-3	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	1台	1	200	0.028	2F	進路相談室	℥マ-:YZHP45NA
		冷房能力 4.5 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 5.0 kW							

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考 (参考)
				相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)	階	室名	
GHP-6-4	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	2台	1	200	0.028	3F	英語科室	℥マ-:YZHP45NA
		冷房能力 4.5 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 5.0 kW							
GHP-6-5	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	3台	1	200	0.028	3F	第1理科室	℥マ-:YZHP45NA
		冷房能力 4.5 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 5.0 kW							
GHP-6-6	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	3台	1	200	0.031	3F	第2理科室	℥マ-:YZHP56NA
		冷房能力 5.6 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 6.3 kW							
GHP-6-7	ガスヒートポンプマルチ (室内機) (新設)	型式 天吊形	2台	1	200	0.028	4F	P T A 会議室	℥マ-:YZHP45NA
		冷房能力 4.5 kW	FAN			(0.03)			
		暖房能力 5.0 kW							
GHP-RC	ワイヤードリモコン		11個					℥マ-:LC1G3	
EHP-1	パッケージエアコン (新設)	(室外機)	1組	3	200	7.79	2F	コンピュータ室	℥マ-:SSRB2240D
		型式 床置形・同時ツク	COMP			(4.20)			
		冷房能力 20.0 kW x 1台	FAN			(0.120 x2)			
		暖房能力 22.4 kW x 1台							
		(室内機)	FAN			(0.235)			
EHP-2	パッケージエアコン (新設)	(室外機)	1組	1	200	2.20	2F	ふれあい相談室	℥マ-:SSRA40CV
		型式 床置形	COMP			(1.10)			
		冷房能力 3.6 kW x 1台	FAN			(0.060)			
		暖房能力 4.0 kW x 1台							
		(室内機)	FAN			(0.030)			
EHP-3	パッケージエアコン (新設)	(室外機)	1組	1	200	2.34	2F	ふれあい相談室	℥マ-:SSRH80CV
		型式 床置形	COMP			(2.00)			
		冷房能力 7.1 kW x 1台	FAN			(0.060)			
		暖房能力 8.0 kW x 1台							
		(室内機)	FAN			(0.074)			

※ 1. 電気容量は参考値とする。
2. 冷房能力及び暖房能力は、標準順条件時 (JIS B 8616) の能力を示す。

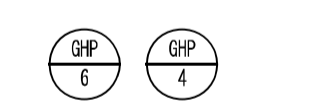
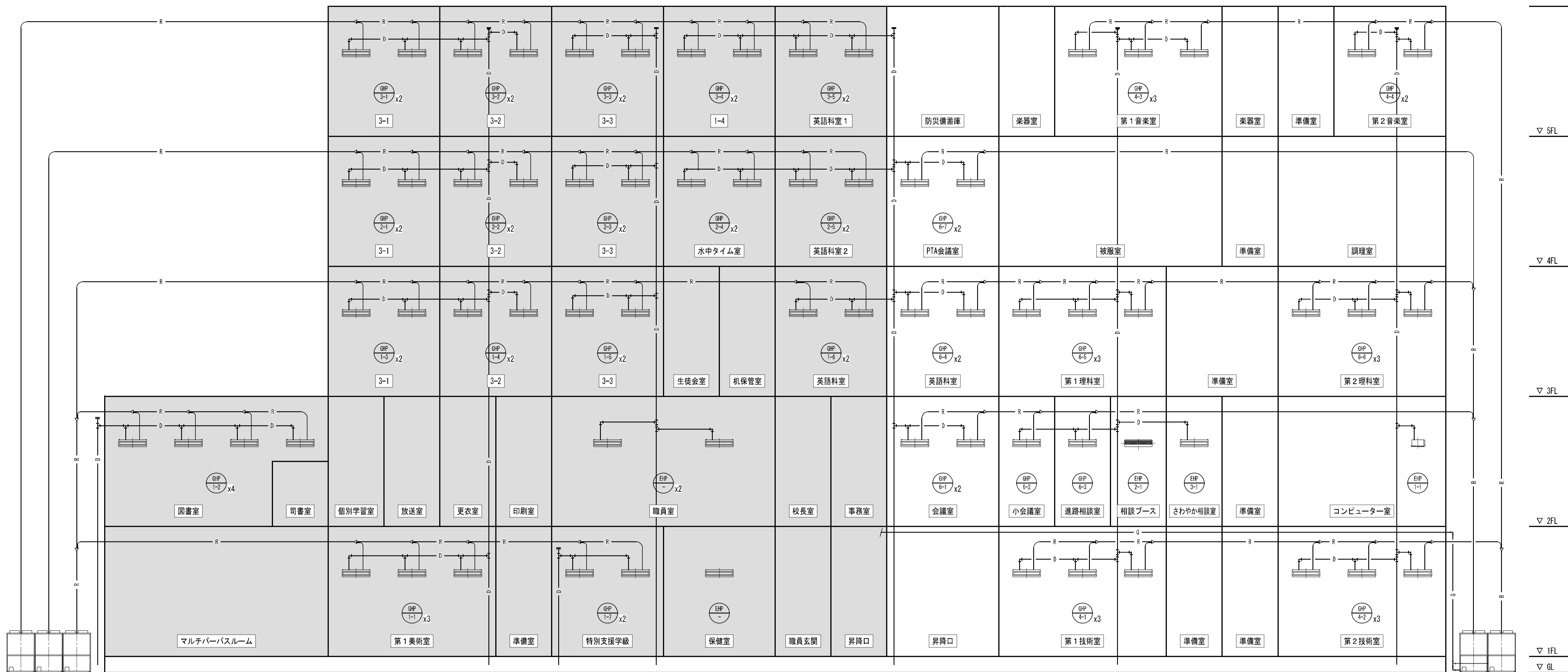


一級建築士事務所
埼玉県知事登録(1)
第11789号
一級建築士登録
第124323号
柏崎 直久

承認 審査 検印 製図 特記

改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号 22094
工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面内容 【改修】空調設備 機器表
縮尺 A1=N/S A3=N/S
図面区分 機械設備
図面番号 M-15

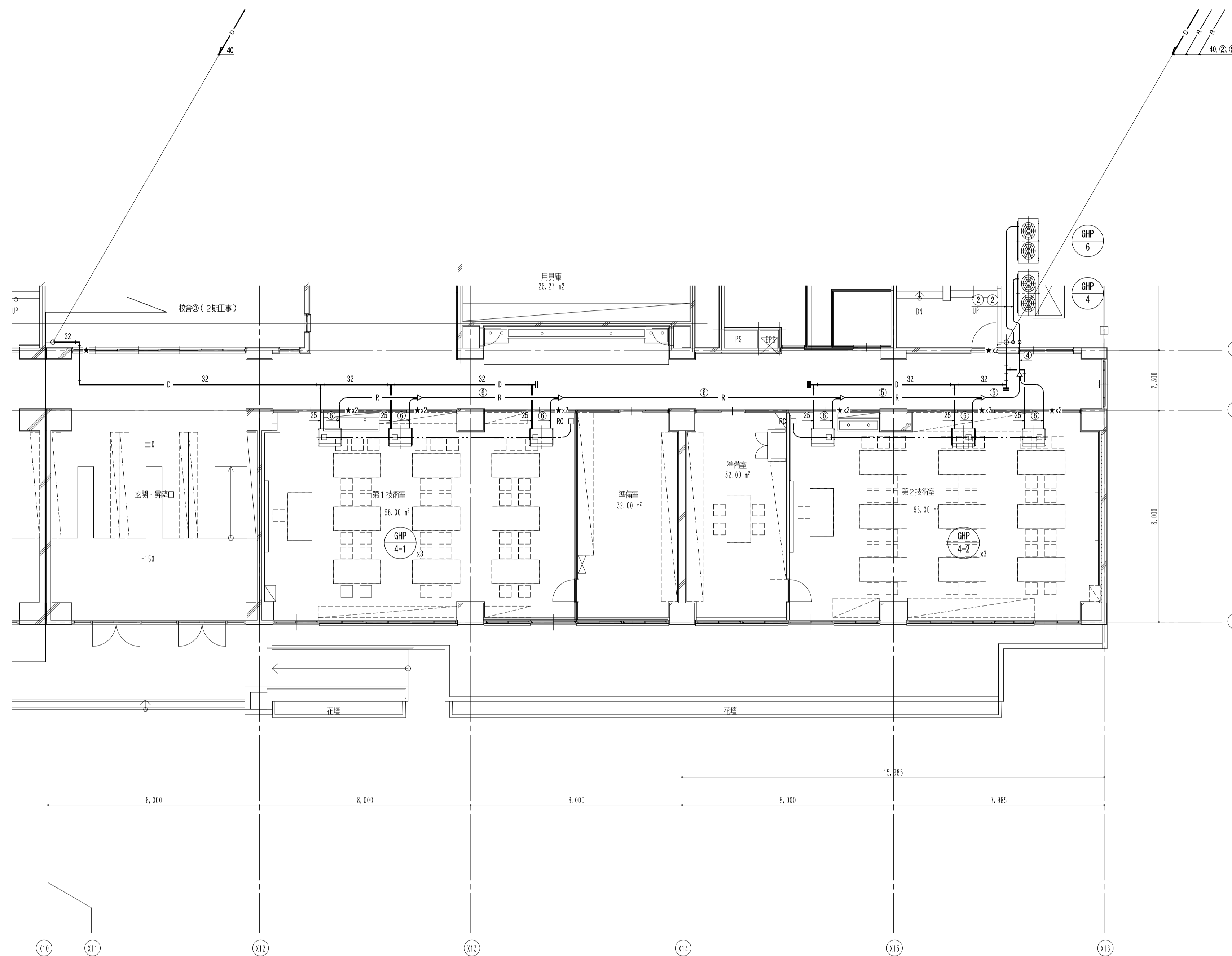


空調設備 系統図 N/S

■ 冷媒用保温付種別銅管

液	ガス	番号線・電源線
① 15.88 φ	31.80 φ	EM-CEESI.25-2C
② 15.88 φ	28.58 φ	
③ 12.70 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	25.40 φ	
⑤ 9.52 φ	22.20 φ	
⑥ 9.52 φ	15.88 φ	
⑦ 6.35 φ	12.70 φ	
⑧ 9.52 φ	25.40 φ	

■ 注記
 工事対象外



1階平面図 S=1:100

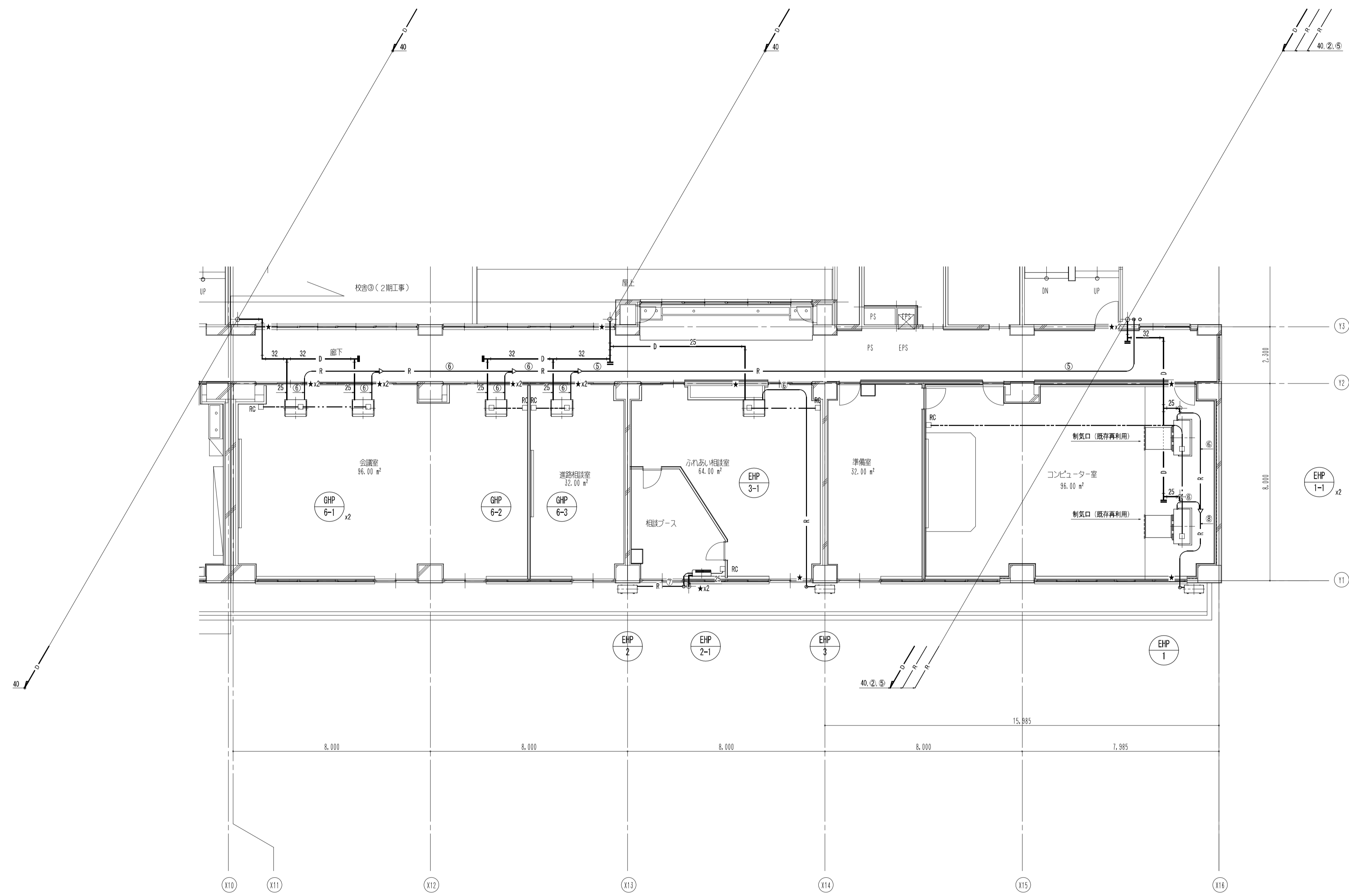
■ 凡例

	は型はつり種格を示す。
AP	はアルミパネルを示す。(建築工事)
	CEESI.25-2C 30N'3
	CEESI.25-2C (1種金属線及びU型)
RC	リモコンスイッチ (1種金属線及びA型2用BOX)
DR	集中コントローラー (1種金属線及びB型2用BOX)

■ 冷暖用保温付種別管

液	ガス	信号線・電源線
① 15.88 φ	31.80 φ	EM-CEESI.25-2C
② 15.68 φ	28.58 φ	
③ 12.70 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	25.40 φ	
⑤ 9.52 φ	22.20 φ	
⑥ 9.52 φ	15.88 φ	
⑦ 6.35 φ	12.70 φ	
⑧ 9.52 φ	25.40 φ	

注記) ★はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。



2階平面図 S=1:100

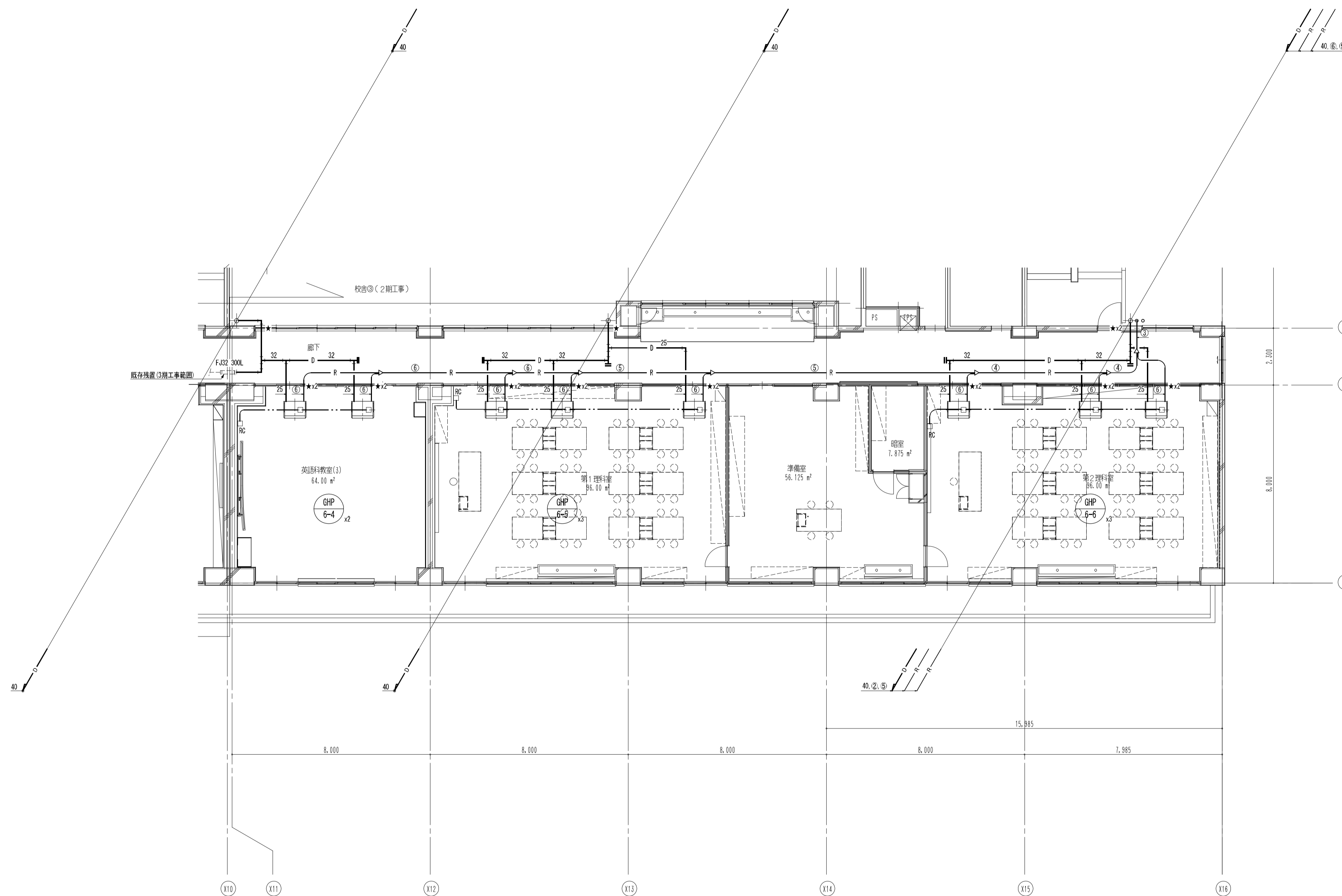
■ 凡例

	は壁はつり天井を示す。
AP	はアルミパネルを示す。(建築工事)
	CEES1.25-2C (1種金属線及びU型)
	リモコンスイッチ (1種金属線及びA型2用BOX)
	集中コントローラー (1種金属線及びB型2用BOX)

■ 冷暖用保温付配管径

	液	ガス	信号線・電源線
①	15.88 φ	31.80 φ	EM-CEES1.25-2C
②	15.68 φ	28.58 φ	
③	12.70 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	25.40 φ	
⑤	9.52 φ	22.20 φ	
⑥	9.52 φ	15.88 φ	
⑦	6.35 φ	12.70 φ	
⑧	9.52 φ	25.40 φ	

注記) ★はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。



3階平面図 S=1:100

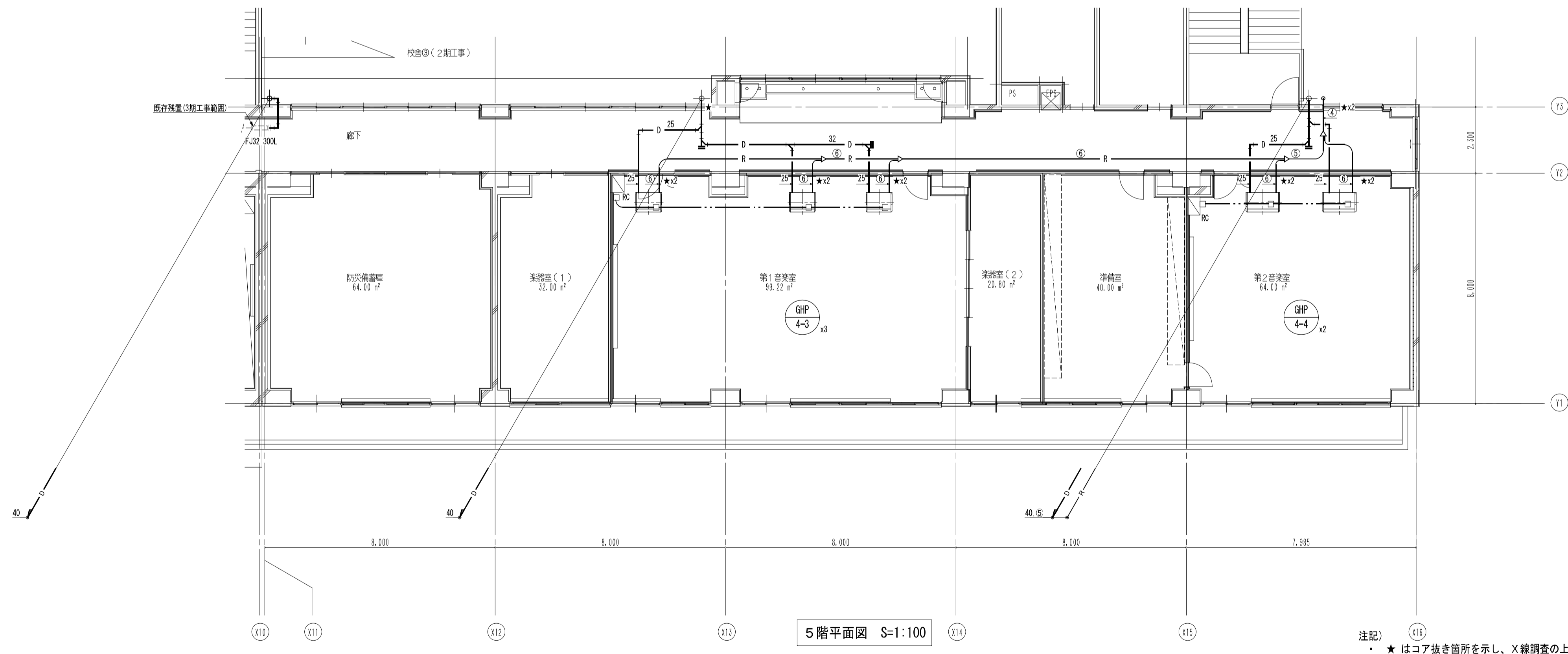
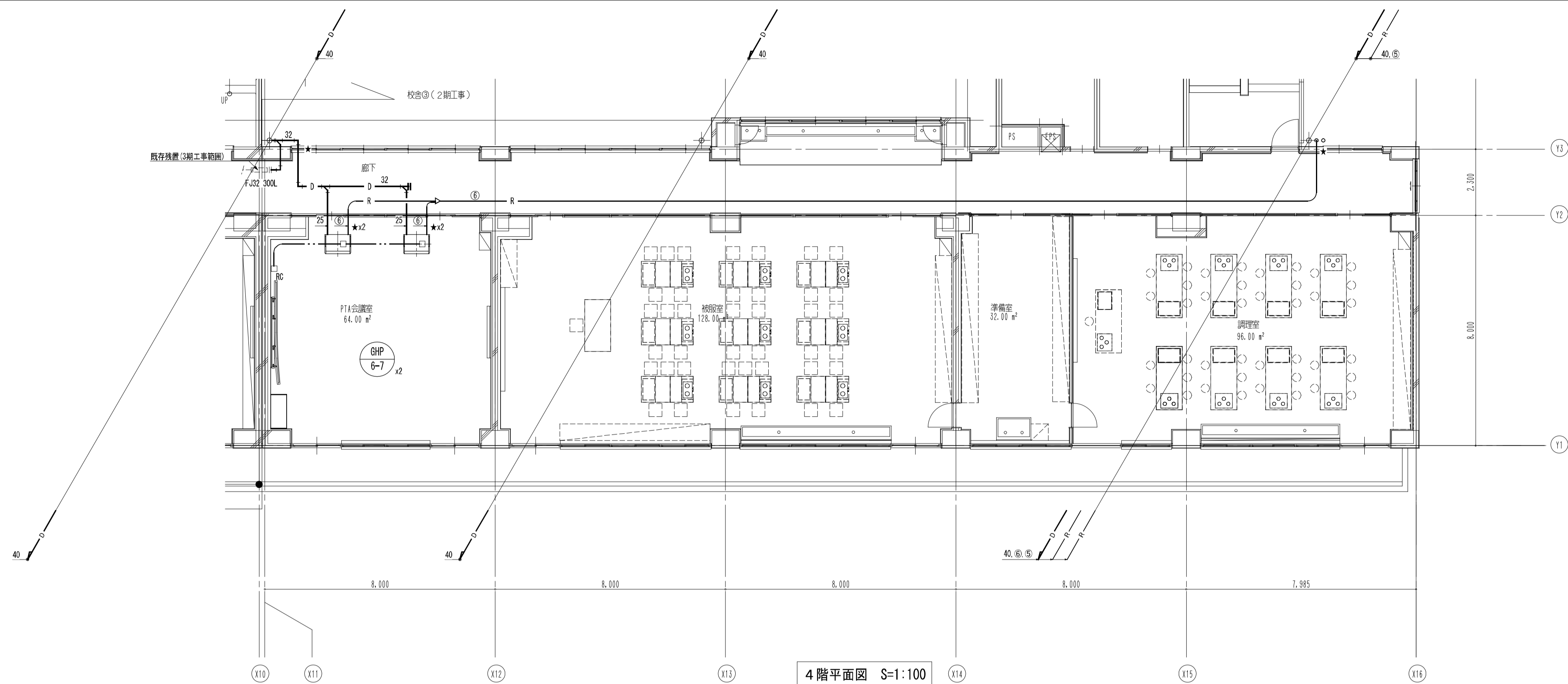
■ 凡例

	は型はつり種格を示す。
AP	はアルミパネルを示す。(建築工事)
	CEESI.25-2C 30V
	CEESI.25-2C (1種金属線及びU型)
RC	リモコンスイッチ (1種金属線及びA型2用BOX)
DRC	集中コントローラー (1種金属線及びB型2用BOX)

■ 冷暖用保温付配管

液	ガス	信号線・電源線
① 15.88 φ	31.80 φ	EM-CEESI.25-2C
② 15.68 φ	28.58 φ	
③ 12.70 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	25.40 φ	
⑤ 9.52 φ	22.20 φ	
⑥ 9.52 φ	15.88 φ	
⑦ 6.35 φ	12.70 φ	
⑧ 9.52 φ	25.40 φ	

注記) ★はコア抜き箇所を示し、×線調査の上施工する事。



■ 凡例

⊗	は壁はつり天井を示す。
AP	はアルミパネルを示す。(建築工事)
—	CEESI.25-2C 30V
—	CEESI.25-2C (1種金属線及びU型)
□ RC	リモコンスイッチ (1種金属線及びA型2用BOX)
□ ORC	集中コントローラー (1種金属線及びB型2用BOX)

■ 冷暖用保温付配管

液	ガス	信号線・電源線
① 15.88 φ	31.80 φ	EM-CEESI.25-2C
② 15.88 φ	28.58 φ	
③ 12.70 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	25.40 φ	
⑤ 9.52 φ	22.20 φ	
⑥ 9.52 φ	15.88 φ	
⑦ 6.35 φ	12.70 φ	
⑧ 9.52 φ	25.40 φ	

注記) ★はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。


換気設備（改修）機器表

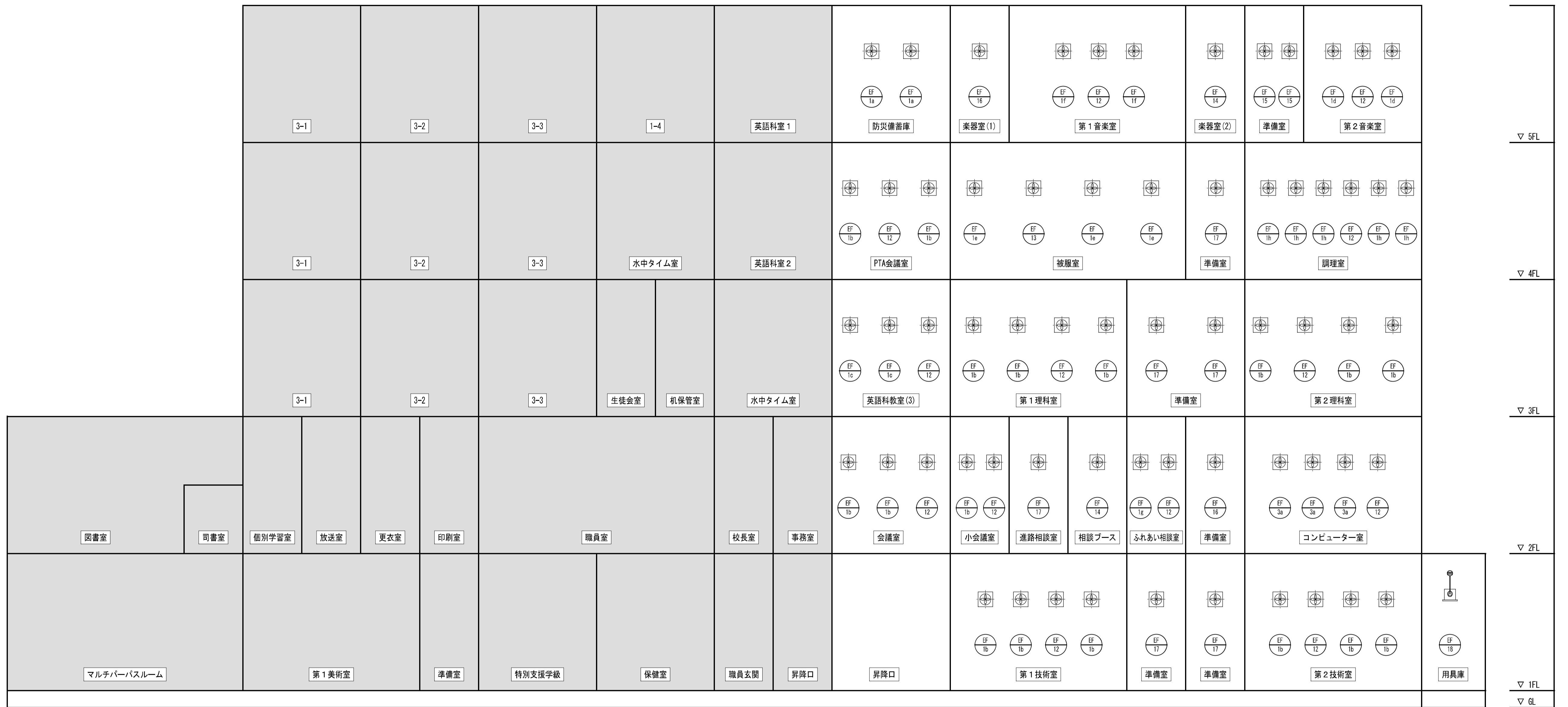
記号	名称	仕様	電力			数量	設置場所		備考 (参考)
			φ	V	KW		階	室名	
EF-1a	有圧扇 (新設)	型式 業務用有圧扇	1	100	0.035	2台	5階	防災備蓄倉庫	三菱電機: EWF-25ASA2
		仕様 250φ x 300 m3/h x 30 Pa							
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
EF-1b	有圧扇 (新設)	型式 業務用有圧扇	1	100	0.035	17台			三菱電機: EWF-25ASA2
		仕様 250φ x 350 m3/h x 30 Pa							
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
		(3台) 1階 第1技術室							
		(3台) 1階 第2技術室							
		(2台) 2階 会議室							
		(1台) 2階 小会議室							
		(3台) 3階 第1理科室							
		(3台) 3階 第2理科室							
		(2台) 4階 PTA会議室							
EF-1c	有圧扇 (新設)	型式 業務用有圧扇	1	100	0.035	2台	3階	英語教室(3)	三菱電機: EWF-25ASA2
		仕様 250φ x 400 m3/h x 30 Pa							
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
EF-1d	有圧扇 (新設)	型式 業務用有圧扇	1	100	0.035	2台	4階	第2音楽室	三菱電機: EWF-25ASA2
		仕様 250φ x 400 m3/h x 30 Pa							
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
EF-1e	有圧扇 (新設)	型式 業務用有圧扇	1	100	0.035	3台	4階	被服室	三菱電機: EWF-25ASA2
		仕様 250φ x 470 m3/h x 30 Pa							
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
EF-1f	有圧扇 (新設)	型式 業務用有圧扇	1	100	0.035	2台	5階	第1音楽室	三菱電機: EWF-25ASA2
		仕様 250φ x 525 m3/h x 30 Pa							
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
EF-1g	有圧扇 (新設)	型式 業務用有圧扇	1	100	0.035	1台	2階	ふれあい相談室	三菱電機: EWF-25ASA2
		仕様 250φ x 550 m3/h x 30 Pa							
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
EF-1h	有圧扇 (新設)	型式 厨房用有圧扇	1	100	0.042	5台	4階	調理室	三菱電機: EWF-25ASA2
		仕様 250φ x 480 m3/h x 30 Pa							
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
EF-3a	有圧扇 (新設)	型式 業務用有圧扇	1	100	0.035	3台	2階	コンピューター室	三菱電機: EWF-25ASA2
		仕様 250φ x 350 m3/h x 30 Pa							
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							

※ 1. 電気容量は参考値とする。

記号	名称	仕様	電力			数量	設置場所		備考 (参考)									
			φ	V	KW		階	室名										
EF-12	排風機 (新設)	型式 学校用壁付換気扇	1	100	0.032	13台			三菱電機: EX-25SC4									
		仕様 250φ x 100 m3/h x 20 Pa																
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式																
EF-13	排風機 (新設)	型式 学校用壁付換気扇	1	100	0.032	1台	4階	被服室	三菱電機: EX-25SC4									
		仕様 250φ x 120 m3/h x 20 Pa																
		付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式																
		EF-14								排風機 (新設)	型式 学校用壁付換気扇	1	100	0.032	2台			三菱電機: EX-25SC4
											仕様 250φ x 200 m3/h x 20 Pa							
											付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
		EF-15								排風機 (新設)	型式 学校用壁付換気扇	1	100	0.032	2台	5階	準備室	三菱電機: EX-25SC4
											仕様 250φ x 230 m3/h x 20 Pa							
											付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
		EF-16								排風機 (新設)	型式 学校用壁付換気扇	1	100	0.032	2台			三菱電機: EX-25SC4
											仕様 250φ x 300 m3/h x 20 Pa							
											付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式							
		EF-17								排風機 (新設)	型式 学校用壁付換気扇	1	100	0.032	6台			三菱電機: EX-25SC4
仕様 250φ x 350 m3/h x 20 Pa																		
付属品 コントロースイッチ、電気式シャッター、ウエザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網 その他付属品一式																		
(1台) 1階 準備室																		
(1台) 1階 準備室																		
(1台) 2階 進路相談室																		
(2台) 3階 準備室																		
(1台) 4階 家庭科準備室																		
EF-18	排風機 (新設)	型式 天井扇 (24時間換気機能付)	1	100	0.021	1台	1階	用具庫	三菱電機: VD-18ZLXP14-GS									
		仕様 150φ x 250 m3/h x 55 Pa																
		付属品 コントロールスイッチ、深型フード、天吊金具、その他付属品一式																

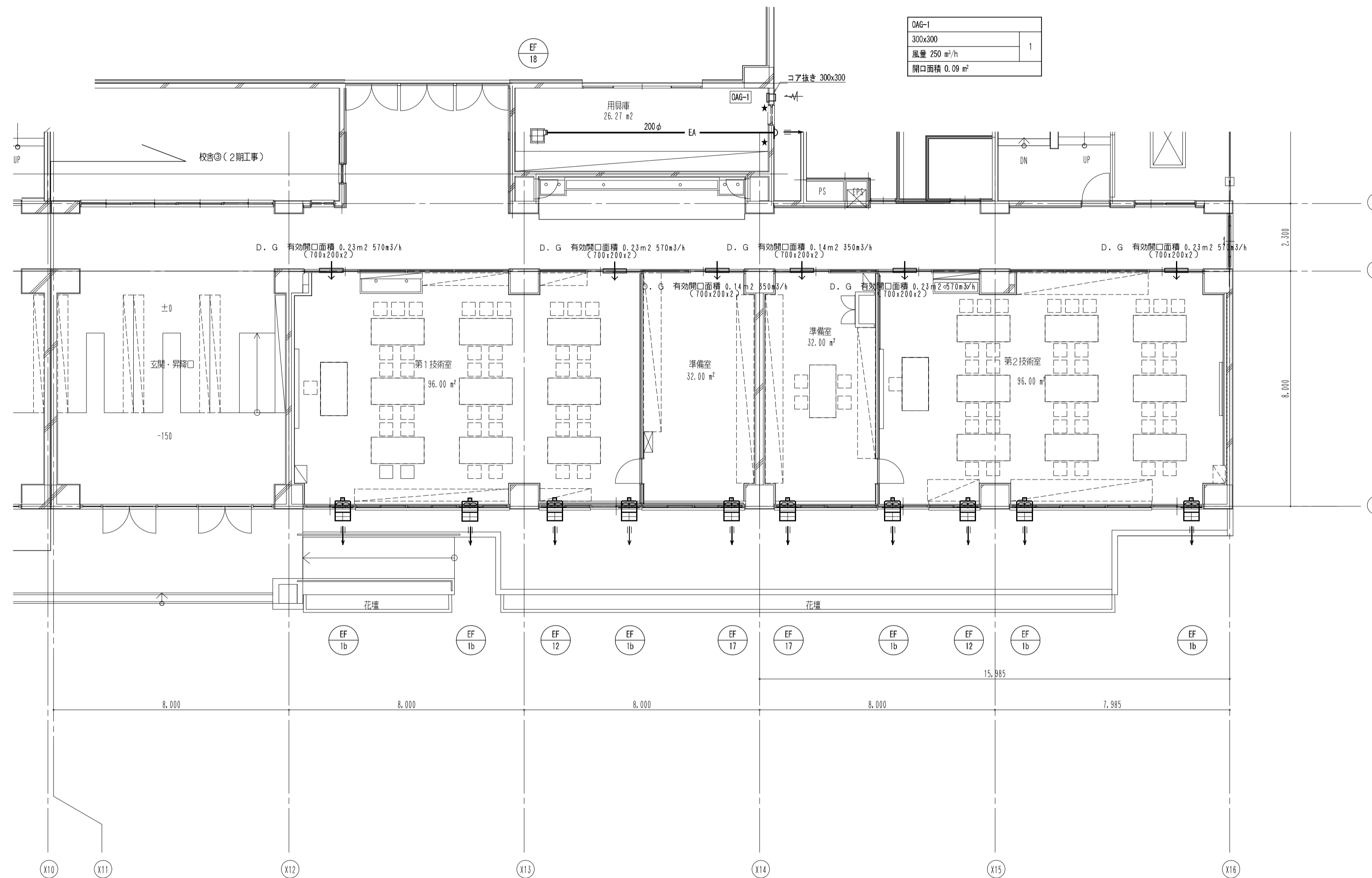
※ 1. 電気容量は参考値とする。

 <p>株式会社 久慈設計 埼玉事務所 埼玉県さいたま市桜区西堀6丁目20-27 TEL048-789-6033</p>	<p>一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号</p>	承認	審査	検印	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	工事名称	図面内容	縮尺	図面区分	機械設備
	<p>一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久</p>										22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)	【改修】換気設備 機器表	A1=N/S A3=N/S	図面 備考



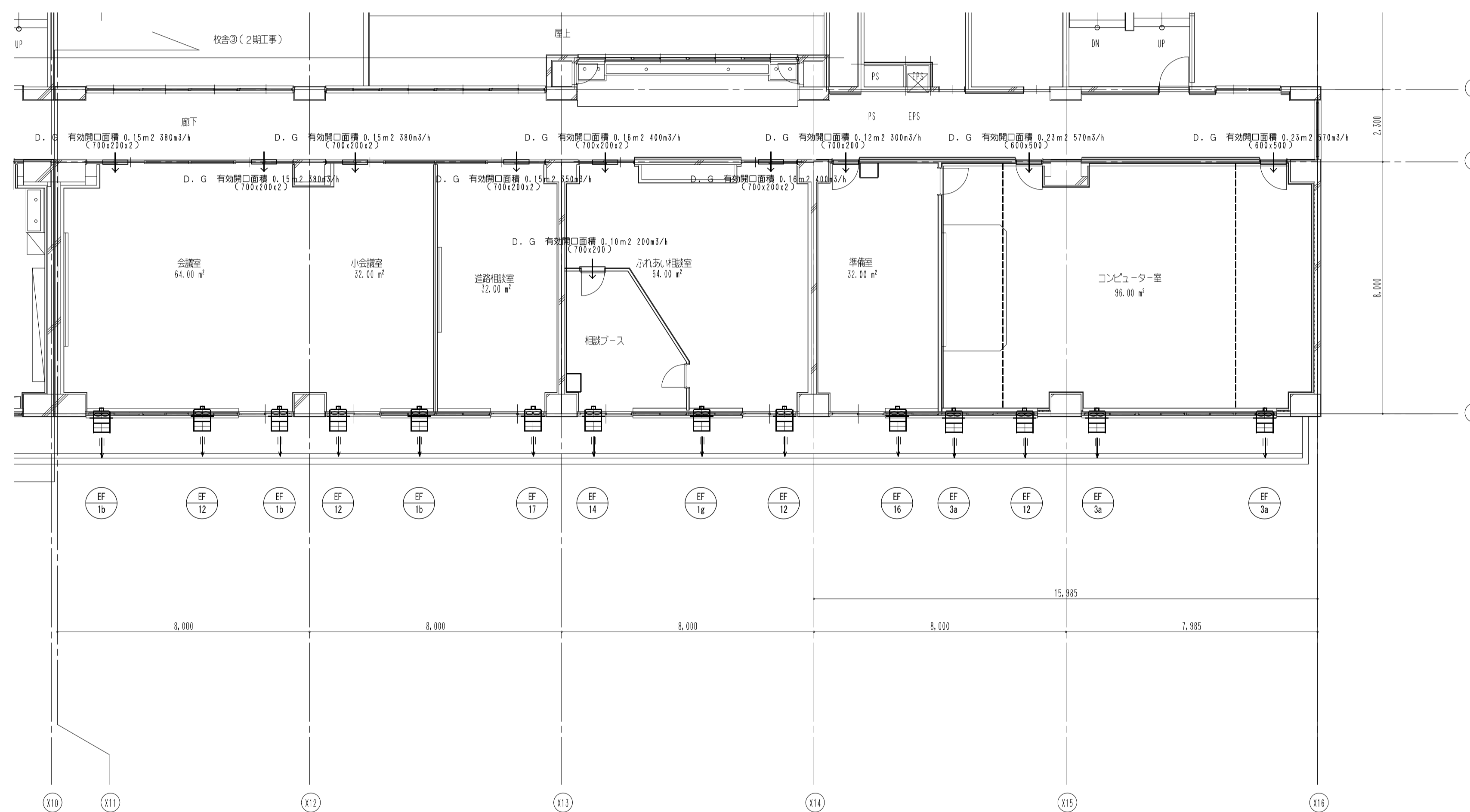
換気設備 系統図 N/S

■ 注記
 工事対象外



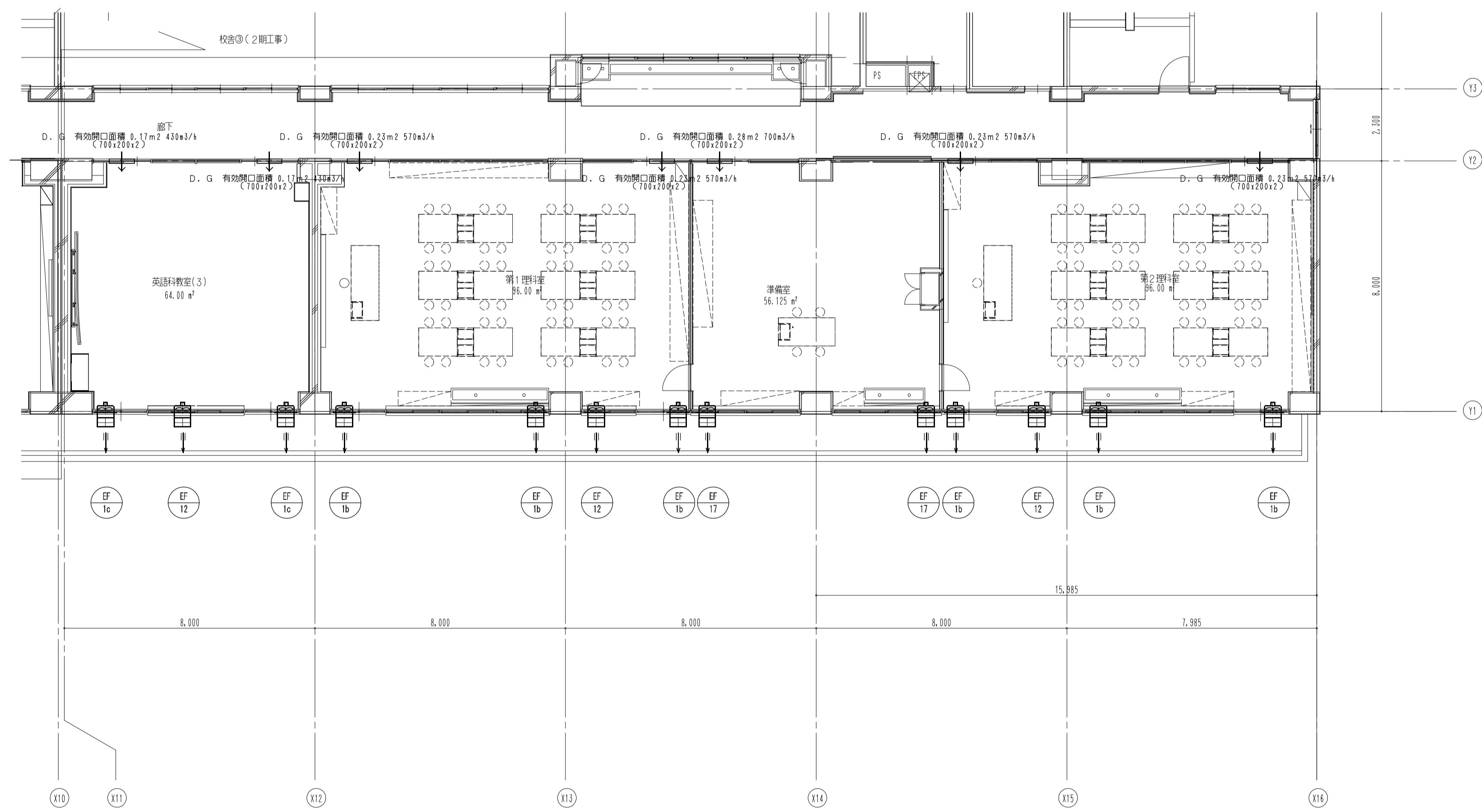
1階平面図 S=1:100

注記)
 ★ はコア抜き箇所を示し、×線調査の上施工する事。



2階平面図 S=1:100

注記)
 ★はコア抜き箇所を示し、×線調査の上施工する事。



3階平面図 S=1:100

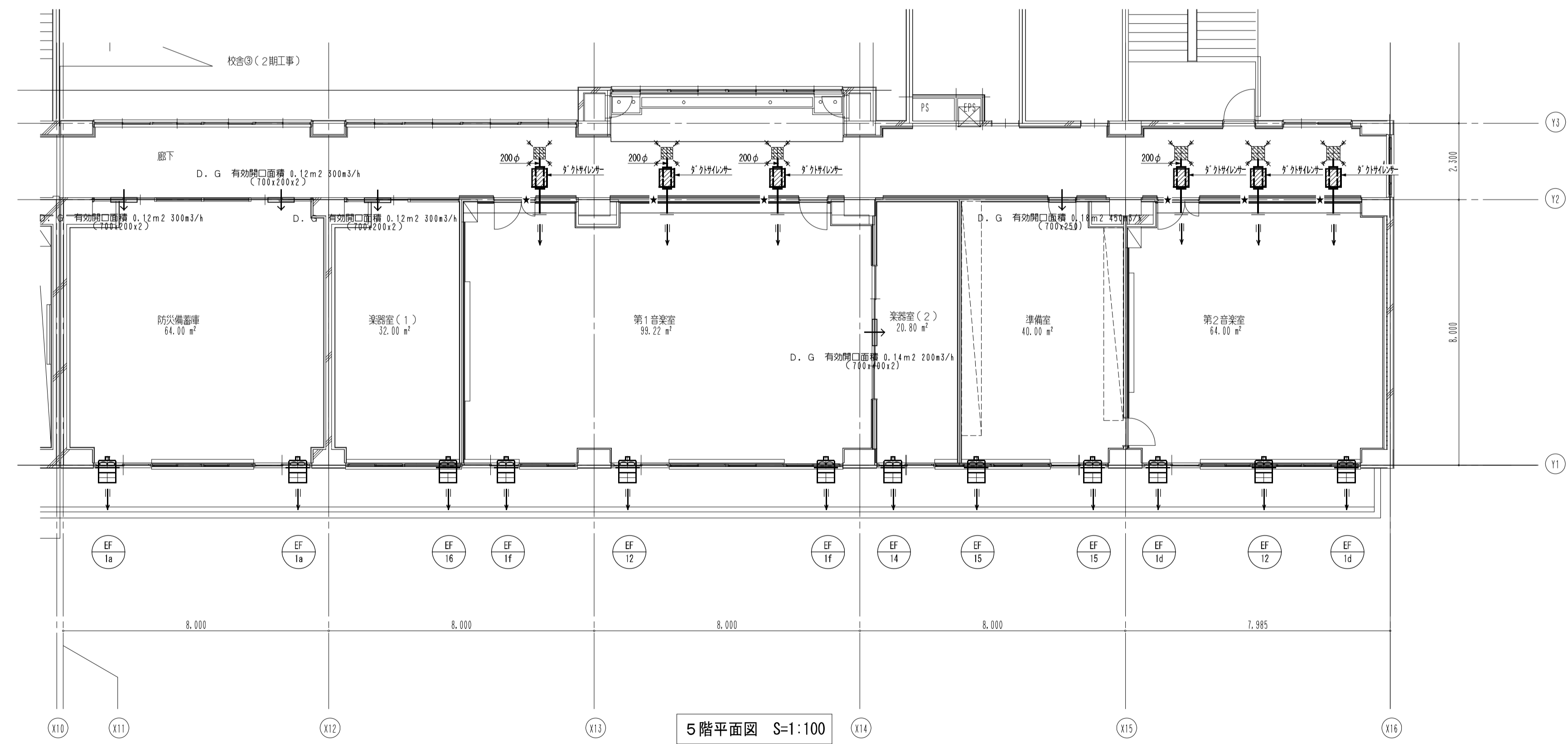
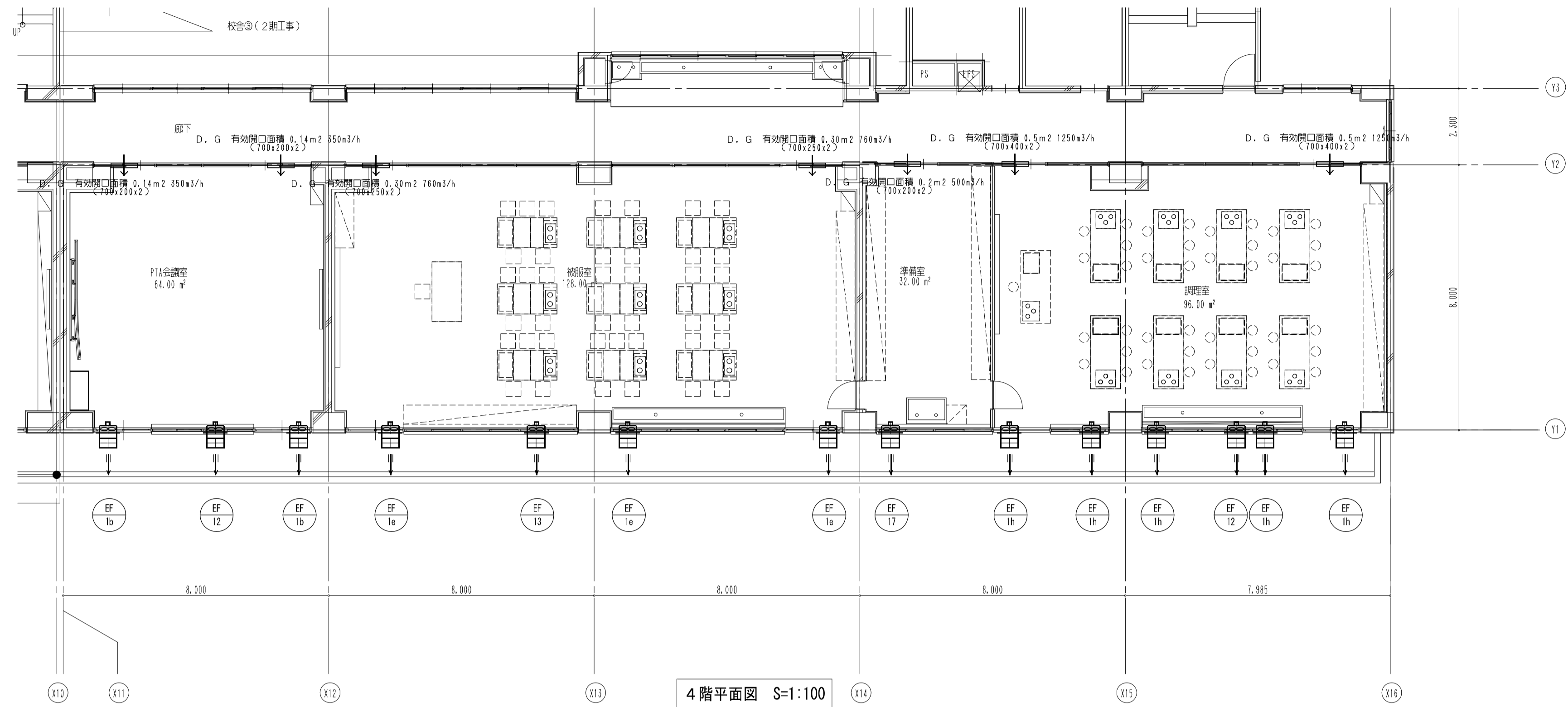
注記) ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号	承認	審査	検図	製図	特記
一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久					

改訂番号	改訂月日	改訂内容

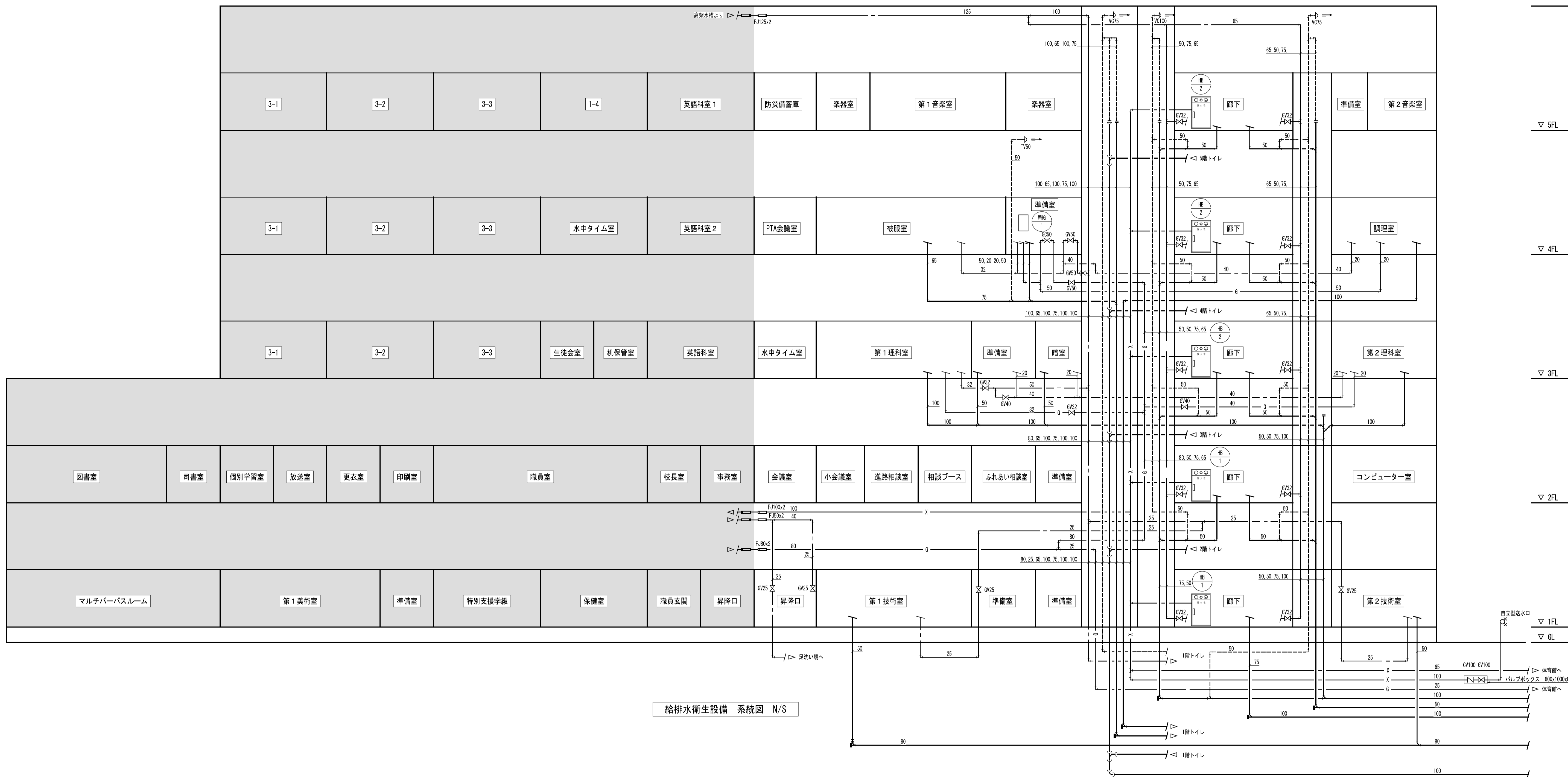
業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面内容	【改修】換気設備 3階平面図

縮尺	図面	機械設備
A1=1/100	図面	
A3=1/200	図面	M-25



第1音楽室		廊下	
吹出口	吸込口	吹出口	吸込口
WS 450×200	HS 300×300	WS 450×150	HS 250×250
Q=350 m³/h	Q=350 m³/h	Q=300 m³/h	Q=300 m³/h
消音BOX 550×300×250 (吸込口内貼)	消音BOX 400×400×250 (吸込口内貼)	消音BOX 550×250×250 (吸込口内貼)	消音BOX 350×350×250 (吸込口内貼)

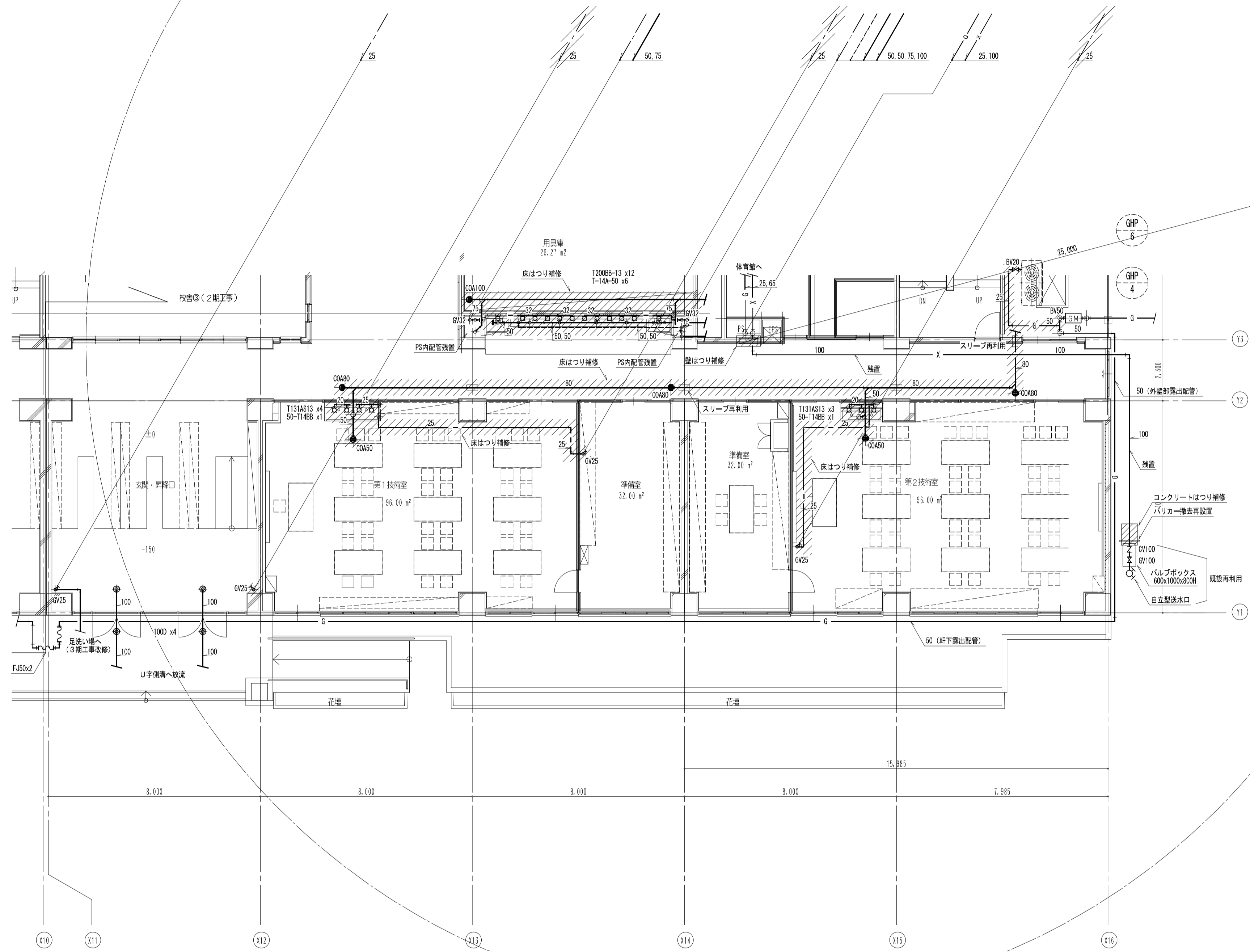
注記
 ・★はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工する事。



給排水衛生設備 系統図 N/S

■ 注記
 工事対象外

——	給水管
——	排水管
——	通気管
—G—	ガス管
—X—	屋内消火栓管



1階平面図 S=1:100

注記
 ・ は撤去範囲を示す。
 ・ は既設スリーブを示す。

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号	承認	審査	検図	製図	特記
一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久					

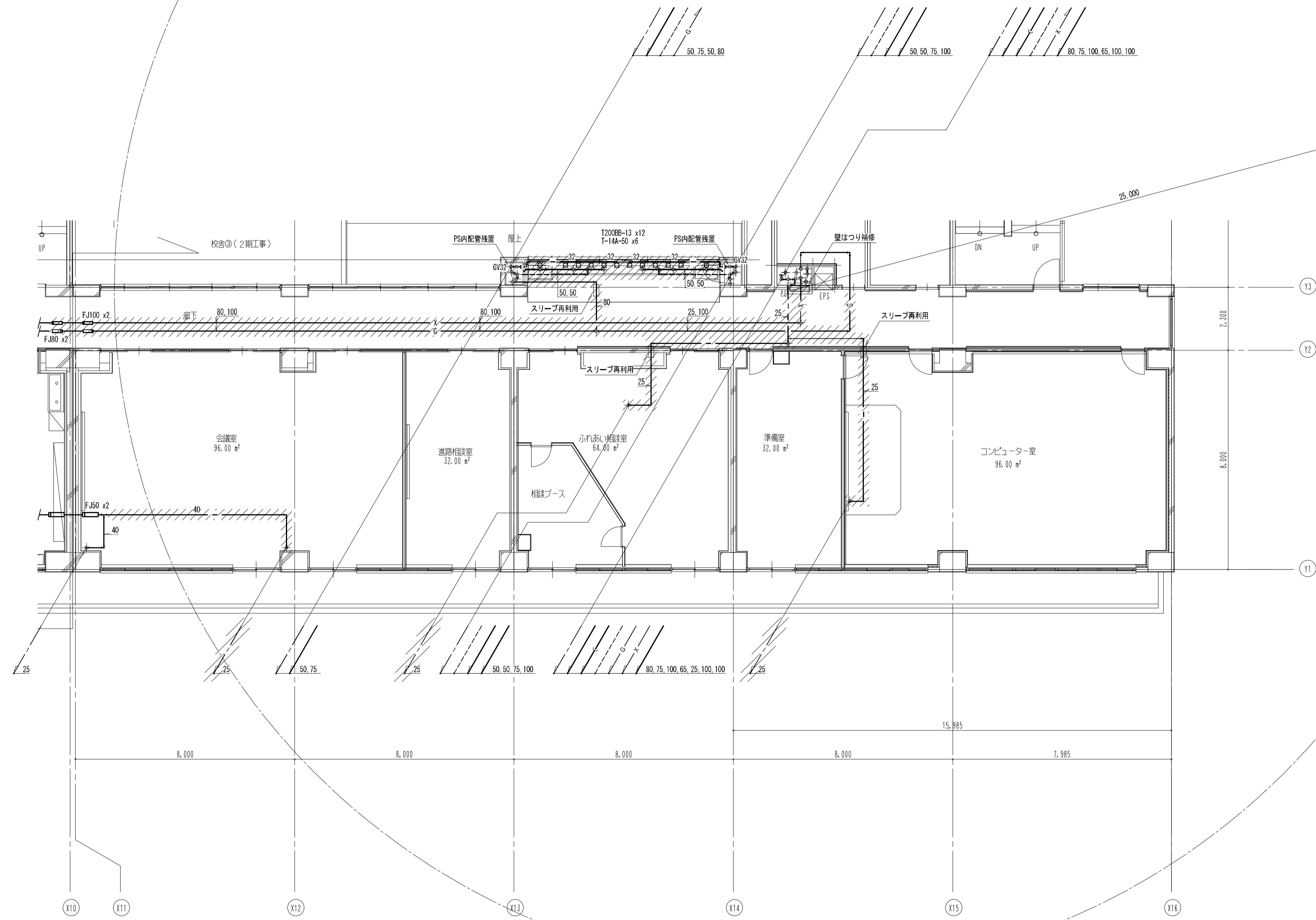
改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面内容	【撤去】給排水衛生設備 1階平面図

縮尺	図名	機械設備
A1=1/100 A3=1/200		M-29

凡例

——	給水管
——	排水管
——	通気管
G	ガス管
X	屋内消火栓管



2階平面図 S=1:100

注記
 ・ は撤去範囲を示す。
 ・ は既設スリーブを示す。

承認	審査	検図	製図	特記

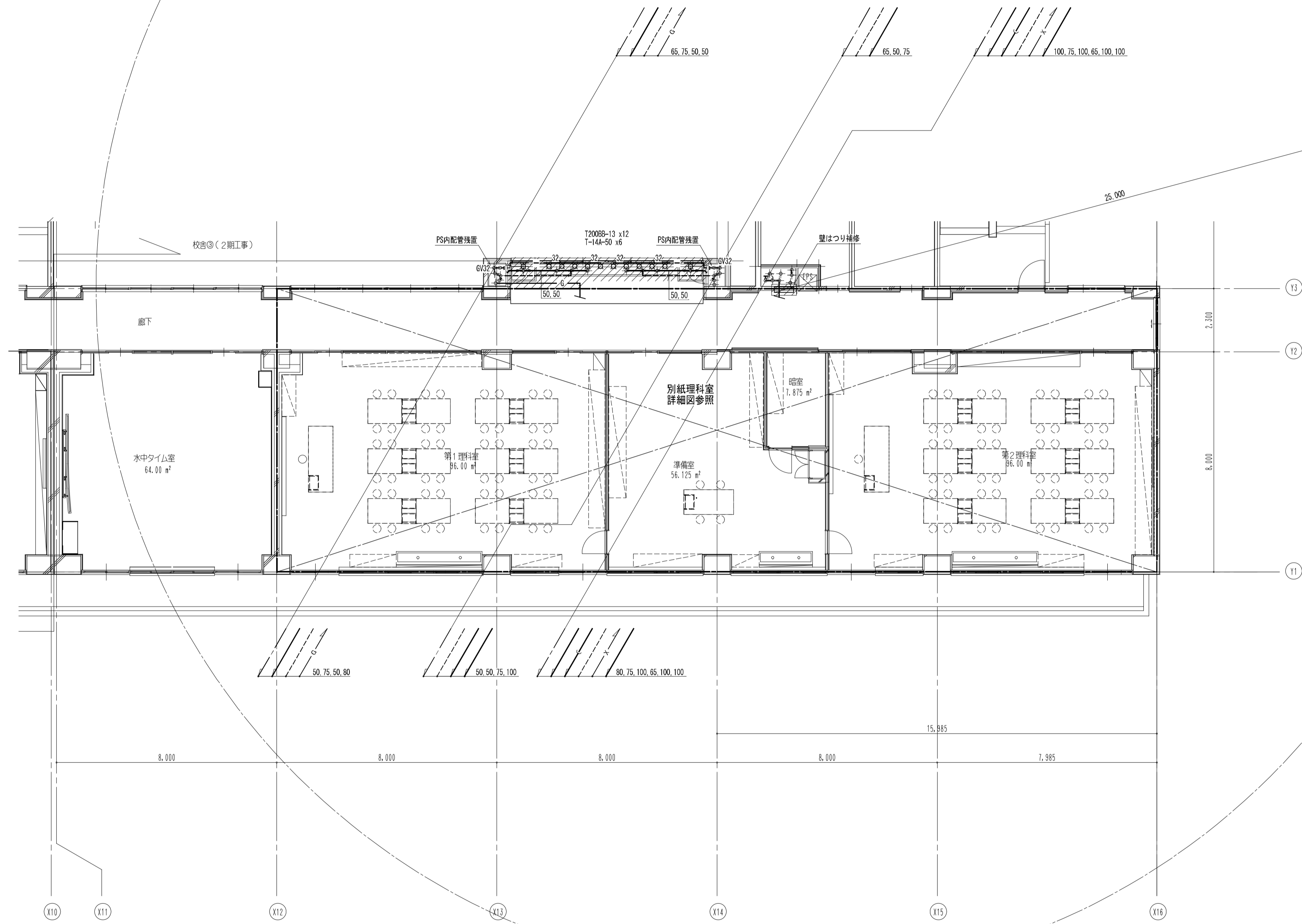
改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面内容	【撤去】給排水衛生設備 2階平面図

縮尺	図面	機械設備
A1=1/100	図面	
A3=1/200	図面	M-30

凡例

——	給水管
——	排水管
——	通気管
—G—	ガス管
—X—	屋内消火栓管



3階平面図 S=1:100

注記)
 ・ は撤去範囲を示す。
 ・ は既設スリーブを示す。

承認	審査	検図	製図	特記

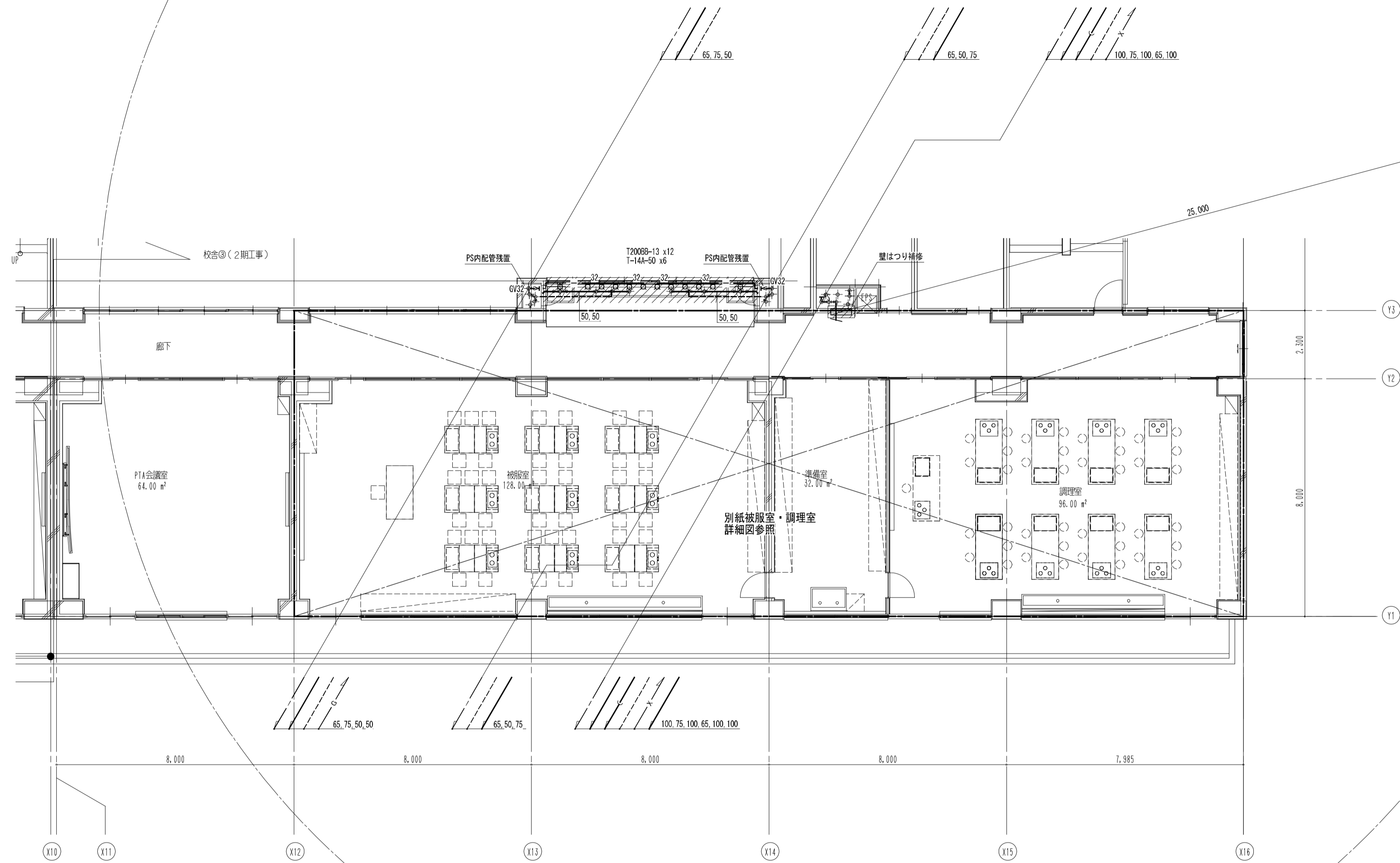
改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面内容	【撤去】給排水衛生設備 3階平面図

縮尺	図面	機械設備
A1=1/100	図面	
A3=1/200	図面	M-31

凡例

——	給水管
——	排水管
——	通気管
—G—	ガス管
—X—	屋内消火栓管

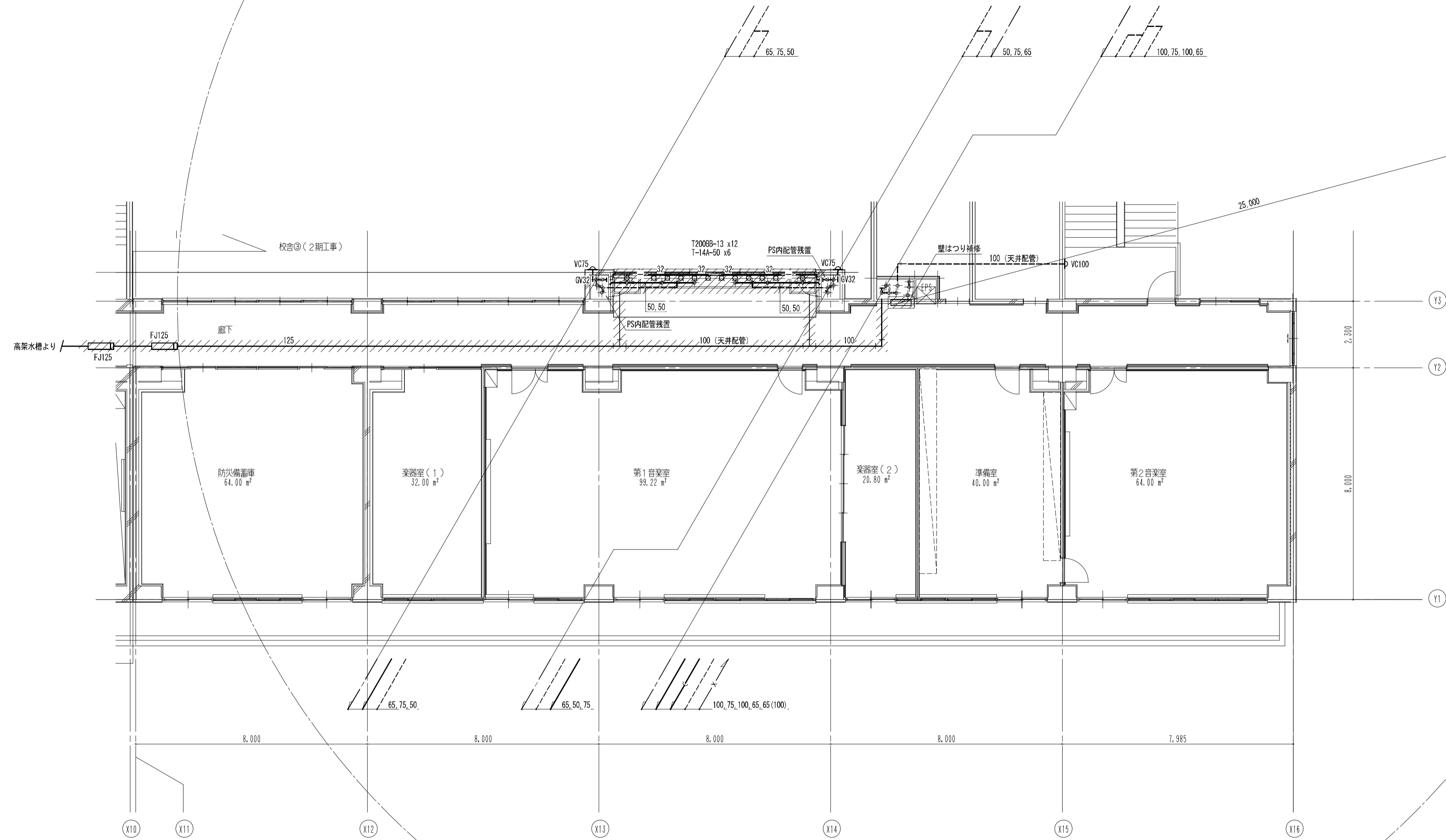


4階平面図 S=1:100

注記)
 ・ は撤去範囲を示す。
 ・ は既設スリーブを示す。

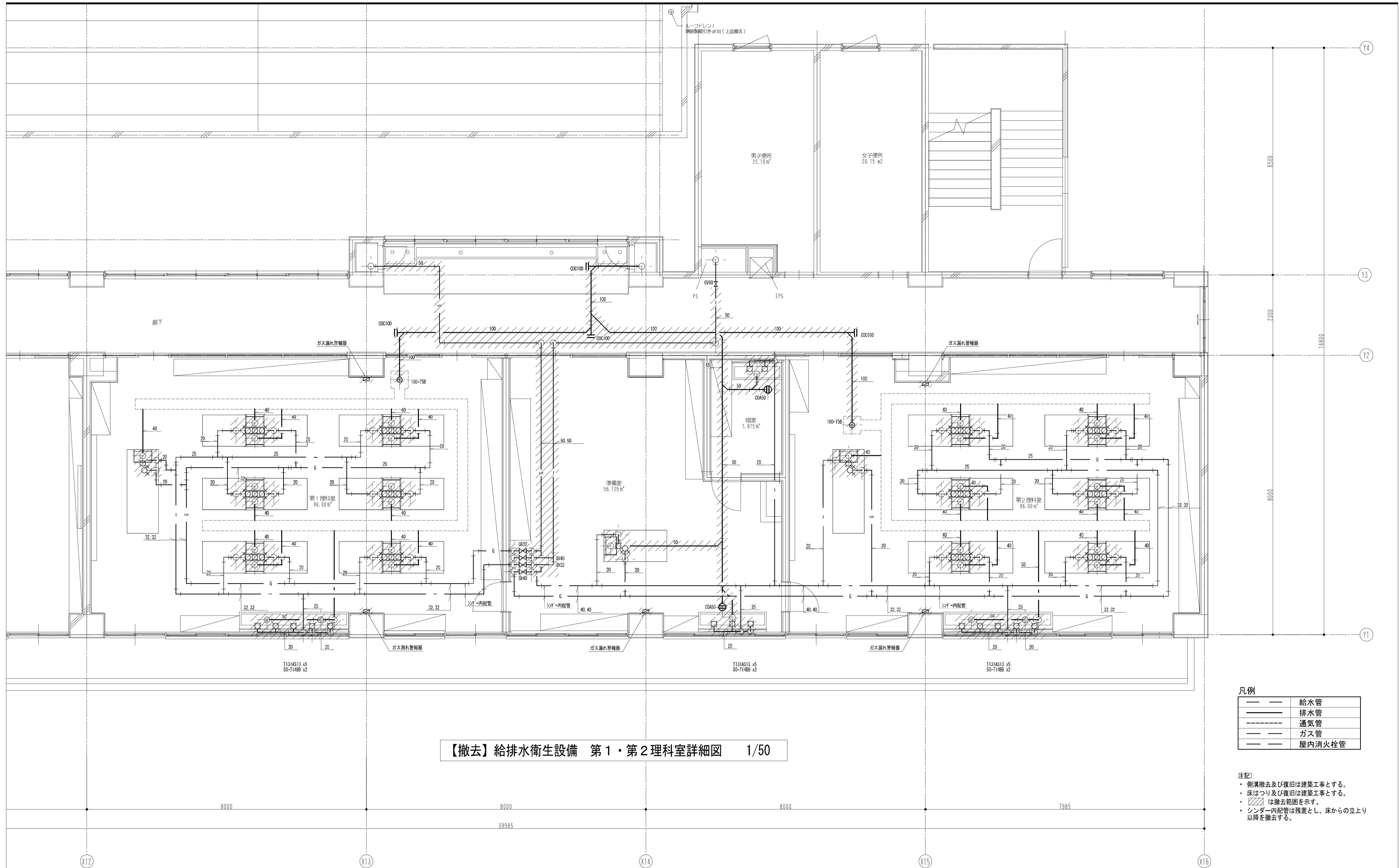
凡例

——	給水管
——	排水管
——	通気管
—G—	ガス管
—X—	屋内消火栓管



5階平面図 S=1:100

注記
 ・ は撤去範囲を示す。
 ・ は既設スリーブを示す。

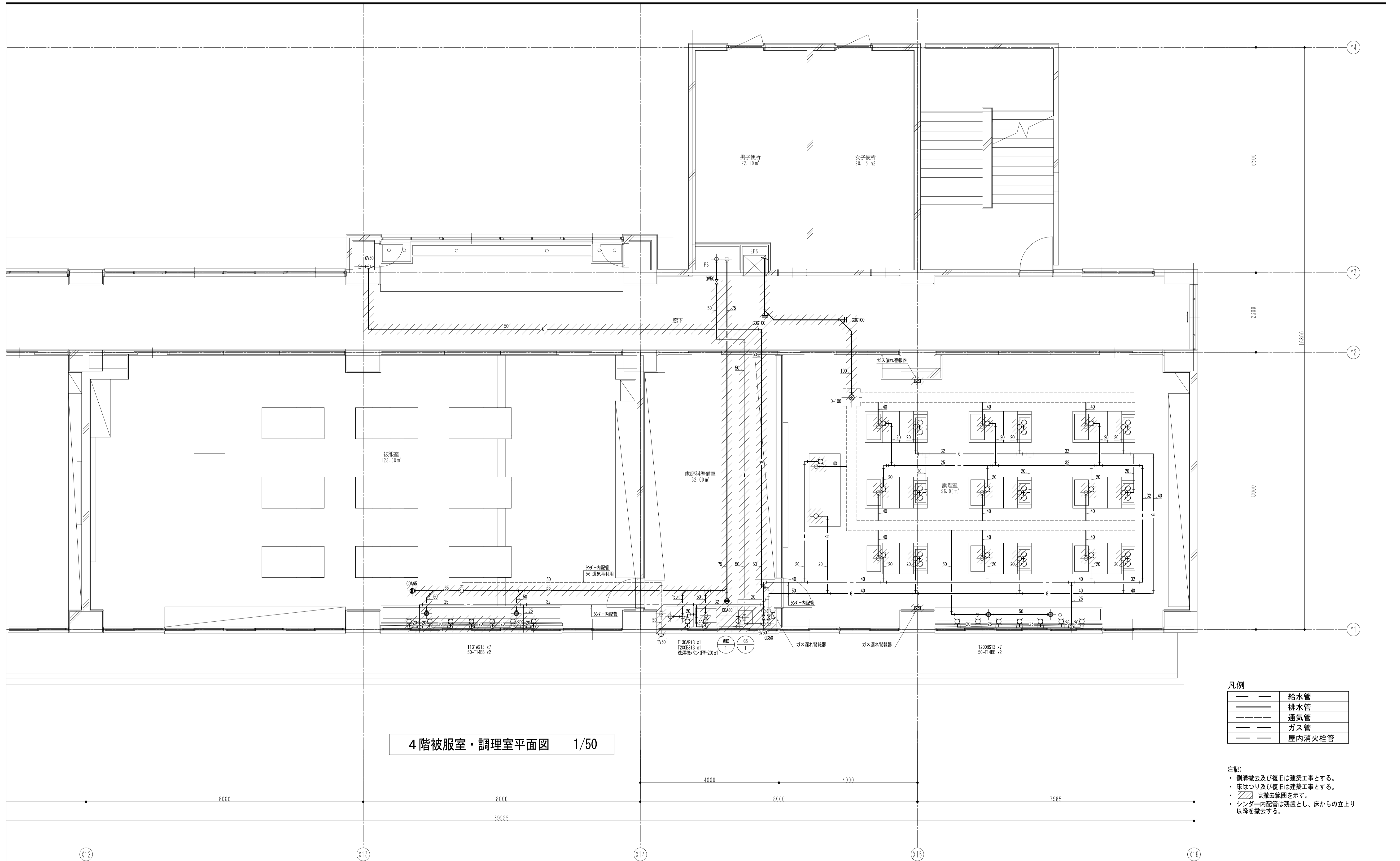


【撤去】給排水衛生設備 第1・第2理科室詳細図 1/50

凡例

—	給水管
—	排水管
---	通気管
—	ガス管
—	屋内消火栓管

注記
 ・ 側溝撤去及び復旧は建築工事とする。
 ・ 床はつり及び復旧は建築工事とする。
 ・ 〇は撤去範囲を示す。
 ・ シンダー内配管は残置とし、床からの立上り以降を撤去する。



4階被服室・調理室平面図 1/50

凡例

—	給水管
—	排水管
---	通気管
—	ガス管
—	屋内消火栓管

注記
 ・ 側溝撤去及び復旧は建築工事とする。
 ・ 床はつり及び復旧は建築工事とする。
 ・ は撤去範囲を示す。
 ・ シンダー内配管は残置とし、床からの立上り以降を撤去する。

空調設備（既存）機器表（1）

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考			
				相電圧消費電力(φ)(V)(kw)	階	室名						
GHP-1	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）(95HP)	1台	3	200	-	地上	2013(H25)改修 YNZP710J-NB (ヤマ)			
		冷房能力	71.0 kW x 1台 (室外機)							(1.16)		
		暖房能力	80.0 kW x 1台 (室外機)								(1.13)	
		ガス種	13A									
		冷房ガス消費量	51.2 kW									
		暖房ガス消費量	48.2 kW									
外形寸法	2100 (W) x 800 (D) x 2170 (H)											
		重量	1050 kg									
GHP-1-1	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	3台	1	200	0.086	1F	第1美術室	2013(H25)改修 YZHP36M (ヤマ)		
		冷房能力	3.6 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	4.0 kW x 1台 (室内機)									
付属品	一式共											
GHP-1-2	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	4台	1	200	0.086	2F	図書室	2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
付属品	一式共											
GHP-1-3	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.087	3F	普通教室 (3-1)	2013(H25)改修 YZHP56M (ヤマ)		
		冷房能力	5.6 kW x 1台 (室内機)								(0.087)	
		暖房能力	6.3 kW x 1台 (室内機)									
付属品	一式共											
GHP-1-4	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.086	3F	普通教室 (11&-L)	2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
付属品	一式共											
GHP-1-5	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.086	3F	進路資料室	2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
付属品	一式共											
GHP-1-6	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.086	3F	普通教室 (3-2)	2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
付属品	一式共											
GHP-1-7	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.086	3F	第2美術室	2018(H30)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
付属品	一式共											
GHP-2	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）(60HP)	1台	3	200	0.86	-	地上	2013(H25)改修 YNZP450J-NB (ヤマ)		
		冷房能力	45.0 kW x 1台 (室外機)								(0.86)	
		暖房能力	50.0 kW x 1台 (室外機)									(0.78)
		ガス種	13A									
		冷房ガス消費量	33.6 kW									
		暖房ガス消費量	31.8 kW									
外形寸法	1690 (W) x 800 (D) x 2170 (H)											
		重量	1050 kg									
GHP-2-1	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.086	4F	普通教室 (2-1)	2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
付属品	一式共											

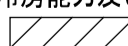
機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考			
				相電圧消費電力(φ)(V)(kw)	階	室名						
GHP-2-2	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	4台	1	200	0.086	4F	第2英語教室	2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
		付属品	一式共									
GHP-2-2	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	4台	1	200	0.086	4F	普通教室 (2-2)	2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
		付属品	一式共									
GHP-2-2	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	4台	1	200	0.086	4F	水中タイム室	2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
		付属品	一式共									
GHP-2-2	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	4台	1	200	0.086	4F	普通教室 (2-2)	2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)		
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)								(0.086)	
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)									
		付属品	一式共									
GHP-3	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）(75HP)	1台	3	200	0.99	-	地上	2013(H25)改修 YNZP560J-NB (ヤマ)		
		冷房能力	56.0 kW x 1台 (室外機)								(0.99)	
		暖房能力	63.0 kW x 1台 (室外機)									(0.92)
		ガス種	13A									
		冷房ガス消費量	43.3 kW									
		暖房ガス消費量	41.0 kW									
外形寸法	1690 (W) x 800 (D) x 2170 (H)											
		重量	880 kg									
GHP-3-1	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.087	5F	普通教室 (1-1)	2013(H25)改修 YZHP56M (ヤマ)		
		冷房能力	5.6 kW x 1台 (室内機)								(0.087)	
		暖房能力	6.3 kW x 1台 (室内機)									
		付属品	一式共									
GHP-3-2	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.087	5F	第1英語教室	2013(H25)改修 YZHP56M (ヤマ)		
		冷房能力	5.6 kW x 1台 (室内機)								(0.087)	
		暖房能力	6.3 kW x 1台 (室内機)									
		付属品	一式共									
GHP-3-3	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.087	5F	普通教室 (1-2)	2013(H25)改修 YZHP56M (ヤマ)		
		冷房能力	5.6 kW x 1台 (室内機)								(0.087)	
		暖房能力	6.3 kW x 1台 (室内機)									
		付属品	一式共									
GHP-3-4	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.087	5F	水中タイム室	2013(H25)改修 YZHP56M (ヤマ)		
		冷房能力	5.6 kW x 1台 (室内機)								(0.087)	
		暖房能力	6.3 kW x 1台 (室内機)									
		付属品	一式共									
GHP-3-5	ガスヒートポンプマルチ (残置)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.087	5F	普通教室 (1-3)	2013(H25)改修 YZHP56M (ヤマ)		
		冷房能力	5.6 kW x 1台 (室内機)								(0.087)	
		暖房能力	6.3 kW x 1台 (室内機)									
		付属品	一式共									

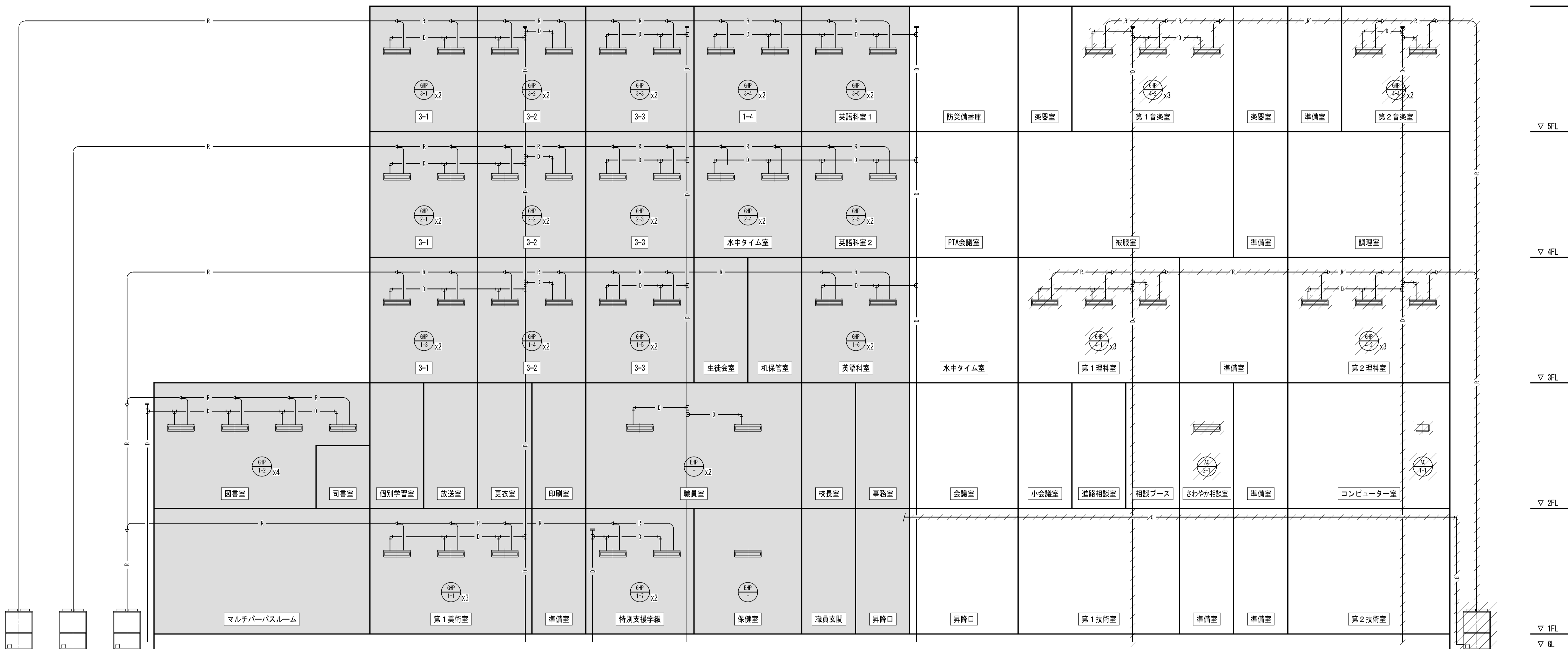
※ 1. 電気容量は参考値とする。
2. 冷房能力及び暖房能力は、標準条件時 (JIS B 8616) の能力を示す。

空調換気設備（既存）機器表（2）

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考
				相電圧 (φ) (V)	消費電力 (kw)	階	室名		
GHP-4 (撤去)	ガスヒートポンプマルチ	型式	ガスヒートポンプマルチエアコン (屋外機) (75HP)	1台	3	200	-	地上	2013(H25)改修 YNZP560J-NB (ヤマ)
		冷房能力	56.0 kW x 1台 (室外機)						
		暖房能力	63.0 kW x 1台 (室外機)						
		ガス種	13A						
		冷房ガス消費量	43.3 kW						
		暖房ガス消費量	41.0 kW						
		外形寸法	1690 (W) x 800 (D) x 2170 (H)						
重量	880 kg								
GHP-4-1 (撤去)	ガスヒートポンプマルチ	型式	天吊形 (室内機)	3台	1	200	0.086 (0.086)	3F	第1理科室 2013(H25)改修 YZHP36M (ヤマ)
		冷房能力	3.6 kW x 1台 (室内機)						
		暖房能力	4.8 kW x 1台 (室内機)						
		付属品	一式共						
GHP-4-2 (撤去)	ガスヒートポンプマルチ	型式	天吊形 (室内機)	3台	1	200	0.086 (0.086)	5F	第2理科室 2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)						
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)						
		付属品	一式共						
GHP-4-3 (撤去)	ガスヒートポンプマルチ	型式	天吊形 (室内機)	3台	1	200	0.086 (0.086)	5F	第1音楽室 2013(H25)改修 YZHP45M (ヤマ)
		冷房能力	4.5 kW x 1台 (室内機)						
		暖房能力	5.0 kW x 1台 (室内機)						
		付属品	一式共						
GHP-4-4 (撤去)	ガスヒートポンプマルチ	型式	天吊形 (室内機)	2台	1	200	0.103 (0.103)	5F	第2音楽室 2013(H25)改修 YZHP71M (ヤマ)
		冷房能力	7.1 kW x 1台 (室内機)						
		暖房能力	8.0 kW x 1台 (室内機)						
		付属品	一式共						
GHP-5 (電源自立型) (残置)	ガスヒートポンプマルチ	型式	ガスヒートポンプマルチエアコン (屋外機) (75HP)	3台	3	200	1.33 (1.33)	-	地上
		冷房能力	56.0 kW x 1台 (室外機)						
		暖房能力	63.0 kW x 1台 (室外機)						
		ガス種	13A						
		冷房ガス消費量	46.1 kW						
		暖房ガス消費量	42.7 kW						
		付属品	電源切替盤, 自立運転スイッチ盤, 遠隔監視アダプター, 他一式共						
GHP-5-1 (残置)	ガスヒートポンプマルチ	型式	天吊形 (室内機)	8台	1	200	0.100 (0.100)	1F	体育館
		冷房能力	14.0 kW x 1台 (室内機)						
		暖房能力	16.0 kW x 1台 (室内機)						
		付属品	一式共						
GHP-5-2 (残置)	ガスヒートポンプマルチ	型式	天吊形 (室内機)	4台	1	200	0.100 (0.100)	1F	体育館
		冷房能力	14.0 kW x 1台 (室内機)						
		暖房能力	16.0 kW x 1台 (室内機)						
		付属品	一式共						

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考
				相電圧 (φ) (V)	消費電力 (kw)	階	室名		
AC-1 (ペアタイプ) (撤去)	空冷ヒートポンプパッケージ	型式	天吊埋込カセット形 (ビルトイン)	2台	3	200	2F	コンピュータ室	1992(H04)改修 SHYBL100DA RYL100B
		冷房能力	9,000 kcal/h x 1台 (室外機)						
		暖房能力	9,600 kcal/h x 1台 (室外機)						
		圧縮機	(3.0)						
		送風機	(0.24 x 2)						
		(室内機)	(0.17 x 2)						
		付属品	一式共						
AC-2 (撤去)	パッケージエアコン	(室外機)		1組	3	200	2F	ふれあい相談室	
		型式	床置形 (架台吊)						
		COMP							
		FAN							
		冷房能力	3.6 kW x 1台						
		暖房能力	4.0 kW x 1台						
		(室内機)							
FAN									
型式	壁掛形								
冷房能力	3.6 kW x 1台								
暖房能力	4.0 kW x 1台								
付属品	一式共								
FF-1 (撤去)	FF式暖房機	型式	密閉式	1台	1	100	0.104	2F	ふれあい相談室
		暖房出力	8550 kcal/h						
		使用燃料	灯油						
		最大燃料消費量	1.11 L/h						
付属品	給排気筒付								

※ 1. 電気容量は参考値とする。
2. 冷房能力及び暖房能力は、標準条件時 (JIS B 8616) の能力を示す。
3.  は撤去機器を示す。



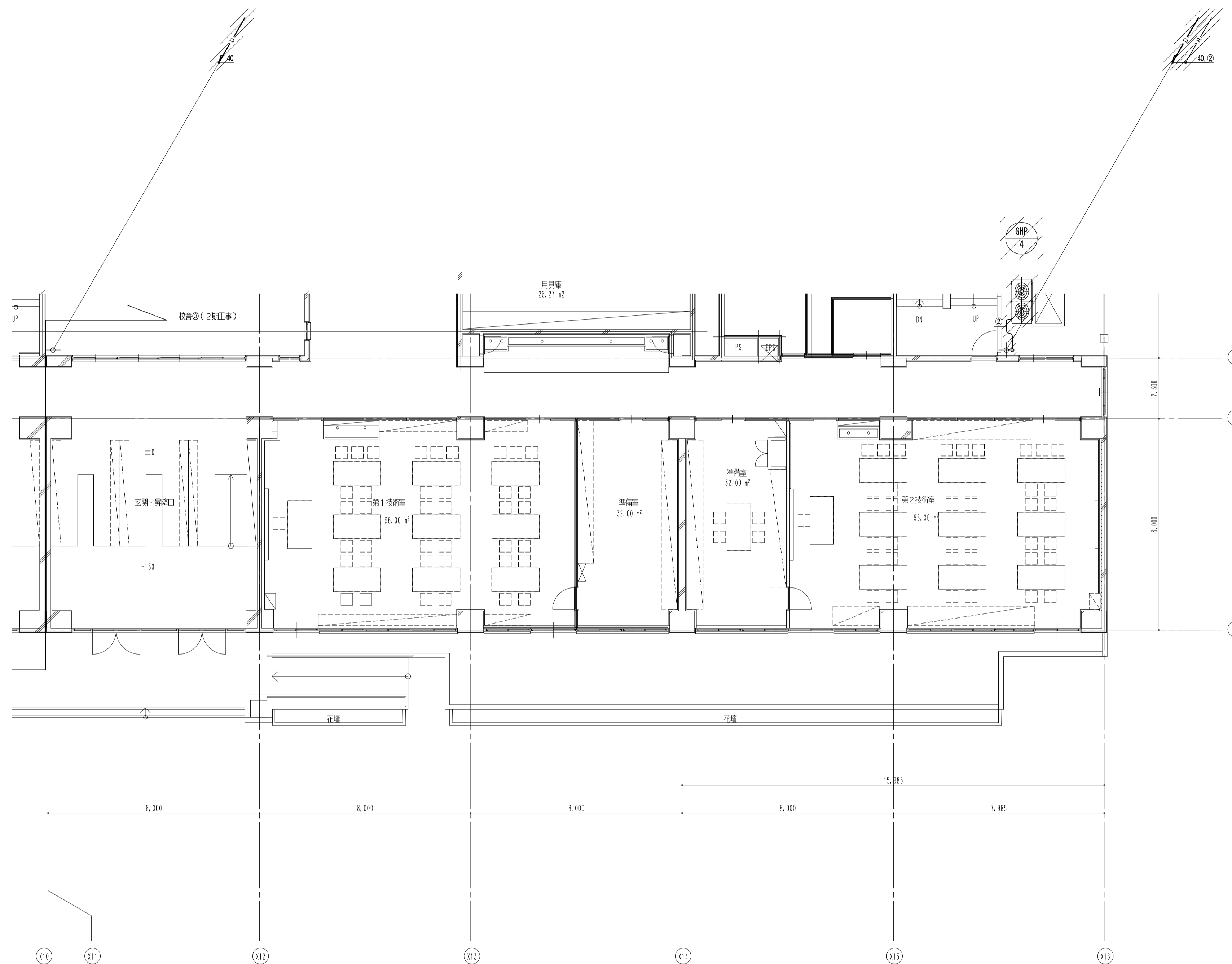
空調設備 系統図 N/S



■ 冷暖用保温付銅配管

液	ガス	番号線・電源線
① 15.88 φ	31.80 φ	EM-GESI.25-2C
② 15.88 φ	28.58 φ	
③ 12.70 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	25.40 φ	
⑤ 9.52 φ	22.20 φ	
⑥ 9.52 φ	15.88 φ	
⑦ 6.35 φ	12.70 φ	
⑧ 9.52 φ	25.40 φ	

■ 注記
 工事対象外
 撤去



1階平面図 S=1:100

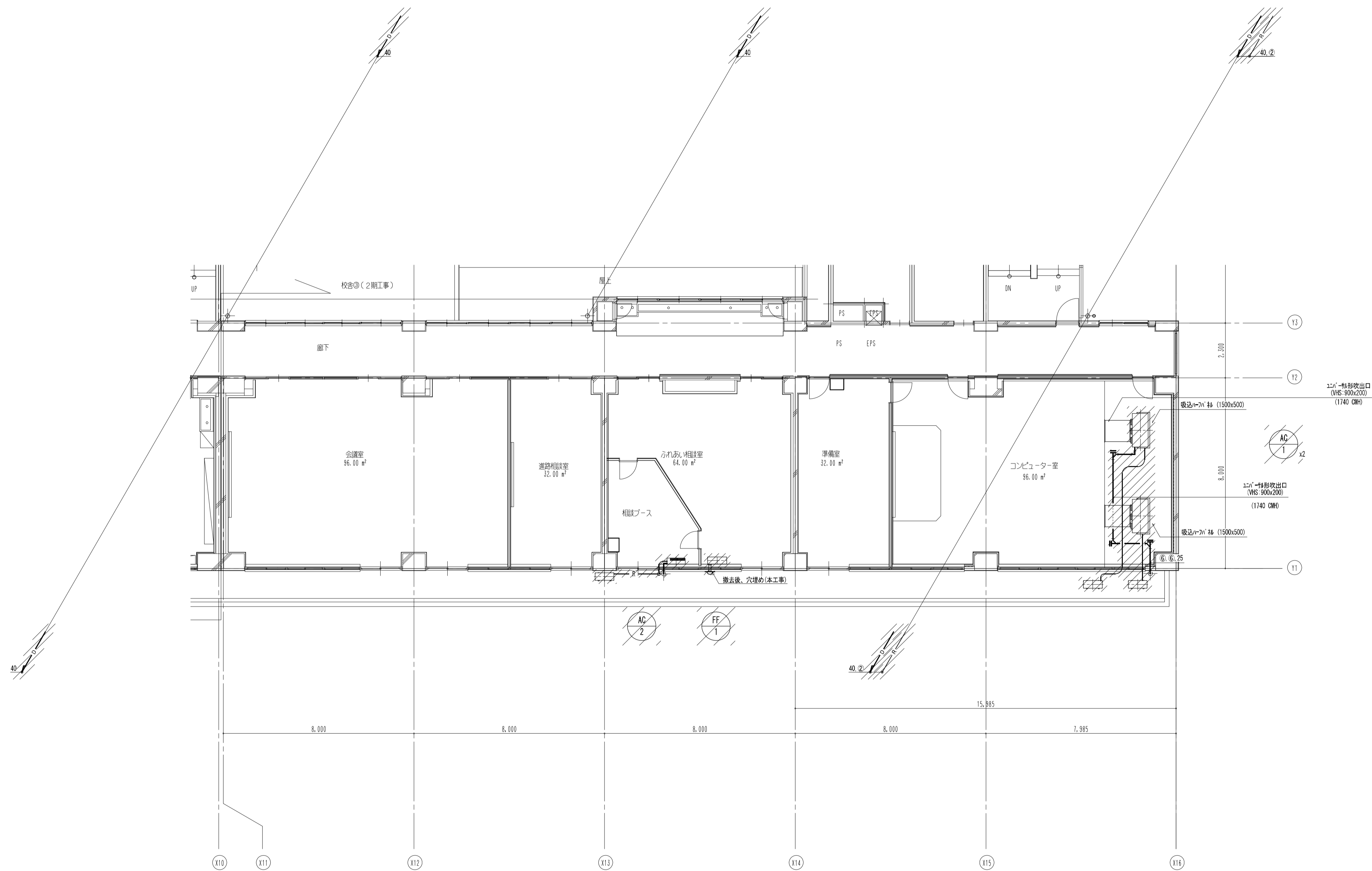
■ 凡例

	は壁はつり棒を示す。
AP	はアルミパネルを示す。(建築工事)
	CEESI 25-2C (1種金属線及びU型)
	CEESI 25-2C (1種金属線及びU型)
RC	リモコンスイッチ (1種金属線及びA型2用BOX)
ORC	集中コントローラー (1種金属線及びA型2用BOX)

■ 冷暖房配管仕様表

	液	ガス	信号線・電源線
①	15.88 φ	31.80 φ	EM-CEESI 25-2C
②	15.88 φ	28.58 φ	
③	12.70 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	25.40 φ	
⑤	9.52 φ	22.20 φ	
⑥	9.52 φ	15.88 φ	
⑦	6.35 φ	12.70 φ	
⑧	9.52 φ	25.40 φ	

注記
 ・ は撤去範囲を示す。



2階平面図 S=1:100

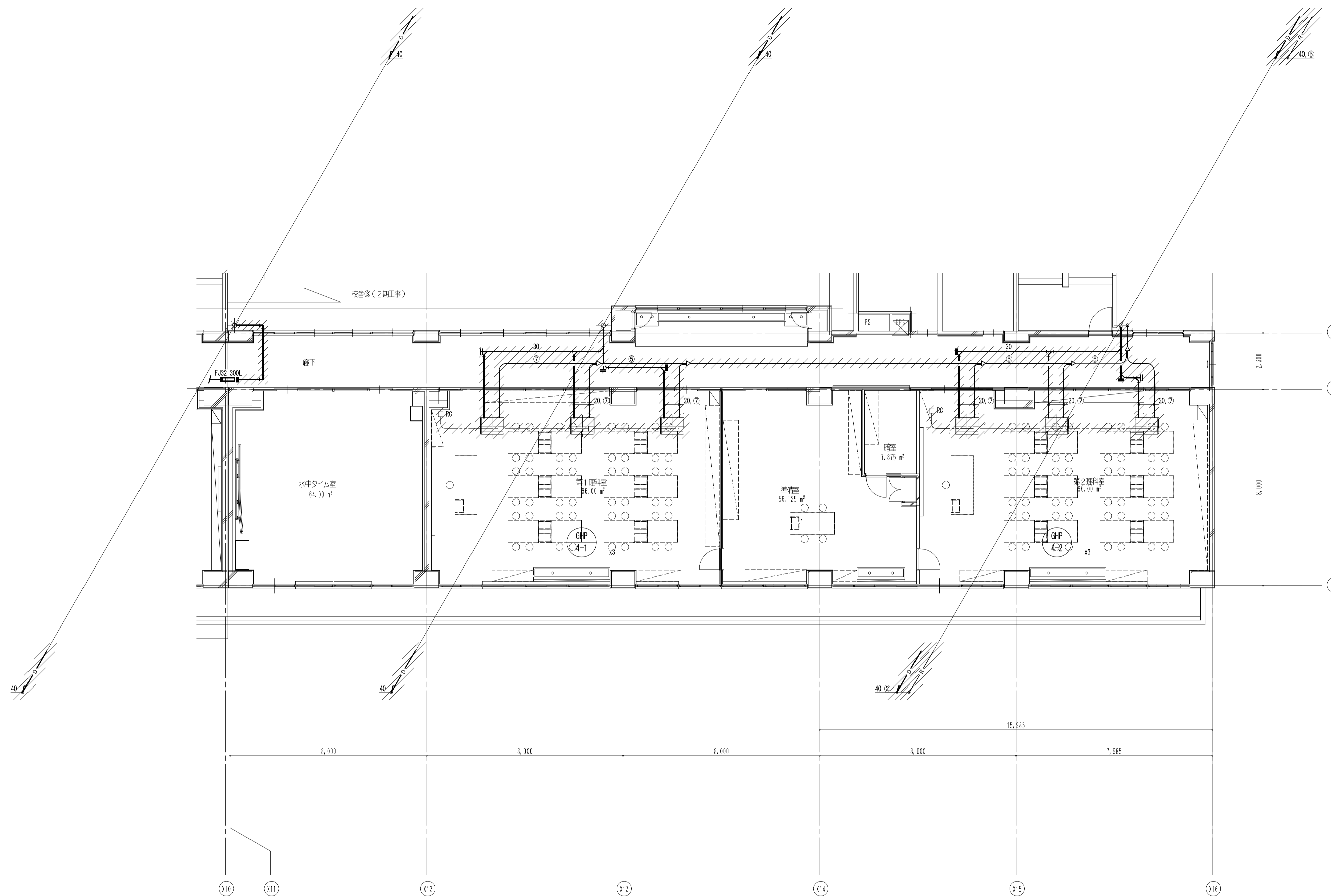
■ 凡例

	は壁はつり棒を示す。
AP	はアルミパネルを示す。(建築工事)
	CEESI.25-20 30'φ
	CEESI.25-20 (1種金属線及びU型)
RC	リモコンスイッチ (1種金属線及びA型2用BOX)
ORC	集中コントローラー (1種金属線及びA型2用BOX)

■ 冷暖用保温付配管表

液	ガス	信号線・電源線
① 15.88 φ	31.80 φ	EM-CEESI.25-20
② 15.88 φ	28.58 φ	
③ 12.70 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	25.40 φ	
⑤ 9.52 φ	22.20 φ	
⑥ 9.52 φ	15.88 φ	
⑦ 6.35 φ	12.70 φ	
⑧ 9.52 φ	25.40 φ	

注記
 は撤去範囲を示す。



3階平面図 S=1:100

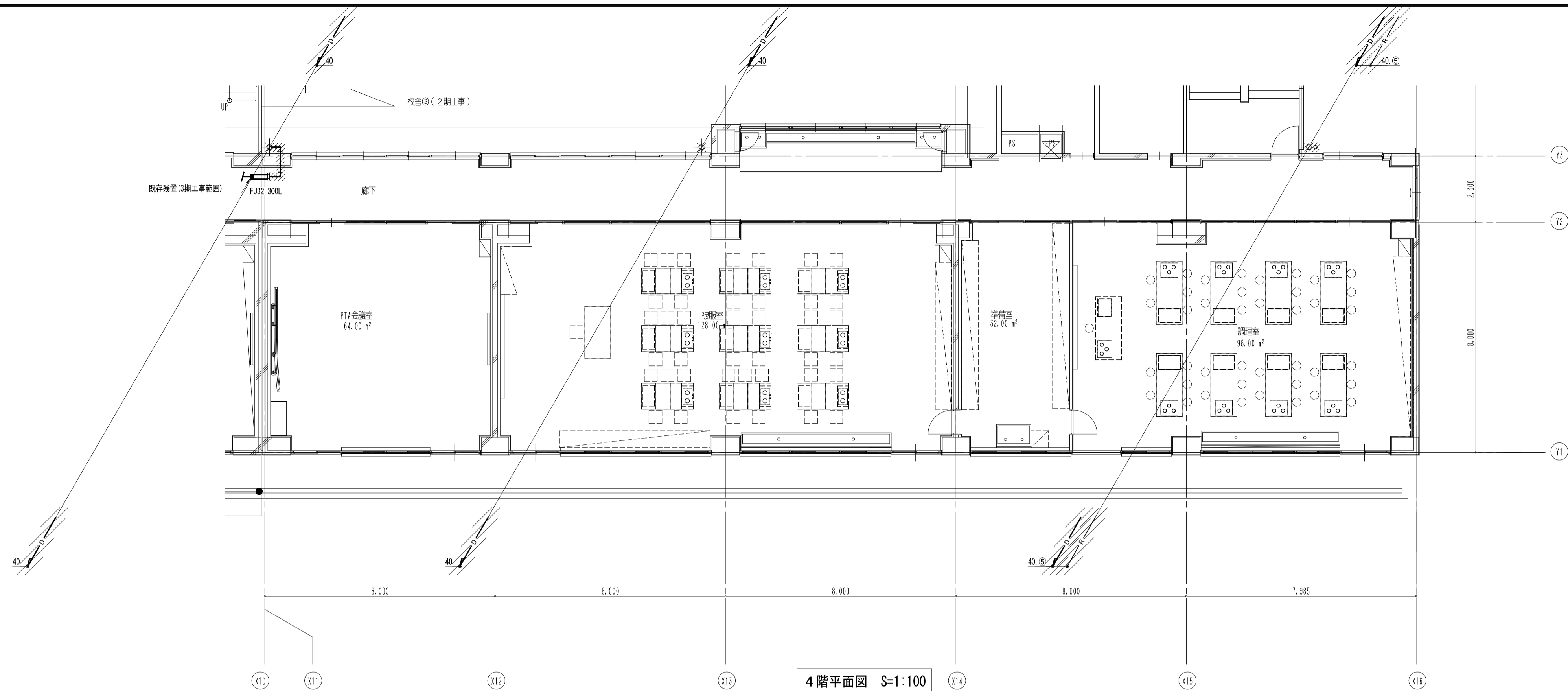
■ 凡例

	は壁はつり補修を示す。
AP	はアルミパネルを示す。(建築工事)
	CEES1.25-2C 30V
	CEES1.25-2C (1種金属線及びU型)
RC	リモコンスイッチ (1種金属線及びA型2用BOX)
ORC	集中コントローラー (1種金属線及びA型2用BOX)

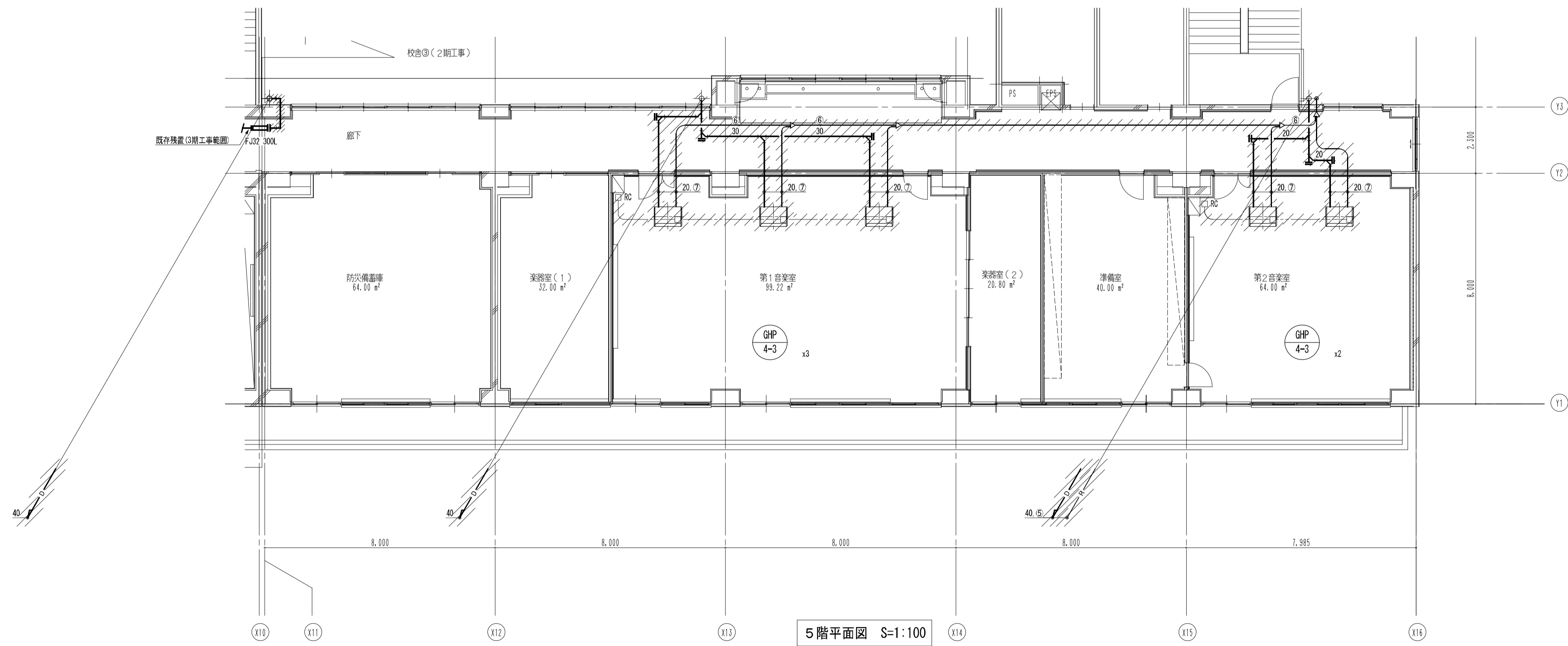
■ 冷暖用保温付配管

	液	ガス	信号線・電源線
①	15.88 φ	31.80 φ	EM-CEES1.25-2C
②	15.68 φ	28.58 φ	
③	12.70 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	25.40 φ	
⑤	9.52 φ	22.20 φ	
⑥	9.52 φ	15.88 φ	
⑦	6.35 φ	12.70 φ	
⑧	9.52 φ	25.40 φ	

注記)
 は撤去範囲を示す。



4階平面図 S=1:100



5階平面図 S=1:100

■ 凡例

	は壁はつり天井を示す。
AP	はアルミパネルを示す。(建築工事)
	CEESI.25-20 30Y
	CEESI.25-20 (1種金属網及びU型)
RC	リモコンスイッチ (1種金属網及びA型2用BOX)
ORC	集中コントローラー (1種金属網及びB型2用BOX)

■ 冷暖用保温付配管

	液	ガス	信号線・電源線
①	15.88 φ	31.80 φ	EM-CEESI.25-20
②	15.88 φ	28.58 φ	
③	12.70 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	25.40 φ	
⑤	9.52 φ	22.20 φ	
⑥	9.52 φ	15.88 φ	
⑦	6.35 φ	12.70 φ	
⑧	9.52 φ	25.40 φ	

注記
 ・ は撤去範囲を示す。

換気設備（既存）機器表

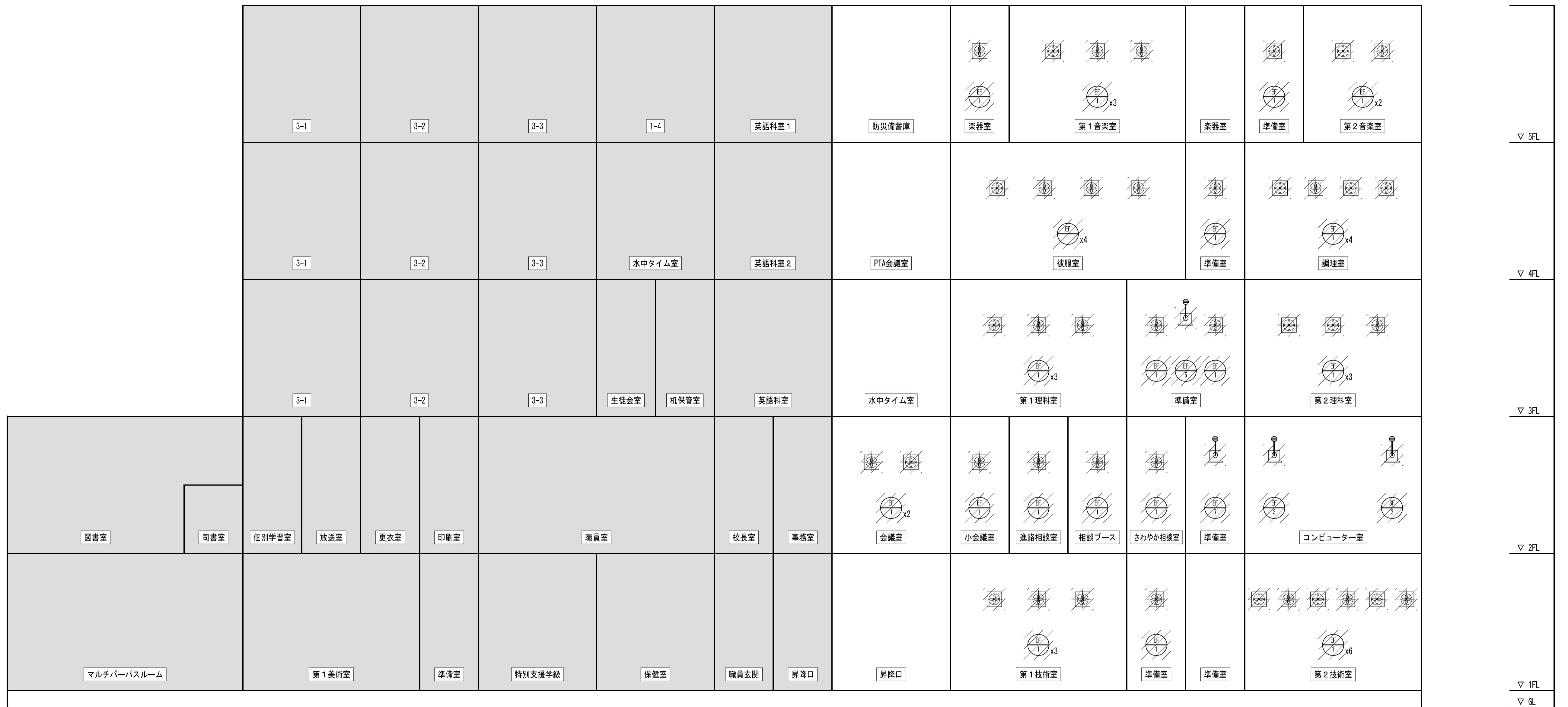
機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考
				相電圧 (φ)	消費電力 (V)	消費電力 (kw)	階	室名	
EF-1	排気ファン (撤去)	型式 学校用有圧換気扇 仕様 300φ x 1200 m3/h 付属品 ウェザーカバー 共	57台	1	100	30.5*			
			(4台)				1F	777号室	3期
			(3台)				1F	第1美術室	3期
			(1台)				1F	第1美術準備室	3期
			(2台)				1F	特別支援学級	3期
			(3台)				1F	第1技術室	2期
			(1台)				1F	第1技術準備室	2期
			(6台)				1F	第2技術室	2期
			(1台)				1F	第2技術準備室	2期
			(3台)				2F	図書室	3期
			(1台)				2F	個別学習室	3期
			(1台)				2F	更衣室	3期
			(1台)				2F	印刷室	3期
			(4台)				2F	職員室	3期
			(1台)				2F	校長室	3期
			(1台)				2F	事務室	3期
			(3台)				2F	会議室・小会議室	2期
			(1台)				2F	進路指導室	2期
			(3台)				3F	第1理科室	2期
			(2台)				3F	準備室	2期
			(3台)				3F	第2理科室	2期
			(1台)				4F	実験室	2期
			(3台)				4F	第1音楽室	2期
			(1台)				4F	準備室	2期
			(2台)				4F	第2音楽室	2期
			(4台)				5F	被服室	2期
			(1台)				5F	調理準備室	2期
			(3台)				5F	調理室	2期

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考
				相電圧 (φ)	消費電力 (V)	消費電力 (kw)	階	室名	
EF-3	排気ファン (撤去)	型式 中間ダクトファン (低騒音形) 仕様 630 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	150*	2階	コンピュータ室	2期
EF-4	排気ファン (残置)	型式 天井換気扇 仕様 630 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	135*	1階	保健室	3期
EF-5	排気ファン (撤去)	型式 天井換気扇 仕様 630 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	2台	1	100	45*	(-)	体育館便所	1期
			(1台)						
			(1台)				(-)	暗室	2期
EF-6	排気ファン (残置)	型式 天井換気扇 仕様 630 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	47*	2階	事務室	3期
EF-7	排気ファン (残置)	型式 天井換気扇 仕様 540 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	101*	2階	準備室	2期
EF-8	排気ファン (残置)	型式 バイブファン 仕様 102 m3/h 付属品 ベントキャップ 共	6台	1	100	33*	(-)	体育館床下	1期
EF-9	排気ファン (残置)	型式 中間ダクトファン 仕様 600 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	150*	1階	放送室	1期
EF-10	全熱交換器 (残置)	型式 空調換気扇 仕様 250 m3/h 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	123*	1階	保健室	3期
EF-11	排気ファン (残置)	型式 空調換気扇 仕様 150 m3/h x 30 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	30.5*	1階	体育館シャワー室	1期
SF-3	送風機 (残置)	型式 中間ダクトファン (低騒音形) 仕様 630 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	150*	2F	コンピュータ室	2期

※ 1. 電気容量は参考値とする。

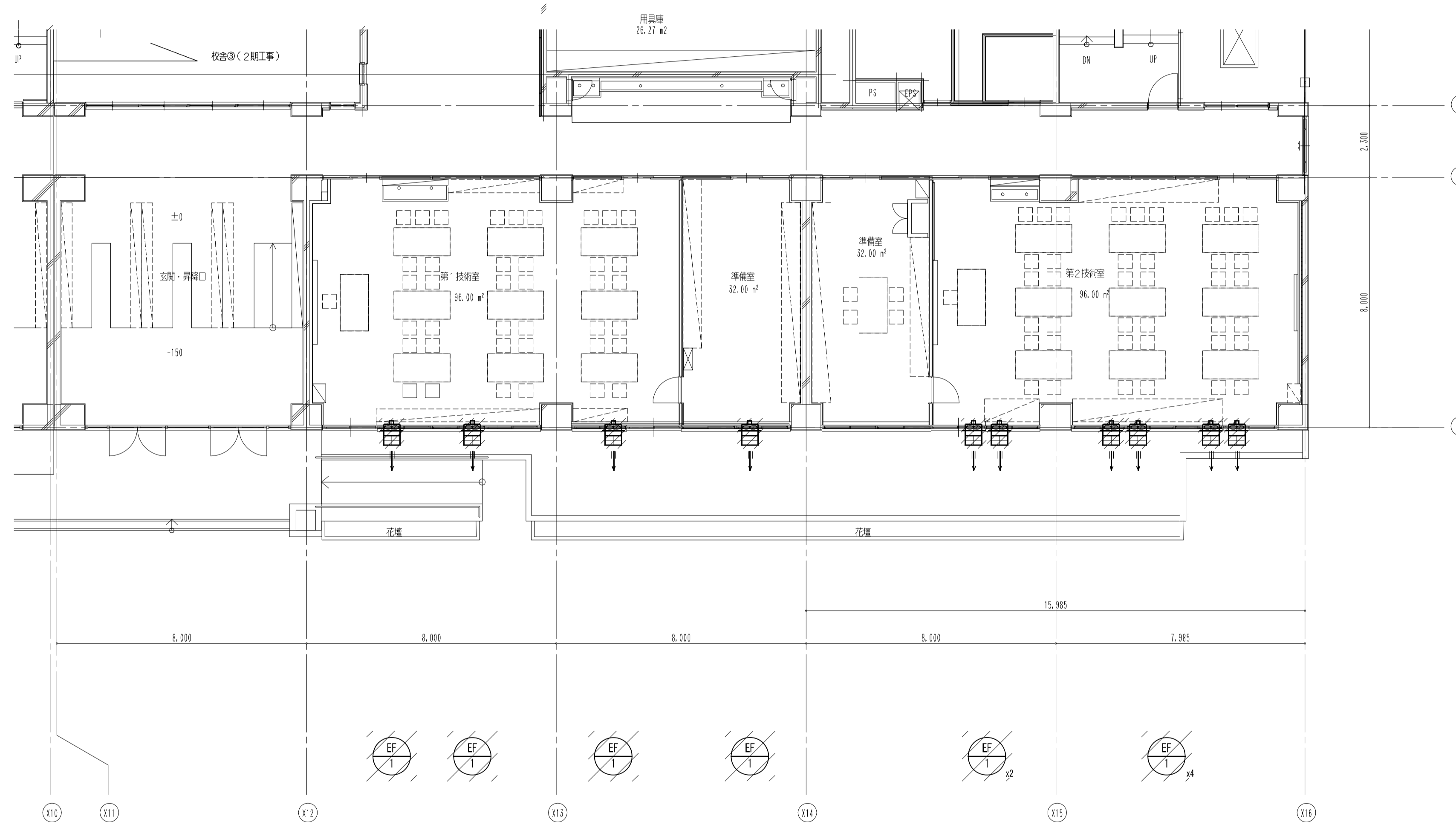
※ 1. 電気容量は参考値とする。

注記)
・  は撤去範囲を示す。



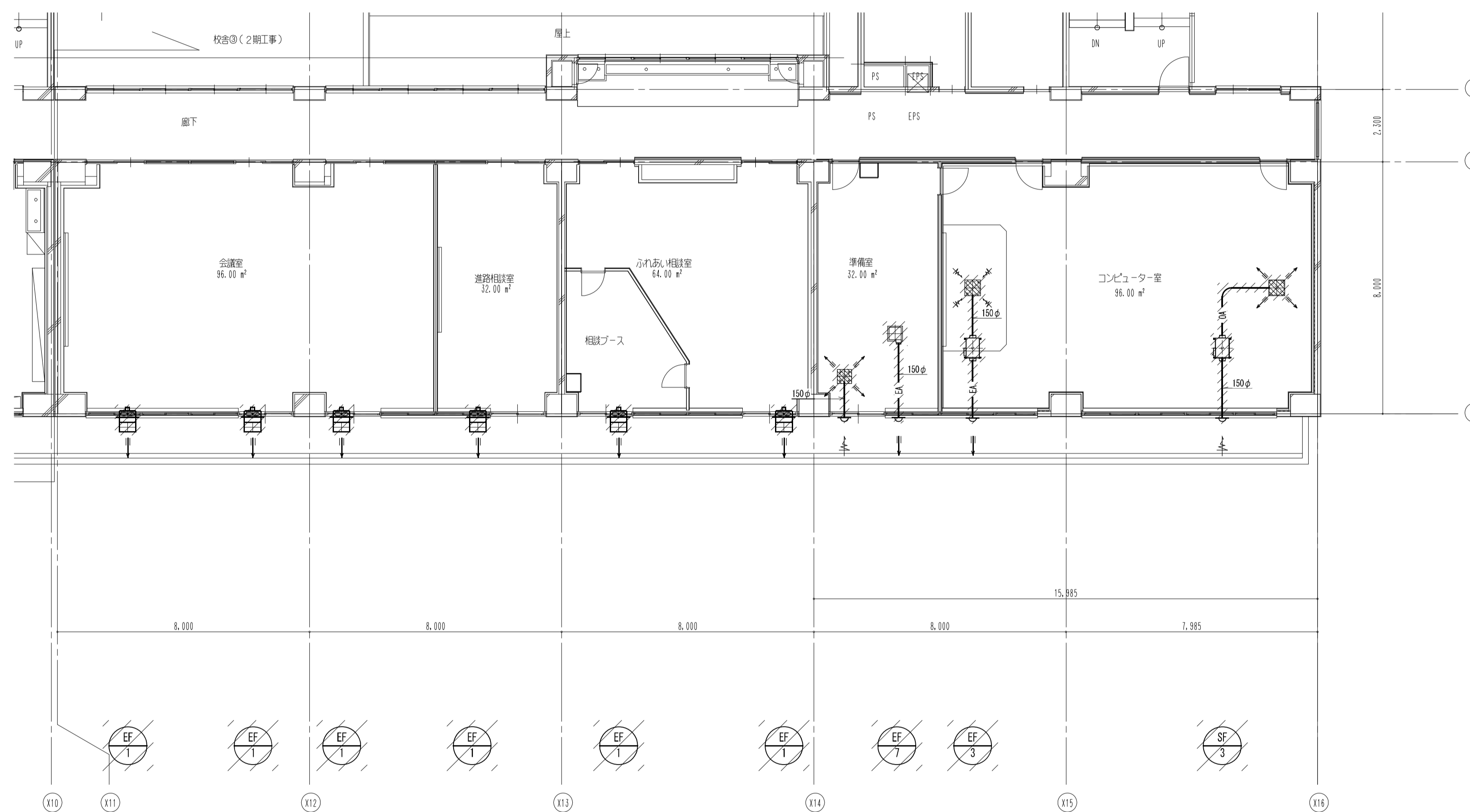
換気設備 系統図 N/S

■ 注記
 工事対象外
 撤去



1階平面図 S=1:100

注記)
 ・ は撤去範囲を示す。

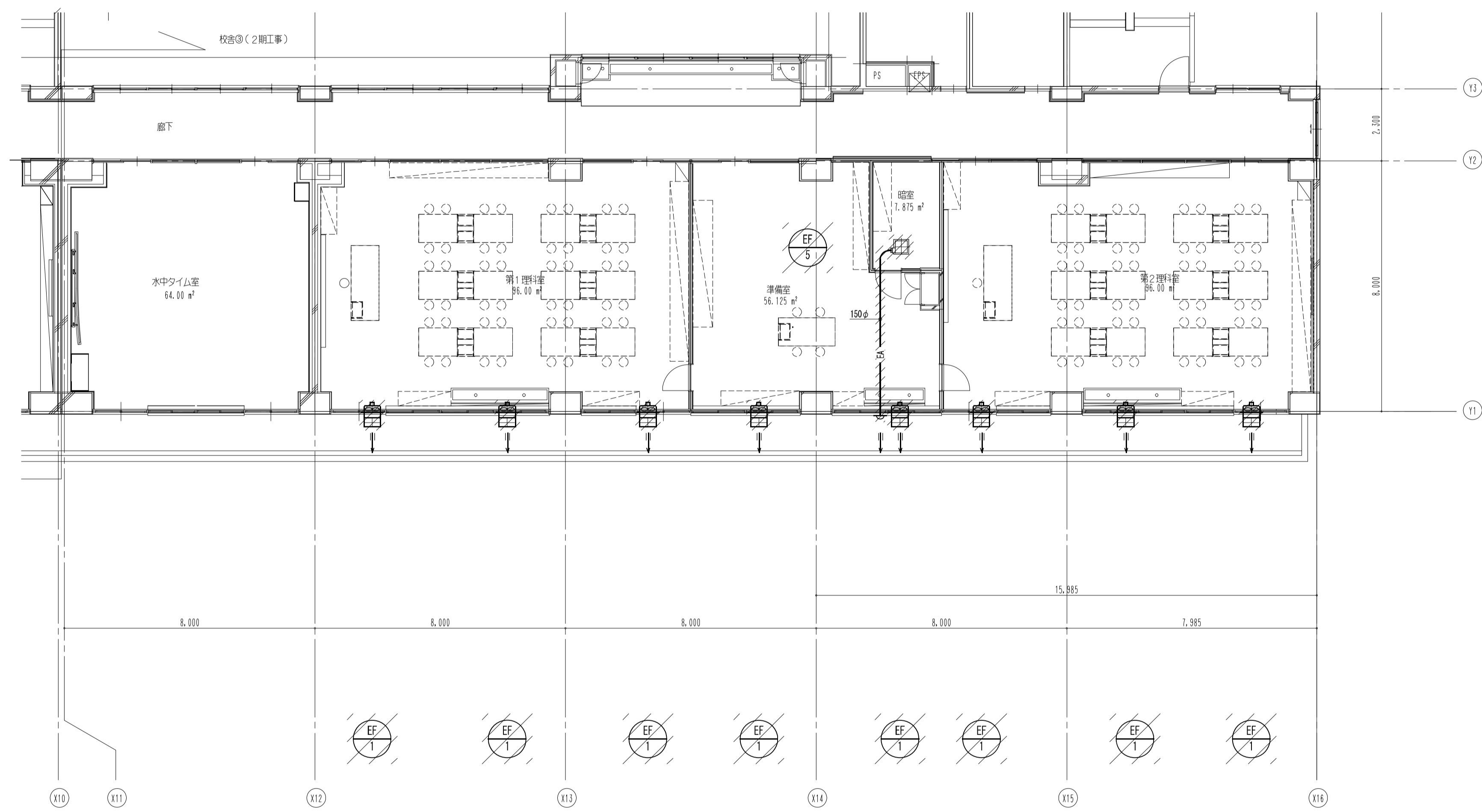


コンピューター室		コンピューター室	
吹/出ロ	吸/込ロ	吹/出ロ	吸/込ロ
FS 450×450	FS 450/450	FS 450/450	FS 450/450
Q= 600 m³/h	Q= 600 m³/h	Q= 600 m³/h	Q= 600 m³/h
消音BOX 550×550×350 (GMS1 内装)	消音BOX 550×550×350 (GMS1 内装)	消音BOX 550×550×350 (GMS1 内装)	消音BOX 550×550×350 (GMS1 内装)

準備室	
吹/出ロ	吸/込ロ
FS 300×300	FS 300/300
Q= 450 m³/h	Q= 450 m³/h
消音BOX 400×400×300 (GMS1 内装)	消音BOX 400×400×300 (GMS1 内装)

2階平面図 S=1:100

注記)
 ・ は撤去範囲を示す。



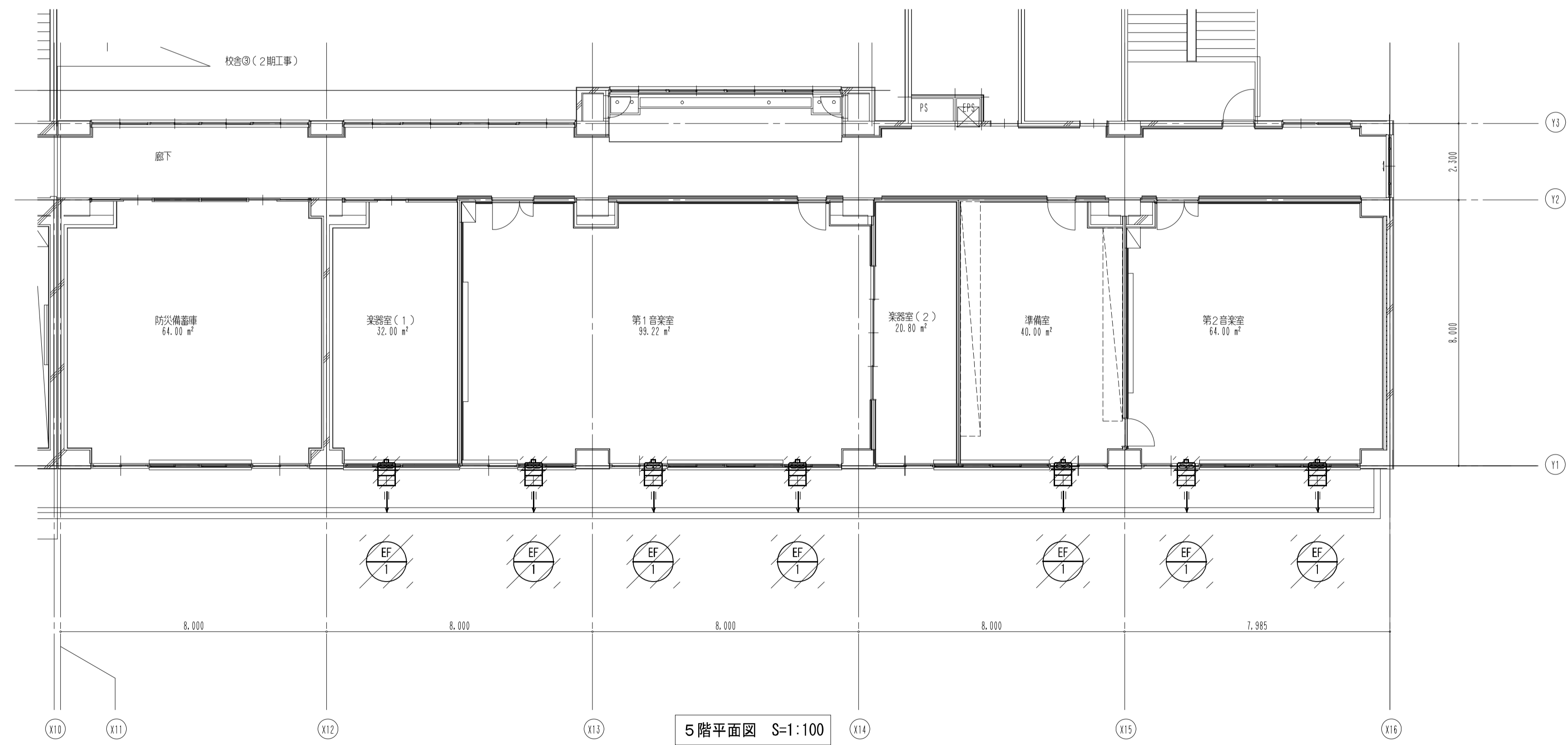
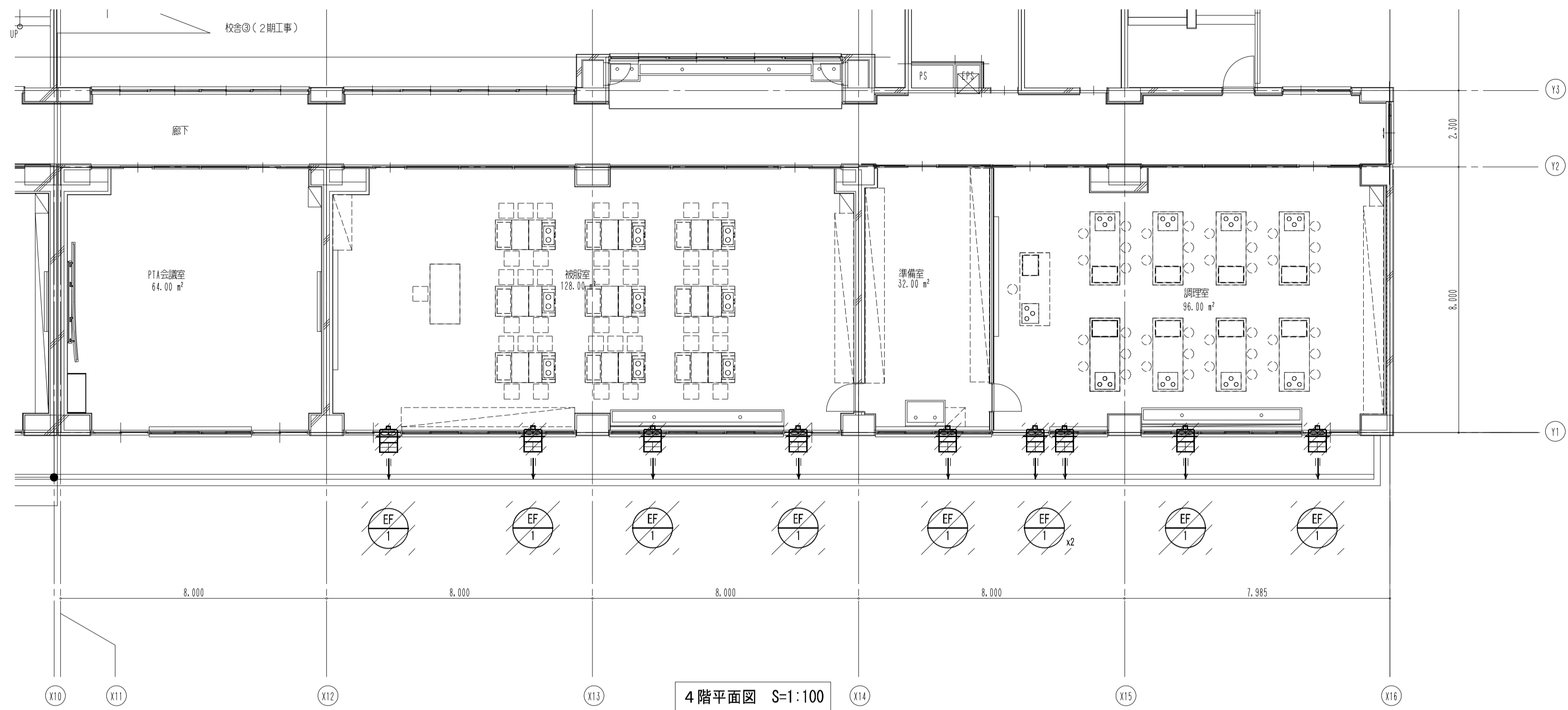
3階平面図 S=1:100

注記)
 ・ は撤去範囲を示す。

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号	承認	審査	検図	製図	特記
一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久					

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称	縮尺	図面
22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)	A1=1/100 A3=1/200	機械設備
	図面内容		図面
	【撤去】換気設備 3階平面図		番号
			M-47



注記)
 ・ は撤去範囲を示す。

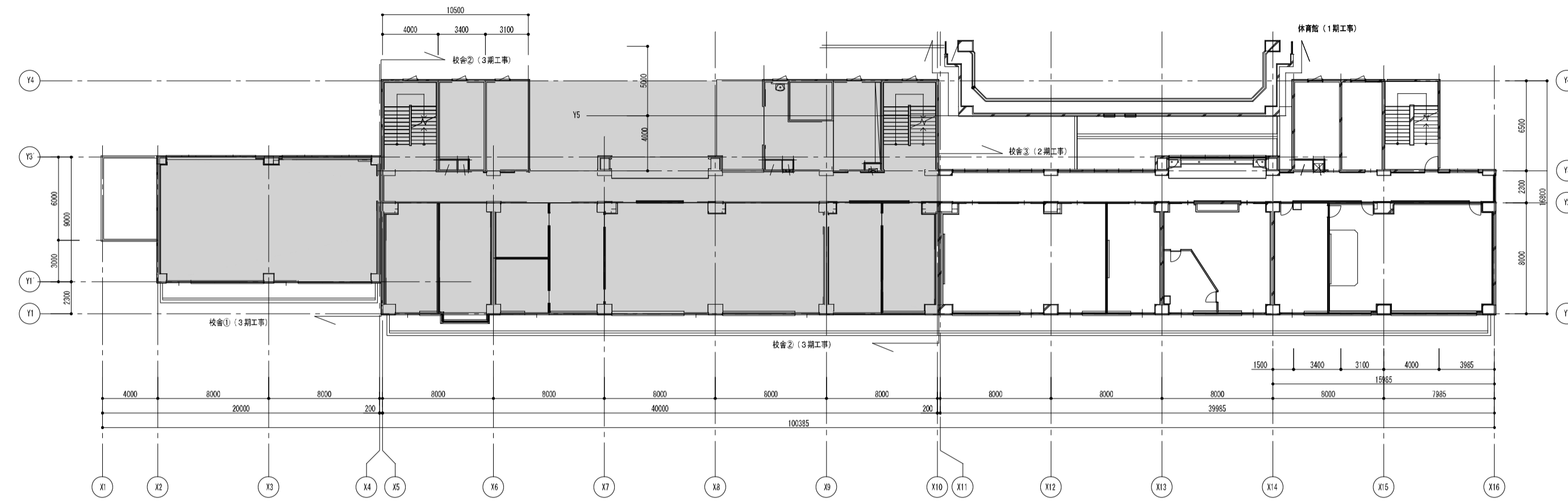
承認	審査	検図	製図	特記

改訂番号	改訂月日	改訂内容

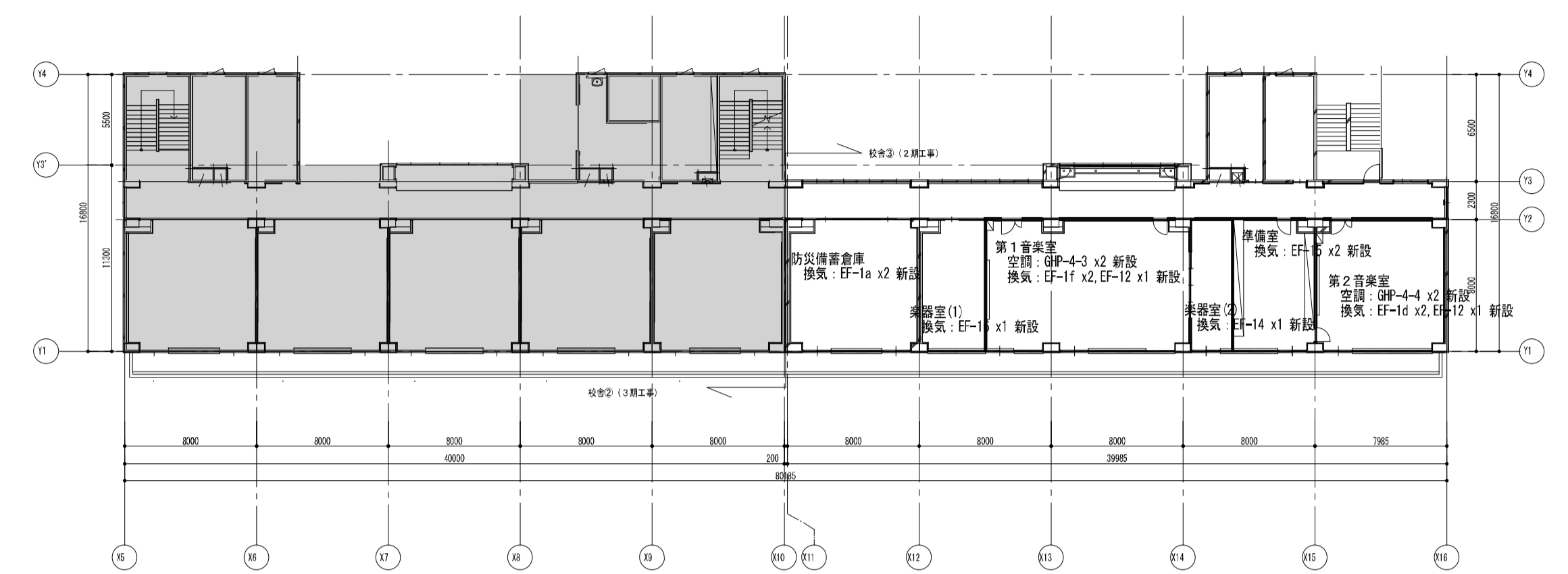
業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面内容	【撤去】換気設備 4・5階平面図

縮尺	図例	機械設備
A1=1/100	図号	M-48
A3=1/200	図名	

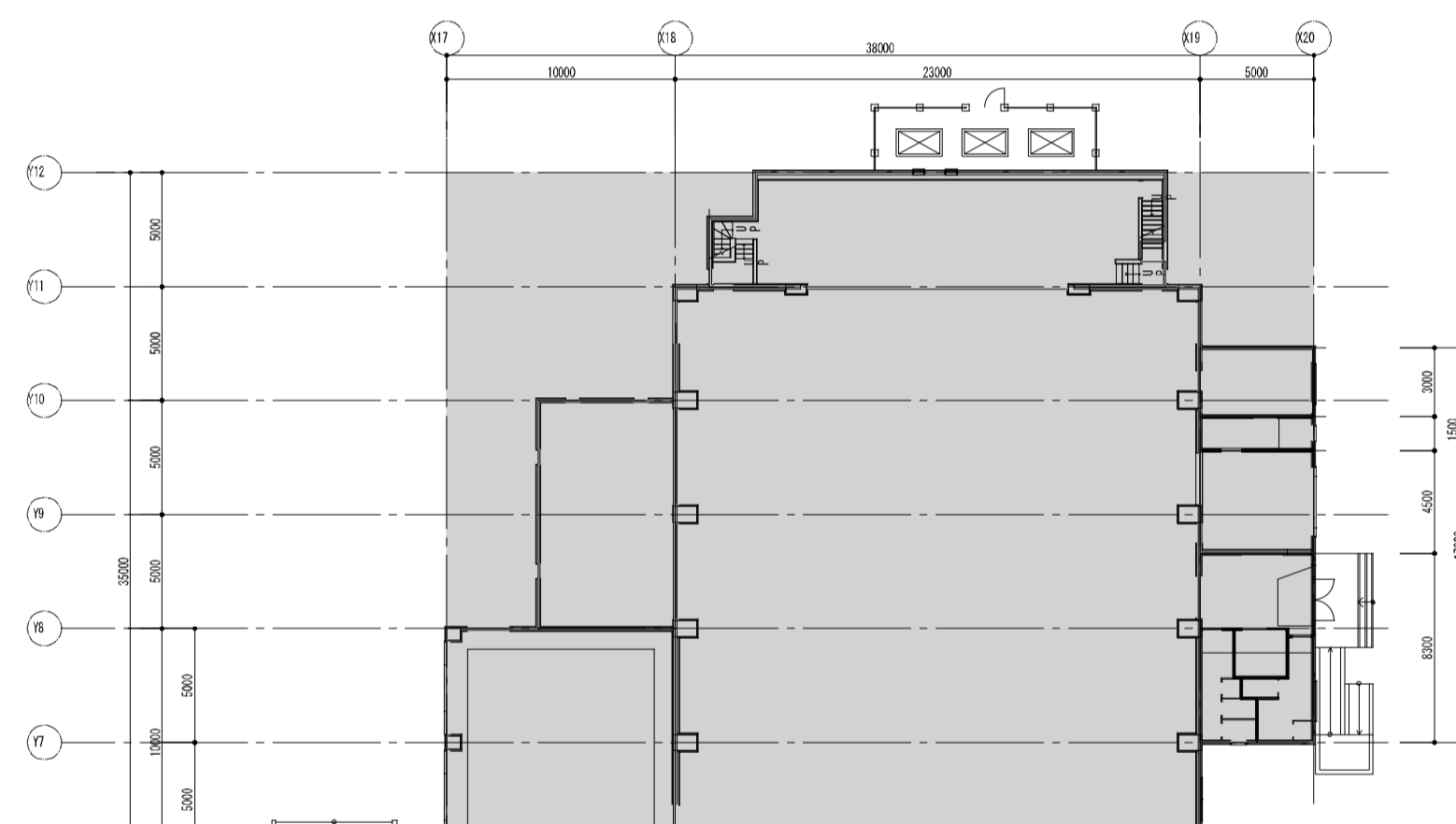
6月～夏休み前まで



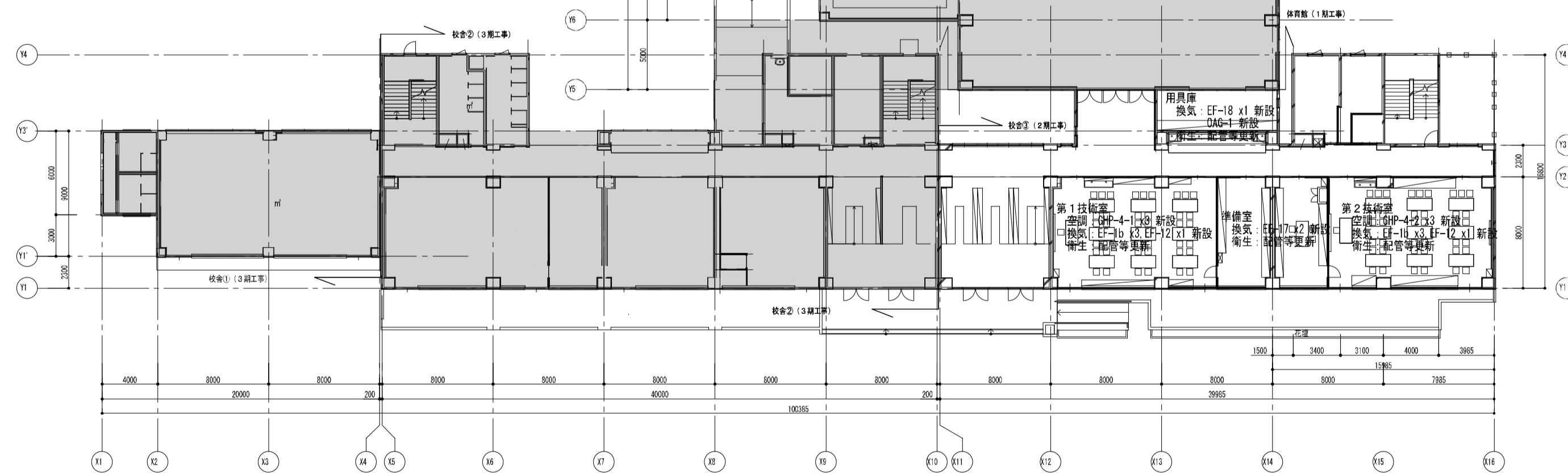
2階平面図 2階は、通常通りの授業を行う



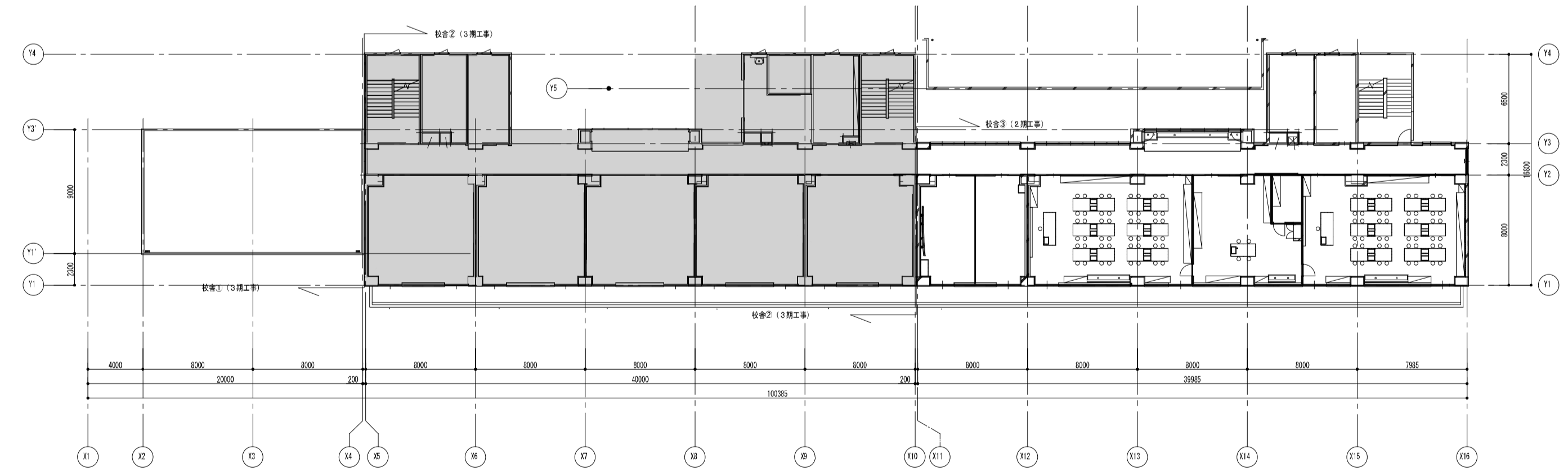
5階平面図 5階は、改修工事を行う



4階平面図 4階は、通常通りの授業を行う

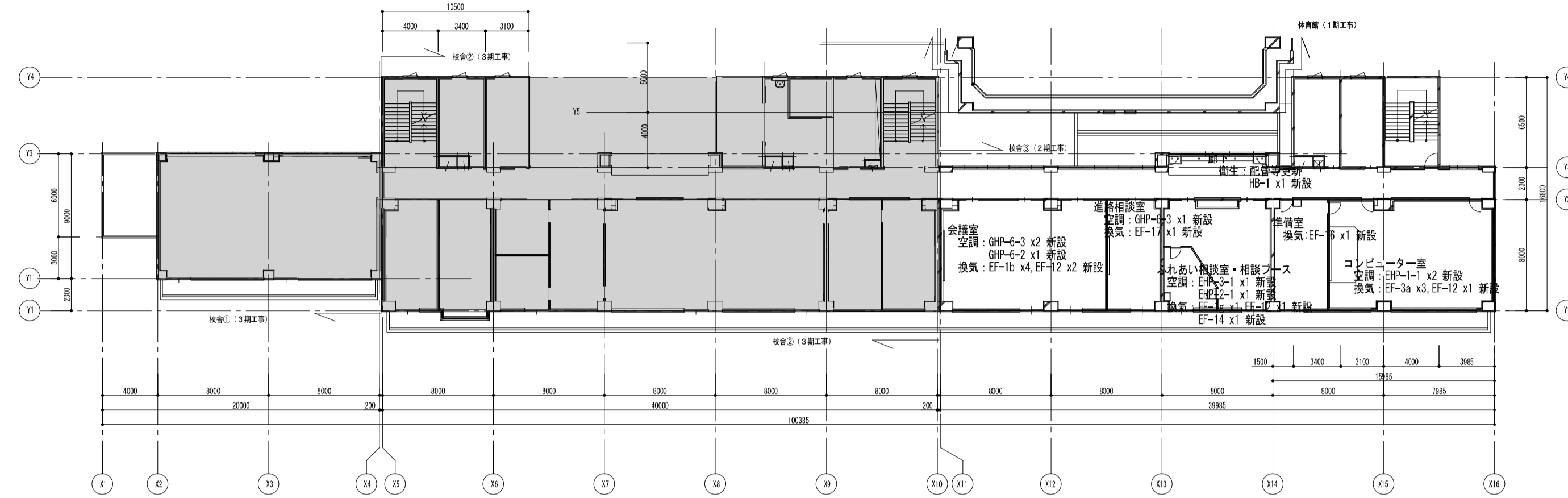


1階平面図 1階は、改修工事を行う

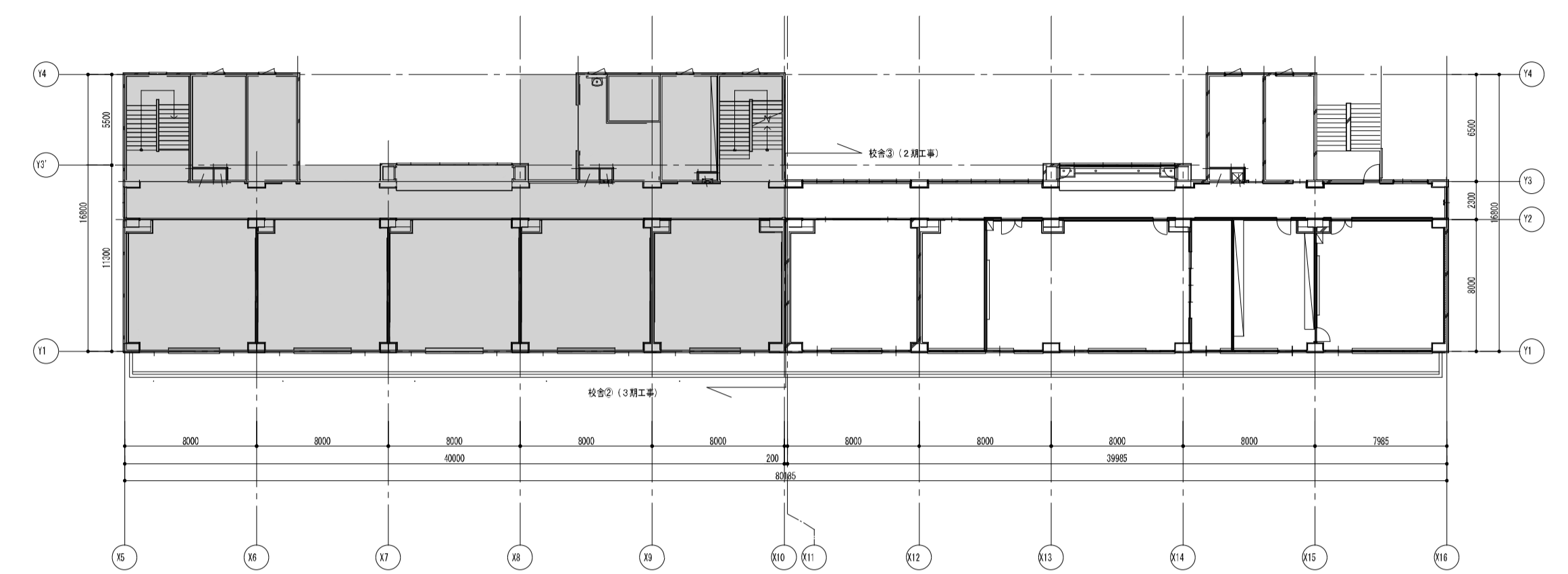


3階平面図 3階は、通常通りの授業を行う

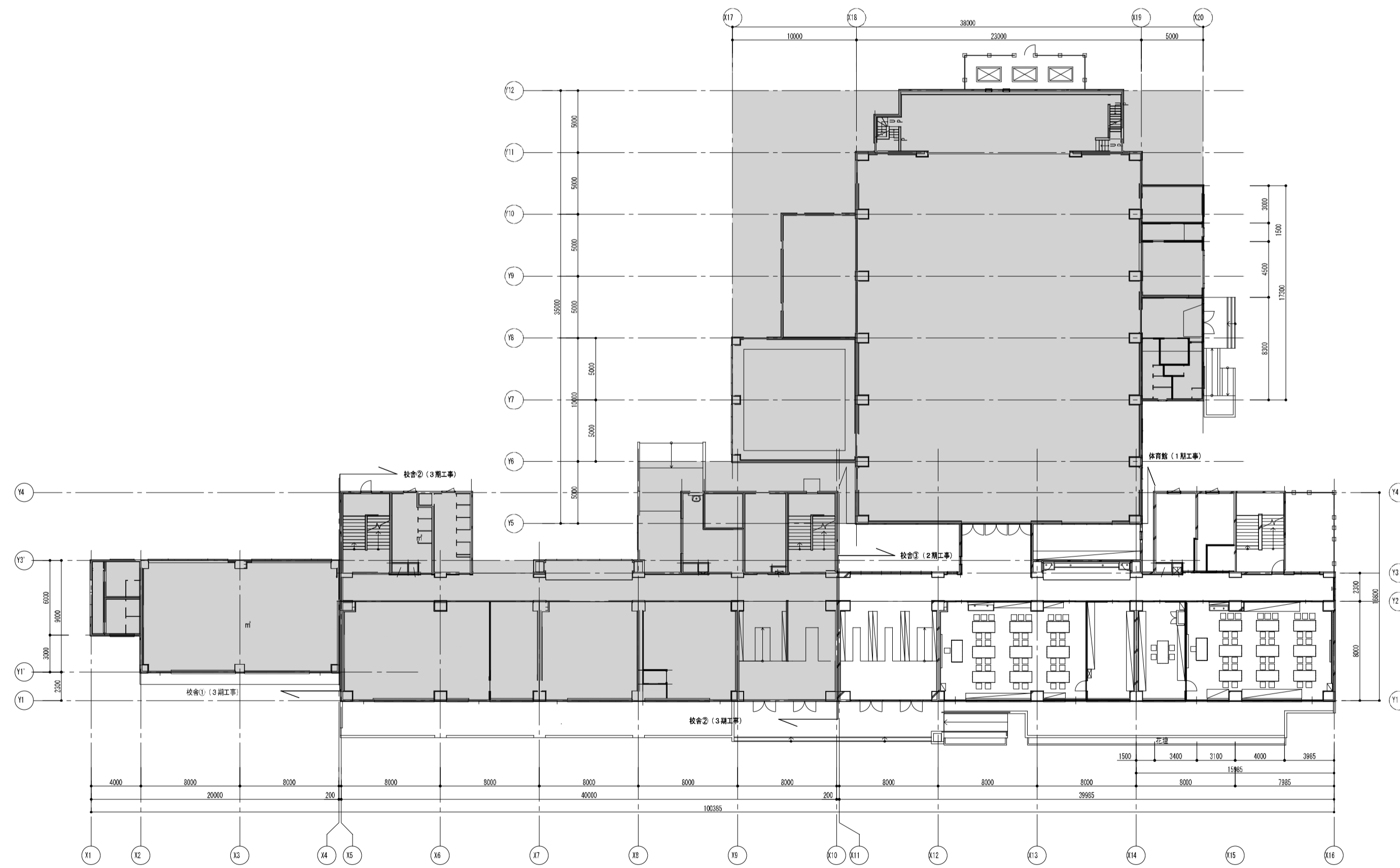
夏休み～11月末まで



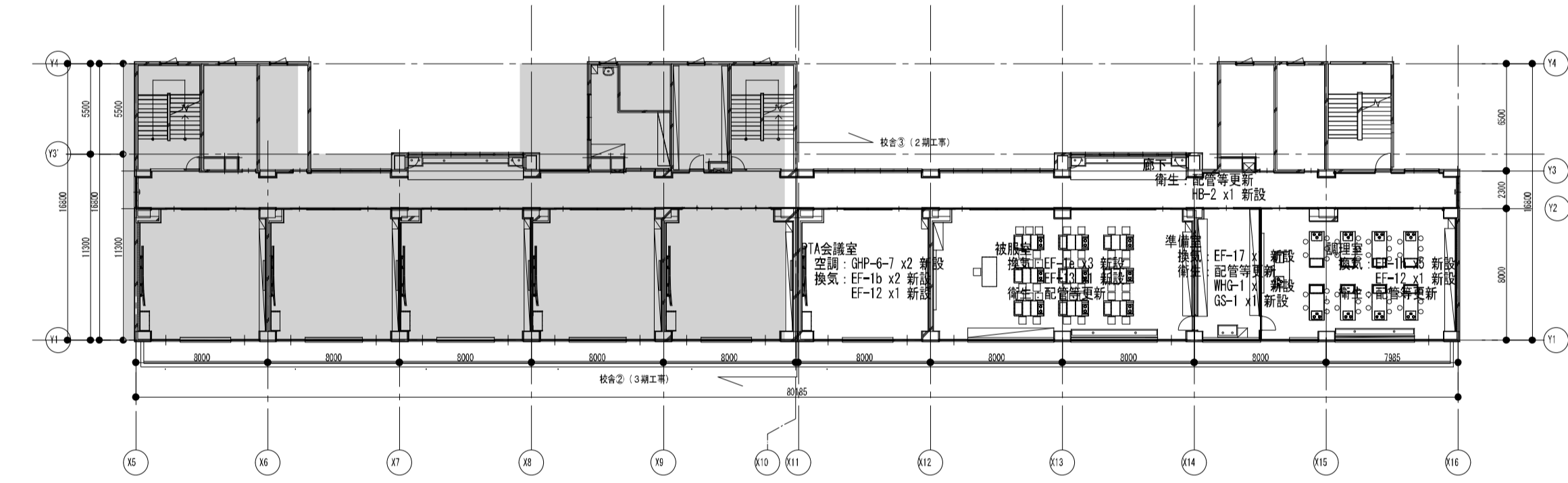
2階平面図 改修工事を行う



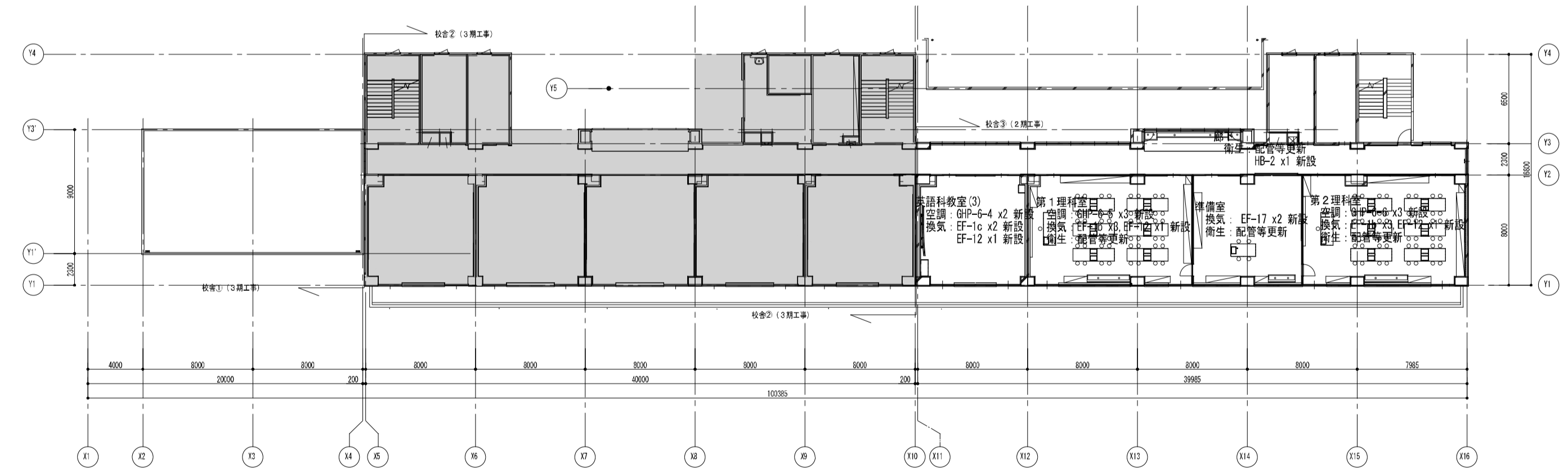
5階平面図 6月～夏休み前の期間で改修済



1階平面図 6月～夏休み前の期間で改修済



4階平面図 改修工事を行う



3階平面図 改修工事を行う

